

三 私娼取締に關する質問

私娼取締方に關して村上熊八・伊藤仁太郎・岡田榮一等から交々質問が出たが、其の要領は、私娼取締に關しては、年來我府會の問題となつて居るが、警視廳現當局は、銳意これが根絶を期して着々效を奏し、市の内外に散在する私娼窟は、殆ど私娼の影を絶ち、廓清された觀があるのは、我々の大に喜び、當局の努力に感謝する所であるが、之に關聯して二、三點質問したい。即ち、一、私娼の一掃された地域内に於て、飲食店等の營業を出願しても、絶対に許可せられない實狀である。私娼の勦滅を圖かるのは可いが、眞面目な營業迄も之がため犠牲に供せらるゝのは、苛酷な處置であり、權利を蹂躪せらるゝの嫌がある。將來も斯かる方針を持續せらるゝや否や、二、俗に大正藝者と呼ばれた浪花町藝妓は、事實上私娼と同視されたもので、當局の取締に因て、殆ど一掃されたのは良いが、是等浪花町藝妓の他所への轉換は絶対に許されない。又營業主が新に葎町・新橋等から眞面目な藝妓を雇入んとしても、これ亦許されない。然るに、浪花町藝妓を勧誘して、葎町組合に加入せしめた事實があるのは、彼此矛盾した處置と考へられるが如何、三、以前小濱第三部長の時代に、私娼の取締方は嚴禁にあらず、放任にあらず、所謂制限主義を採られた結果として、千

東町の如きは、家屋の構造等に迄當局が干渉して、一定の標準に據らしめ、尙花柳病豫防に付ては、公費を以て幾分助成せられた有様である。斯様に當局の方針に従て營業を繼續し、一種の財産權を形成した状態となつて居るのに、一朝當局者が更迭した爲め、方針が一變し、嚴格なる撲滅主義の下に、俄かに絶対禁止を命ぜらるゝのは、苛酷であつて、之れに依り財産を失ふの結果となるのである。併し私娼の存在は、因より喜ぶべき現象でないから、嚴禁なら嚴禁で永く其の主義を一貫する必要がある。當局の更迭に伴ひ、其の方針が朝令暮改の姿となるのは、個人の財産權が常に不安を免かれぬと云はねばならぬ。現在の根絶方針が果して如何なる程度に迄持續せらるゝか、豫め承知して置きたい。尙私娼撲滅を勵行せられた成績の概要をも承知したいといふのであつた。之れに對し、番外丸山警視廳保安部長が答辯した概要は、一、私娼の勦滅を期するが爲め、眞面目なる營業迄も犠牲に供するが如きことはないけれども、私娼を掃蕩する傍、飲食店の出願等をドシ／＼許して居つては、到底廓清の實を擧ぐることが出来ぬ。一、私娼集團地域を一掃した後、或る期間整理廓清の實の擧がる迄、飲食店の出願等は事情を諭して、願書を撤回させる等の措置を採るのは、已むを得ない必要に出たもので、決して永久に正當の

營業を認めぬのではなく、整理の着く迄眞面目の出願者に忍んで貰ふ次第である。二、浪花町藝妓の他に轉換し、若は他より新に雇入れることを許さぬ、即ち浪花町藝妓組合を認めぬ方針を採つたのは、事實上私娼と同一なる浪花町藝妓の一掃を期する爲め已むを得ざる措置であつて、現今の成績は、二百七十名を一掃して僅かに五名を残すに過ぎない。又浪花町藝妓の葭町組合へ轉換することを認めたとしたのは、藝妓としての素養もあり、本人が自覺さへすれば眞面目なる藝妓として立行く者四十名を試験の上轉換を許したので、同一警察署管内なれば轉換後の監督も行届くと考へて居る。三、私娼の撲滅を勵行した成績は、本年七月末日の現在に於て郡代・神明・千束町等主なる集團地に在つた私娼で、人の妻妾となつた者二十六人、下女其の他雇人となつた者六十人、工場等に雇はれ通勤する者二十人、内職又は家庭の手傳として落付き居る者二百八十一人、娼妓となつた者十四人、他縣の藝妓となつた者一人、他府縣に行き居所判明せる者三人、同上居所不明の者二百六十七人合計六百七十二人である。而して、今後彼等の動靜に就ては、極力注意し根底より絶滅の方針を緩めぬ考へであるといふにあつた。

四 實業視察費削除の件

勸業費が調査委員に附託となり、其の調査の結果を委員長沼田辰五郎から報告があつた。報告中に實業視察費を全然削除する意見があつたので、圖らずも議場に議論が紛起した。委員長報告の要領は、實業視察費は、大正四年度迄は、毎年參千圓の豫算であつたけれども、大正五年度は、貳千圓に減額となり、大正六年度は更に參百圓に減じて提案された。理事者の説明に依れば、實業視察は益々其の必要を認むるも、豫算面は單に費目を掲ぐる意味に於て、參百圓を計上したものである。故に事實上視察の必要が生じた際には、參事會に諮つて相當支出の途を講ずることとてあつた。委員會は審議の結果、理事者の趣旨は豫算の本旨に反する嫌があるから、參百圓の豫算は、全然之を削除し、視察の必要が生じた場合には、實業奨励費等の費目より支出することに決議したといふのであつた。酒井泰は、六年度視察費豫算も、最初は矢張り貳千圓として參事會の審査に付せられたものを、參事會に於て參百圓に修正し、理事者も之に同意して提案せられたものと聞いて居る。而して、視察の必要なることは、何人も認めて居る處であるのに、追加豫算とし或は他の費目より支出するのは、豫算の本質上之を避けねばならぬから、寧ろ此際明かに貳千圓と修正したいと動議を提出し、村上熊八が之に賛成を表したが、秋虎太郎

大竹仁三郎・高橋甚右衛門・牧野賤男等は原案賛成を主張した。斯くして論議漸く紛糾したが、委員長報告即ち原案削除説に付採決し、議長は賛成者少數と認めて之を宣告したところ、異議が出たので番號點呼を行つた結果、委員長の報告の通可決し、年來實行し來つた實業視察費も、其の趣旨に對し異議を唱ふる者が無いにも拘らず、遂に否決を見ることゝなつた。

十二月二十七日議事全く終了したので、井上知事は一場の辭を述べて閉會した。

議案 附諮問案・建議案・決議案

府第一號議案 大正六年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收

入割合……………可決

府第二號議案 大正六年度東京府歳入歳出豫算書……………修正

府第三號議案 大正六年度東京府罹災救助基金歳入歳出豫算書……………可決

府第四號議案 大正六年度東京府慈惠救濟資金歳入歳出豫算書……………可決

府第五號議案 大正六年度東京府巢鴨病院基本金歳入歳出豫算書……………可決

府第六號議案 大正六年度東京府教育資金歳入歳出豫算書……………可決

府第七號議案 大正六年度東京府小學校教員加俸資金歳入歳出豫算書……………可決

府第八號議案 大正六年度東京府小學校教員恩給基金歳入歳出豫算書……………可決

府第九號議案 大正六年度東京府立學校基本金歳入歳出豫算書……………可決

府第十號議案 大正六年度東京府第一中學校戰役記念獎學金歳入歳出豫算書……………可決

府第十一號議案 大正六年度東京府第一中學校武術獎勵資金歳入歳出豫算書……………可決

府第十二號議案 大正六年度東京府第二中學校恩賜記念獎學資入歳出豫算書……………可決

府第十三號議案 大正六年度東京府第二中學校恩賜記念獎學資……………可決

府第十四號議案	金歲入豫算書.....	可決
	大正六年度東京府第四中學校伏見宮博義王殿下獎學資金歲入歲出豫算書.....	可決
府第十五號議案	大正六年度東京府織染學校校舍落成記念獎學資金歲入歲出豫算書.....	可決
府第十六號議案	大正六年度東京府御大典記念育英資金歲入歲出豫算書.....	可決
府第十七號議案	大正六年度東京府御大禮恩賜賑恤資金歲入歲出豫算書.....	可決
府第十八號議案	大正六年度東京府功勞者表彰獎勵資金歲入歲出豫算書.....	可決
府第十九號議案	東京府市部府立學校基本編入ニ關スル件.....	可決
府第二十號議案	東京府軍人遺家族救護基金設置ニ關スル件.....	可決
府第二十一號議案	大正六年度東京府軍人遺家族救護基金歲入歲出豫算書.....	可決

府第二十二號議案	積立金ノ設置及特別會計ニ關スル方法改正ノ件.....	可決
府第二十三號議案	府會市部會郡部會議決事件ノ分別中改正ノ件.....	可決
府第二十四號議案	自大正四年度東京府教育費繼續年期及支出方法 至大正六年度 更正ノ件.....	可決
府第二十五號議案	自大正六年度東京府土木費繼續年期及支出方法 至大正八年度	可決
府第二十六號議案	自大正六年度東京府土木費繼續年期及支出方法 至大正七年度	可決
府第二十七號議案	自大正七年度東京府荒川改良工事附帶工事費繼續年期及支法方法.....	可決
府第二十八號議案	不動產賣却ノ件.....	可決
府第二十九號議案	自大正五年度東京府衛生及病院費繼續年期及支出方法 至大正九年度	可決
府第三十號議案	不動產處分ノ件.....	可決
府第三十一號議案	大正五年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合中改正ノ件.....	可決

府第三十二號議案	大正五年度東京府歳入歳出追加豫算書	可決
府第三十三號議案	大正五年度東京府小學校教員恩給金歳入歳出追加豫算書	可決
府第三十四號議案	大正五年度東京府巢鴨病院基本金歳入歳出追加豫算書	可決
府第三十五號議案	大正六年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合中追加ノ件	可決
府第三十六號議案	大正六年度東京府歳入歳出追加豫算書	可決
府第三十七號議案	大正六年度東京府巢鴨病院基本金歳入歳出追加豫算書	可決
府諮問第一號	土木費特別支辨規程中改正ノ件	答申議決
	大正四年度東京府歳入歳出決算書	承認
	多摩川改修時期繰上ニ關スル建議案	可決
	荒川改修工事速成ニ關スル建議案	可決
	荒川堤外地埋立ニ關スル建議案	可決

議決摘要

河川法準用ニ關スル建議案	可決
島地警察制度改善ニ關スル建議案	可決
府立中學校増設ニ關スル建議案	可決
癩患者收容所ニ關スル建議案	可決
府立商業學校設置ニ關スル建議案	可決
教育費國庫支辨ニ關スル建議案	可決
府參事會委任事件中改正ニ關スル決議案	可決
府會書記退職給與金並扶助金等ニ關スル決議案	可決

府第一號議案

大正六年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合	可決
-------------------------	----

明治三十二年勅令第二百八十五號第五條ニ依リ大正六年度府費ニ關スル市部郡部分擔及收入ノ割合左ノ通定ムルモノトス

市部郡部分擔ノ割合

警察廳舎建築及修繕費	郡市	一分八厘
史蹟天然記念物保存費	郡市	三分七厘
神職會補助費	郡市	三分三厘

(附帶決議) 市郡分擔割合ニ關シテハ其ノ發展ノ狀況ニ徴シ相當修正ノ餘地アルモノト認ム府當局者ハ宜シク事業ノ所屬性質等ヲ參酌シ不公平ナラサル分擔率ヲ定メ來期通常府會ニ提案セラレンコトヲ望ム (調査委員意見) (委員長秋虎太郎)

分擔割合參考表

科	目	大正六年度 郡市割合	割 合	標 準
警察廳舎建築及修繕費	郡市	一分八厘		警察練習所費ハ巡查配置數、其他ハ戶數ヲ準トシ市部ハ戶數ノ二倍
史蹟天然記念物保存費	郡市	三分七厘		人口
神職會補助費	郡市	三分三厘		

府第二號議案 大正六年度東京府歲入歲出豫算書……………修正

歲入

經常部

- 第一款 財產收入 金參千百八拾圓四拾八錢
 - 第一項 不動產收入 金八百八拾圓四拾八錢
 - 第二項 動產收入 金貳千參百圓
- 第二款 國庫下渡金 金拾壹萬八千九百參拾七圓八拾參錢
 - 第一項 警察費下渡金 金拾壹萬八千九百參拾七圓八拾參錢
 - 第三款 雜收入 金貳拾九萬貳千九百四拾參圓六錢
 - 第四款 市郡分賦額 金貳百萬六千九百九拾參圓八拾參錢
- 市部收入 金百四拾萬九百六拾參圓六拾貳錢
 - 內 郡部收入 金百四拾萬八百壹圓貳錢
 - 郡部收入 金六拾萬五千貳百參拾圓貳拾壹錢
 - (修正)金六拾萬四千九百七拾貳圓八拾壹錢
- 第一項 市郡分賦額 金貳百萬六千九百九拾參圓八拾參錢

(修正)金貳百萬五千七百七拾參圓八拾參錢

(修正理由) 歲出ノ修正ニ伴フニ由ル
經常部合計金貳百四拾貳萬千貳百五拾五圓貳拾錢
(修正)金貳百四拾貳萬八百參拾五圓貳拾錢

臨時部

- 第一款 國庫補助金 金四萬八千六百拾四圓五拾貳錢
- 第一項 警察補助 金壹萬五千七百七拾四圓七拾錢
- 第二項 河川改良工事附帶工事費補助 金七千貳百八拾九圓四拾錢
- 第三項 傳染病豫防費補助金 金千貳拾四圓六拾九錢
- 第四項 癩療養費補助金 金六千貳百八拾壹圓七拾四錢
- 第五項 市町村傳染病豫防補助費補助金 金六拾六圓六拾六錢
- 第六項 教育費補助金 金七千八百圓
- 第七項 蠶業取締費補助金 金貳千貳百圓
- 第八項 原蠶種製造所費補助金 金五千六百七拾壹圓
- 第九項 感化院費補助金 金千八百五拾六圓參拾參錢

第十項 感化院補助費補助金 金千貳百五拾圓

第二款 財產賣拂代 金六百參拾六圓四拾五錢

第一項 不動產賣拂代 金六百參拾六圓四拾五錢

臨時部合計金四萬九千貳百五拾圓九拾七錢
歲入總計金貳百四拾七萬五百六圓拾七錢

(修正)金貳百四拾七萬八拾六圓拾七錢

市部 收入 金百七拾參萬參千九百七拾八圓七拾貳錢

(修正)金百七拾參萬參千八百拾六圓拾貳錢

內 郡部 收入 金七拾參萬六千五百貳拾七圓四拾五錢

(修正)金七拾參萬六千貳百七拾圓五錢

歲出

經常部

第一款 警察費 金參拾萬九千五百四拾七圓六拾貳錢

第一項 俸給及諸給 金拾八萬九千六百七圓五拾錢

警部補五人月俸貳拾七圓此金千六百貳拾圓、巡查部長十四人月俸貳拾四圓此

金四千參拾貳圓、巡查八十八人月俸貳拾圓五十人月俸拾八圓二百人月俸拾壹圓此金五萬八千參百貳拾圓、警察醫員二人年俸貳千四百圓一人年俸千四百圓四人年俸千貳百圓此金壹萬千圓十五人月俸五拾圓四十人月俸四拾參圓此金貳萬九千六百四拾圓、技師二人年俸千貳百圓此金貳千四百圓、技手一人月俸五拾圓三十四人月俸四拾圓五人月俸參拾五圓六十五人月俸拾八圓此金參萬參千六拾圓、書記三十六人月俸貳拾圓此金八千六百四拾圓、警部警部補巡查宿料金七千七百五拾貳圓、其他手當旅費、惠與諸傭給給助

(原案説明) 大正五年四月一日ヨリ國庫費巡查五十名ヲ府費ニ組替タルニ依リ俸給其他ノ諸費ヲ積算セント書記増俸等ノ爲壹萬六千餘圓ヲ増ス

- 第二項 廳 費 金五萬九千九百四拾圓拾貳錢
- 第三項 警察機密費 金六萬圓
- 第二款 警察廳舍修繕費 金九百八拾四圓貳拾四錢
- 第一項 修繕費 金九百八拾四圓貳拾四錢
- 第三款 土木費 金拾五萬五拾八圓九拾八錢
- 第一項 道路橋梁費 金四萬九千參百五拾四圓拾四錢

第二項 治水堤防費 金拾萬七百四圓八拾四錢

第四款 府會議諸費 金貳萬七千七百四拾六圓

第一項 府會議費 金壹萬八千八百八拾九圓貳拾錢

第二項 府參事會諸費 金八千八百五拾六圓八拾錢

第五款 衛生及病院費 金拾七萬七千四百七拾圓貳拾五錢

(修正)金拾七萬七千參百五拾圓貳拾五錢

第一項 衛生諸費 金參萬八百七拾參圓八錢

(修正)金參萬七百五拾參圓八錢

(修正理由) 看護婦試驗費ニ於テ減スルニ由ル(調査委員意見 委員長大井玄洞)

第二項 巢鴨病院費 金八萬九千八百拾四圓壹錢

第三項 娼妓病院費 金四萬六千參百四拾貳圓四拾六錢

第四項 屠畜検査費 金壹萬四百四拾圓七拾錢

第六款 教育費 金六拾貳萬七千貳百拾四圓九拾八錢

第一項 青山師範學校費 金六萬五千九拾五圓貳拾七錢

第二項 豐島師範學校費 金六萬參千貳百拾七圓四拾五錢

- 第三項 女子師範學校費 金五萬四千八百五拾四圓六拾九錢
- 第四項 第一中學校費 金參萬五千八百參拾八圓四錢
- 第五項 第二中學校費 金貳萬貳千貳拾貳圓五拾貳錢
- 第六項 第三中學校費 金參萬千九百五拾參圓六拾錢
- 第七項 第四中學校費 金參萬千五百六拾四圓九拾四錢
- 第八項 第一高等女學校費 金貳萬七千六百拾壹圓四拾四錢
- 第九項 第二高等女學校費 金六千八百拾六圓
- 第十項 第三高等女學校費 金貳萬七千六百八拾五圓九拾九錢
- 第十一項 第四高等女學校費 金壹萬五千四百七拾四圓八拾錢
- 第十二項 織染學校費 金貳萬貳千參百四圓參拾七錢
- 第十三項 工藝學校費 金參萬七千參百拾貳圓六拾八錢
- 第十四項 職工學校費 金參萬七千七百五拾貳圓八拾錢
- 第十五項 園藝學校費 金貳萬參千九百九圓九錢
- 第十六項 農林學校費 金壹萬九千五百貳圓參拾錢
- 第十七項 學事諸費 金九萬七千八百拾圓八拾四錢

- 第十六項 小學校教員檢定費 金千參百四拾六圓拾六錢
- 第十七項 講習費 金參千五百四拾貳圓
- 第十八項 給與 金千六百圓

(原案説明) 從來市部經濟ニ屬セシ職工學校費ヲ連帶經濟ニ移シタル爲參萬七千七百五拾貳圓八拾錢ヲ増シ其他ニ於テ壹萬九千餘圓計五萬六千八百拾七圓八拾錢ヲ増ス

- 第七款 救育費 金四拾萬五千五百九拾九圓六拾四錢
- 第一項 救助費 金四拾萬五千五百九拾九圓六拾四錢

行路病人及死亡人費拾五萬貳千七百四拾圓五錢、精神病者費貳拾五萬貳千八百五拾九圓五拾九錢

- 第八款 諸達書及揭示諸費 金參千六百八拾五圓五錢
- 第一項 令達諸費 金參千六百八拾五圓五錢
- 第九款 勸業費 金七萬九百六拾圓四拾六錢

(修正)金七萬六百六拾圓四拾六錢

- 第一項 勸業會費 金四千八百八圓六拾八錢
- 第二項 勸業諸費 金六萬貳千貳百五圓參拾八錢

(修正)金六萬千九百五圓參拾八錢

(修正理由) 實業視察費參百圓計上ノ處理事者ノ説明ニ依レハ事實視察ノ必要ヲ生シタル際適當ニ支出ノ方法ヲ講スルコト、シ本案ハ單ニ費目ヲ存スル意味ヲ以テ掲ケタルニ過キストノコトナルモ此ノ如キハ豫算ノ本旨ニ副ハサルモノト認ムルヲ以テ本費ハ全然之ヲ削除シ視察ノ必要ニ際シテハ實業獎勵費等ヨリ支出スルヲ適當トスルニ由ル

(調査委員意見)
委員長沼田辰五郎

- 第三項 森林改良費 金貳千參百九拾七圓九拾錢
- 第四項 獸疫豫防費 金貳千貳百四拾八圓五拾錢
- 第十款 府費取扱費 金五千貳百九拾參圓
- 第一項 徵收費 金千百九拾參圓
- 第二項 金庫諸費 金四千百圓
- 第七款 府廳舍修繕費 金四千五百七拾圓
- 第一項 修繕費 金四千五百七拾圓
- 第十款 衆議院議員選舉費 金貳百五圓
- 第一項 選舉費 金貳百五圓
- 第十款 府會議員選舉費 金參百參拾四圓參拾九錢

- 第一項 選舉費 金參百參拾四圓參拾九錢
- 第十款 府吏員費 金拾萬六千七百五拾八圓四拾九錢
- 第一項 吏員費 金拾萬六千七百五拾八圓四拾九錢
- 第十款 財產費 金五拾圓
- 第一項 管理費 金五拾圓
- 第十款 土地收用費 金貳百貳拾四圓五拾錢
- 第一項 審查諸費 金貳百貳拾四圓五拾錢
- 第七款 府社費 金六拾貳圓
- 第一項 府社費 金六拾貳圓
- 第十款 府統計費 金貳千貳百六拾四圓
- 第一項 府統計費 金貳千貳百六拾四圓
- 第十款 感化院費 金壹萬千五百五拾八圓
- 第一項 小笠原修齊學園費 金壹萬千五百五拾八圓
- 第十款 地方獎勵費 金千六百貳拾五圓
- 第一項 獎勵費 金千六百貳拾五圓

第三款 市町村吏員懲戒審査會費 金參拾八圓

第一項 審査諸費 金參拾八圓

第三款 補償鑑定費 金參拾貳圓

第一項 雜給 金參拾貳圓

第三款 救濟事業獎勵費 金參千圓

第一項 獎勵費 金參千圓

第三款 豫備費 金壹萬圓

第一項 豫備費 金壹萬圓

經常部合計金百九拾壹萬九千貳百八拾壹圓六拾錢

(修正)金百九拾壹萬八千八百六拾壹圓六拾錢

臨時部

第一款 警察廳舍建築費 金參千四百八拾八圓四拾五錢

第一項 建築費 金參千四百八拾八圓四拾五錢

第二款 土木費 金九千八百貳拾參圓貳拾五錢

第一項 道路橋梁費 金參千五百八拾八圓貳拾錢

第二項 治水堤防費 金六千貳百參拾五圓五錢

第三款 治水費分擔金 金參拾五萬圓

第一項 河川改良費分擔金 金參拾五萬圓

荒川改良費分擔金

第四款 河川改良工事附帶工事費 金九百參拾四圓拾錢

第一項 道路橋梁費 金九百參拾四圓拾錢

第五款 河川改良工事附帶工事補助費 金壹萬五千圓

第一項 河川改良工事附帶工事補助費 金壹萬五千圓

第六款 衛生及病院費 金四百拾五圓

第一項 娼妓病院費 金四百拾五圓

第七款 市町村傳染病豫防補助費 金四百圓

第一項 市町村傳染病豫防補助費 金四百圓

第八款 教育費 金參萬六千九百五拾圓拾五錢

第一項 師範學校費 金百貳拾圓

第二項 中學校費 金參千貳百四拾參圓七拾五錢

- 第三項 高等女學校費 金壹萬七千九百九拾四圓九拾錢
- 第四項 織染學校費 金四千貳百參拾圓
- 第五項 工藝學校費 金五百六拾四圓
- 第六項 職工學校費 金壹萬六百八拾七圓五拾錢
- 第七項 園藝學校費 金五拾圓
- 第八項 農林學校費 金六拾圓
- 第九款 教育補助費 金貳萬八千五百圓
 - 第一項 教育補助費 金貳萬八千五百圓
- 東京府教育會補助千五百圓實業教育補助八千圓市町村立小學校教育費補助壹萬九千圓
- 第十款 町村警備補助費 金百貳拾壹圓
 - 第一項 町村警備補助費 金百貳拾壹圓
- 南千住町及千住町補助
- 第十款 勸業費 金壹萬五千參百九拾五圓
 - 第一項 建築費 金壹萬八百九拾五圓

原蠶種製造所建築費

- 第二項 助成費 金四千五百圓

同業組合及副業助成費

- 第三款 勸業補助費 金五千圓

- 第一項 勸業補助費 金五千圓

物産共進會補助貳千圓小笠原島航海費補助參千圓

- 第三款 府廳舍建築費 金千六百七拾七圓六拾貳錢

- 第一項 建築費 金千六百七拾七圓六拾貳錢

- 第四款 感化院補助費 金七千五百圓

- 第一項 感化院補助費 金七千五百圓

代用感化院補助

- 第五款 海外視察員派遣費 金參千圓

- 第一項 海外教育視察員派遣費 金參千圓

- 第六款 積立金 金五千圓

- 第一項 育英資金積立金 金五千圓

第七款 史蹟天然記念物保存費 金千圓

第一項 保存費 金千圓

第六款 神職會補助費 金四百五十圓

第一項 神職會補助費 金四百五十圓

第五款 教育費本年度支出額 金四萬六千六百八拾壹圓

第一項 師範學校費本年度支出額 金四萬六千六百八拾壹圓

第三款 土木費本年度支出額 金九千八百八拾九圓

第一項 道路橋梁費本年度支出額 金九千八百八拾九圓

第三款 河川改良工事附帶工費本年度支出額 金壹萬圓

第一項 道路橋梁費本年度支出額 金壹萬圓

臨時部合計金五拾五萬千貳百貳拾四圓五拾七錢

歲出總計金貳百四拾七萬五百六圓拾七錢

(修正)金貳百四拾七萬八拾六圓拾七錢

市部負擔 金百七拾參萬參千九百七拾八圓七拾貳錢

(修正)金百七拾參萬參千八百拾六圓拾貳錢

內 郡部負擔 金七拾參萬六千五百貳拾七圓四拾五錢

(修正)金七拾參萬六千貳百七拾圓五錢

府第三號議案 大正六年度東京府罹災救助基金歲入歲出

豫算書……………可決

府第四號議案 大正六年度東京府慈惠救濟資金歲入歲出

豫算書……………可決

府第五號議案 大正六年度東京府巢鴨病院基本金歲入歲出

出豫算書……………可決

府第六號議案 大正六年度東京府教育資金歲入歲出豫算

書……………可決

府第七號議案 大正六年度東京府小學校教員加俸資金歲

入歲出豫算書……………可決

府第八號議案 大正六年度東京府小學校教員恩給基金歲入歲出豫算書……………可決

府第九號議案 大正六年度東京府小學校教員恩給金歲入歲出豫算書……………可決

府第十號議案 大正六年度東京府府立學校基本金歲入歲出豫算書……………可決

府第十一號議案 大正六年度東京府第一中學校戰役記念獎學金歲入歲出豫算書……………可決

府第十二號議案 大正六年度東京府第一中學校武術獎勵資金歲入歲出豫算書……………可決

府第十三號議案 大正六年度東京府第二中學校恩賜記念獎學資金歲入豫算書……………可決

府第十四號議案 大正六年度東京府第四中學校伏見宮博義王殿下獎學資金歲入歲出豫算書……………可決

府第十五號議案 大正六年度東京府織染學校々舎落成記念獎學資金歲入歲出豫算書……………可決

府第十六號議案 大正六年度東京府御大典記念育英資金歲入歲出豫算書……………可決

府第十七號議案 大正六年度東京府御大禮恩賜賑恤資金歲入歲出豫算書……………可決

府第十八號議案 大正六年度東京府功勞者表彰獎勵資金歲入歲出豫算書……………可決

府第十九號議案 東京府市部府立學校基本金編入ニ關スル件……………可決

東京府市部府立學校基本金ハ大正六年四月一日ヨリ東京府府立學校基本金ニ編

府第二十號議案 東京府軍人遺家族救護基金設置ニ關スル
件……………可決

東京府軍人遺家族救護基金設置ニ關スル件左ノ通り定ムルモノトス
一從來東京府知事ニ於テ保管セル軍人遺家族救護基金ハ大正六年四月一日ヨリ
東京府軍人遺家族救護基金トシテ蓄積シ之ヲ特別會計トス
一本基金ヨリ生スル收入ハ軍人遺家族ノ救護ニ支出スルノ外本基金ニ加入ス
(原案説明) 去ル明治三十九年八月内務大臣ヨリ配付ヲ受ケタル帝國軍人援護會殘餘資金參萬
五百圓ノ管理及處分ハ同省ヨリノ指示ニ基キ軍人遺家族救護基金トシテ從來知事ニ於テ處理
シ來リタル處本年六月右ハ一般府有財産ト同様ノ取扱ヲ爲スヘキ旨其筋ヨリ申越サレタルヲ
以テ大正六年四月一日ヨリ同日ノ現在額ヲ以テ府經濟ノ基金ニ改ムルト共ニ特別會計ト爲サ
ントスルニ由ル
本年十月一日現在ノ同基金左ノ如シ

公債證書
四分利公債 (額面) 三六、〇〇〇、〇〇〇^円

五分利公債 (同) 七〇〇、〇〇〇
預 金 二、〇八八、二九〇

府第二十一號議案 大正六年度東京府軍人遺家族救護基金歲
入歲出豫算書……………可決

歲 入

第一款 軍人遺家族救護基金 金千八百九拾四圓
第一項 基金編入 金貳百九拾貳圓
第二項 財産收入 金千六百貳圓
歲入合計金千八百九拾四圓

歲 出

第一款 軍人遺家族救護基金 金千八百九拾四圓
第一項 公債證書買入代 金貳百九拾四圓
第二項 軍人遺家族救護事業補助費 金千六百圓
歲出合計金千八百九拾四圓

(原案説明) 本案ハ府第二十號議案ニ伴フニ由ル

府第二十二號議案 積立金ノ設置及特別會計ニ關スル方法改

正ノ件……………可決

府立巢鴨病院ニ屬スル積立金ノ設置及特別會計ニ關スル件左ノ通改正スルモノトス

府立巢鴨病院ニ屬スル不動産賣拂代製産品賣拂代用品賣拂代患者作業工賃及毎年度經常部ニ於ケル歳出ノ決算剩餘金竝之ヨリ生スル利子ハ一般經濟ニ編入セズ該病院ノ基本金トシ特別會計ヲ設ケテ之ヲ蓄積スルモノトス
前項ノ基本金ハ必要ニ應シ精神病院移轉建築ノ費途ニ充ツル爲一般經濟ニ編入スルコトヲ得ルモノトス

(原案説明) 精神病院移轉建築工事ハ巢鴨病院所屬ノ不動産賣拂代ヲ以テ施行ノ計畫ナルモ該工事ノ施行上其賣拂代ハ基本金ニ編入シ置キ移轉建築費ノ支出ニ伴フ必要ノ費額ヲ一般經濟ニ繰入ルルヲ適當ト認ムルト患者作業工賃ヲモ基本金中ニ編入スルヲ相當ト認ムルトニ由ル

府第二十三號議案 府會市部會郡部會議決事件ノ分別中改正

ノ件……………可決

府會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ府會ノ議決ヲ經ヘキ事件ト市部會郡部會ノ議決ヲ經ヘキ事件トノ分別中左ノ通改ムルモノトス

市部會議決事件中

「教育費」ノ項ヲ削ル

郡部會議決事件中

土木費及郡市町村土木補助費但書中「荒川改良工事」ノ下ニ「竝利根川改良工事」ヲ加フ

勸業補助費但書中「公有林野造林」ヲ「造林」ニ改ム

府第二十四號議案 自大正四年度至大正六年度東京府教育費繼續年期及支出

方法更正ノ件……………可決

既定額金九萬參千貳百八拾貳圓五拾錢

一金九萬六千六百九拾九圓七拾五錢

教育費中建築費

内 譯

既定額金四萬參千貳百六拾參圓七拾五錢

金四萬六千六百八拾壹圓

大正六年度支出額

右ハ女子師範學校改築費物價騰貴ノ爲増額ヲ要スルニ依リ年度割ヲ更正スルモ
ノトス

府第二十五號議案

自大正六年度 至大正八年度 東京府土木費繼續年期及支出

方法.....可決

一金貳萬參千貳百拾貳圓

道路橋梁費

金千圓

内 譯

大正六年度支出額

内

金千圓

道路改修費

金八千圓

大正七年度支出額

内

金八千圓

道路改修費

金壹萬四千貳百拾貳圓

大正八年度支出額

内

金壹萬四千貳百拾貳圓

道路改修費

仲仙道ハ第五號國道ニシテ交通最モ頻繁ヲ極メ該地方唯一ノ幹道タリ然ルニ急
勾配及屈曲甚シキ箇所アリテ交通不便ナルニヨリ改修ヲ爲サントス而シテ工事
竝經費ノ都合上繼續費トシテ其ノ完成ヲ期セントス

府第二十六號議案

自大正六年度 至大正七年度 東京府土木費繼續年期及支出

方法.....可決

一金壹萬五千八百九拾參圓

道路橋梁費

内 譯

金八千八百八拾九圓

大正六年度支出額

内

金八千八百八拾九圓

橋梁新架費

第五章 府會の行動 大正五年の府會

金七千四圓

大正七年度支出額

内

金七千四圓

橋梁新架費

六郷橋ハ第一號國道タル東海道ニ架設シアリ交通最モ頻繁ヲ極メ且市郡ノ連絡上重要ナル橋梁ナルニ不拘從來假橋ニシテ而モ腐朽ノ箇所多キ爲常時ノ修理頗ル多ク此儘放置シ難キニヨリ此際架設ヲ爲サントス而シテ經費ハ本府及神奈川縣トノ折半負擔トシ且工事及經費ノ都合上繼續費トシテ其ノ完成ヲ期セントス

府第二十七號議案

自大正六年度至大正七年度東京府荒川改良工事附帶工事

費繼續年期及支出方法……………可決

一金四萬貳拾圓

道路橋梁費

内 譯

金壹萬圓

大正六年度支出額

内

金壹萬圓

橋梁新架費

金參萬貳拾圓

大正七年度支出額

内

金參萬貳拾圓

橋梁新架費

荒川改良工事ノ附帶事業トシテ千葉街道南葛飾郡松江村新中川橋梁架設ヲ要スル處工事並經費ノ都合上繼續費トシテ其ノ完成ヲ期セントス

府第二十八號議案 不動産賣却ノ件……………可決

東京市小石川區竹早町所在

東京府女子師範學校建物

一校 舍 木造平家建瓦葺 建坪九十七坪二合五勺 二棟

一校 舍 木造二階建瓦葺 建坪四十五坪 一棟

一校 舍 木造平家建瓦葺 建坪九坪 一棟

此見積價格金貳百七拾圓

此見積價格金拾參圓五拾錢

一 渡リ廊下

建坪十四坪

此見積價格金拾壹圓貳拾錢

以上合計建坪百六十五坪二合五勺

見積價格金五百八拾六圓四拾五錢

右賣却スルモノトス

(原案説明) 女子師範學校改築ニ伴ヒ不用ニ屬スルニ由ル

府第二十九號議案

自大正五年度 至大正九年度 東京府衛生及病院費繼續年期

及支出方法

可決

一金六拾萬五千六百九拾參圓六錢

衛生及病院
移轉建築費

内 譯

金拾五萬貳千貳百四拾圓九拾參錢

大正五年度支出額

金四萬六千五百九拾圓貳拾七錢

大正六年度支出額

金貳拾五萬四千參百拾貳圓參拾八錢

大正七年度支出額

金九萬七百拾壹圓九拾五錢

大正八年度支出額

金六萬千八百參拾七圓五拾參錢

大正九年度支出額

右ハ府立巢鴨病院移轉改築ヲ要スル處其ノ費用多額ナルヲ以テ五箇年度ノ繼續事業トシテ完成ヲ期セントス

(附帶決議)

一 原案ハ駒澤村ヲ標準トシテ編成セラレタリト雖モ調査ノ結果ニ依レハ同地ハ

必スシモ唯一ノ好適地ナリトハ認め難シ

二 巢鴨病院ノ移轉ハ本府永遠ノ大計ニ屬スルヲ以テ理事者ハ尙他方面ニ涉リ十

分ナル調査ヲ遂ケタル上適當ナル地ヲ選定セラレンコトヲ望ム

三 本豫算案ハ總額ノ大體ニ於テ承認スト雖モ敷地選定ノ結果變更ヲ要スヘキ場

合ニ於テハ府參事會ニ諮カリ適當ナル計畫ヲ立テラレンコトヲ望ム (調査委員
意見委員)

(長丸山
名政)

府第三十號議案 不動産處分ノ件……………可決

東京市小石川區駕籠町所在

府立巢鴨病院敷地

一四十一番、自五十三番至五十九番 一萬四百九十九坪

一六十番ノ一 三百十八坪
 一六十番ノ二 三百三十二坪
 一六十番ノ三 千六百一十一坪
 一六十番ノ四 五百二十坪
 一六十一番ノ一 三百四十二坪
 一六十一番ノ五 百五十八坪
 一六十一番ノ六 四十二坪
 一六十一番ノ七 百五十一坪
 一六十二番ノ二 百四十九坪
 一七十二番 三百二十四坪五合
 計一萬四千四百四十六坪五合
 東京市本郷區上富士前町所在
 府立巢鴨病院敷地
 一三十一番、三十二番、三十三番、五十八番 七千四百九十二坪
 一三十四番 二百三十二坪

一七十三番 百六十五坪
 一七十四番 二百八十六坪
 計八千七百七十五坪

東京市小石川區 駕籠町所在
本郷區 上富士前町

府立巢鴨病院敷地

一二百八十六坪九合七勺
 一百三十二坪五合三勺

計四百十九坪五合
 以上合計二萬參千四十一坪

此實測坪數二萬二千七百八拾二坪八合三勺五才

内

一百九十一坪一合 道路敷地トシテ上地
 一二萬二千五百九十一坪七合三勺五才 賣却地 坪
 此賣却見積價格七拾萬七千五百參拾五圓九拾貳錢

内 譯

金七拾萬五千六百壹圓拾貳錢 二萬二千五十坪三勺五才

一坪ニ付參拾貳圓

金千貳百參拾八圓八拾錢 三百九坪七合

一坪ニ付四圓

金六百九拾六圓 二百三十二坪

一坪ニ付參圓

右上地又ハ賣却スルモノトス

(原案説明) 現在敷地東側ノ一部ヲ道路敷トシテ上地ヲ要スルト精神病院ノ移轉改築ニ伴ヒ不用トナルヘキ巢鴨病院ノ敷地ヲ賣却セントスルニ由ル

府第三十一號議案 大正五年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔

及收入割合中改正ノ件……………可 決

市部郡部分擔ノ割合中

「衛生及病院費」ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

衛生及病院費之内精神病院移轉建築費

郡市 一八分四厘

市部郡部收入ノ割合中

「財産收入」ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

財産收入之内巢鴨病院基本金繰入

郡市 一八分六厘

「國庫補助金」ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

國庫補助金之内河川改良工事附帶工事費補助金

郡市 七分四厘

「財産賣拂代」ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

治水堤防費寄附金

郡市 五分一厘

(原案説明) 衛生及病院費ノ内精神病院移轉建築費ハ從來ノ例ニ依リ前記ノ歩合ニ依ルヲ相當ト認ムルト財産收入ノ内巢鴨病院基本金繰入ノ歩合ハ精神病院ノ移轉建築費國庫補助金ノ内河川改良工事附帶工事費補助金ハ該附帶工事費治水堤防費寄附金ハ治水堤防費ニ伴フモノナルヲ以テ孰レモ當該支出費目ト同一ノ歩合ニ依ルヲ適當ト認ムルトニ由ル

府第三十二號議案 大正五年度東京府歳入歳出追加豫算書……………可 決

歳 入

經常部

第一款 財 產 收 入 金拾五萬貳千貳百四拾圓九拾參錢

第三項 特 別 經 濟 線 入 金拾五萬貳千貳百四拾圓九拾參錢

第四款 市 郡 分 賦 額 金拾參萬參千八百四拾圓五拾貳錢

第一項 市 郡 分 賦 額 金拾參萬參千八百四拾圓五拾貳錢

經常部合計金貳拾八萬六千八百八拾壹圓四拾五錢

臨時部

第一款 國 庫 補 助 金 金千貳拾六圓

第十項 河川改良工事附帶工事費補助 金千貳拾六圓

第三款 寄 附 金 金參千八百五拾圓

第一項 土 木 費 寄 附 金 金參千八百五拾圓

臨時部合計金四千八百七拾六圓

歲入總計金貳拾九萬九百五拾七圓四拾五錢

歲 出

經常部

第三款 土 木 費 金壹萬千四百八拾五圓四拾錢

第二項 治 水 堤 防 費 金壹萬千四百八拾五圓四拾錢

小名木川筋浚深費

第六款 教 育 費 金四千圓

第七項 學 事 諸 費 金四千圓

小學校教員恩給金補充費

經常部合計金壹萬五千四百八拾五圓四拾錢

臨時部

第二款 土 木 費 金拾壹萬參千六百六拾參圓貳拾參錢

第一項 道 路 橋 梁 費 金千七百七拾圓

出水ノ爲破損箇所復舊工事費

第二項 治 水 堤 防 費 金拾壹萬千參百九拾參圓貳拾參錢

同 上

第五款 土 木 補 助 費 金八千五百貳拾八圓八拾九錢

第一項 用 惡 水 路 費 補助 金八千五百貳拾八圓八拾九錢

(原案説明) 荒川改良工事ニ附帶シテ綾瀬川以西用惡水路普通水利組合及江北村ニ於テ用惡水

路ノ附替工事ヲ要スルニ依リ國庫補助ヲ控除シタル殘額補助

第三款 河川改良工事附帶工事費 金千五百參拾九圓

第一項 道路 橋 梁 費 金千五百參拾九圓

第三款 衛生及病院費本年度支出額 金拾五萬貳千貳百四拾圓九拾參錢

第一項 精神病院移轉建築費本年度支出額 金拾五萬貳千貳百四拾圓九拾參錢

巢鴨病院移轉建築費ノ内

臨時部合計金貳拾七萬五千四百七拾貳圓五錢

歳出總計金貳拾九萬九百五拾七圓四拾五錢

府第三十三號議案 大正五年度東京府小學校教員恩給金歳入

歳出追加豫算書……………可決

(註) 追加額は金四千圓である。

府第三十四號議案 大正五年度東京府巢鴨病院基本金歳入歳

出追加豫算書……………可決

府第三十五號議案 大正六年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔

及收入割合中追加ノ件……………可決

市部郡部分擔ノ割合中

「衛生及病院費」ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

衛生及病院費之内精神病院移轉建築費 市 八分四厘 郡 一分六厘

市部郡部收入ノ割合中

「財産收入」ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

財産收入之内巢鴨病院基本金繰入 市 八分四厘 郡 一分六厘

(原案説明) 衛生及病院費ノ内精神病院移轉建築費ハ從來ノ例ニ依リ前記ノ歩合ニ依ルヲ相當ト認ムルト財産收入ノ内巢鴨病院基本金繰入ノ歩合ハ精神病院移轉建築費ニ伴フモノナルヲ以テ當該支出費目ト同一ノ歩合ニ依ルヲ適當ナリト認ムルトニ由ル

府第三十六號議案 大正六年度東京府歳入歳出追加豫算書……………可決

歳入

經常部

第一款 財産收入 金四萬六千五百九拾圓貳拾七錢

第一項 特別經濟繰入 金四萬六千五百九拾圓貳拾七錢

巢鴨病院基本金繰入

經常部合計金四萬六千五百九拾圓貳拾七錢

歳入總計金四萬六千五百九拾圓貳拾七錢

歳出

臨時部

第三款

衛生及病院費本年度支出額

金四萬六千五百九拾圓貳拾七錢

第一項

精神病院移轉建築費本年度支出額

金四萬六千五百九拾圓貳拾七錢

臨時部合計金四萬六千五百九拾圓貳拾七錢

歳出總計金四萬六千五百九拾圓貳拾七錢

府第三十七號議案 大正六年度東京府巢鴨病院基本金歳入歳

出追加豫算書……………可決

府諮問第一號 土木費特別支辨規程中改正ノ件……………答申議決

土木費特別支辨規程中左ノ通改正セントス

第一條及第五條中「荒川」ノ下ニ「又ハ利根川」ヲ加フ

右其ノ會ノ意見ヲ諮フ

（答申）諮問ノ趣旨ニ同意ス

多摩川改修時期繰上ニ關スル建議案……………可決

建議の概要) 第二期改修の河川たる多摩川を第一期に繰上られたいとのことは、客年本府會より陳情した處であるが、本川の重要河川に屬することは、今更贅するの必要もなく、從來の實例に徴すれば、數年に一回大洪水の災害に罹かるのは、殆んど違はざる事實である。故に、荏苒として第二期改修を俟つのは、眞に寒心に堪へないから、希くは詮議を重ねられて、第一期改修河川に繰上られたいと内務大臣に意見書を提出するので、案は多數を以て可決した(議員吉田勘右衛門外二十名發議)

荒川改修工事速成ニ關スル建議案……………可決

(建議の概要) 荒川改修工事の豫定期間は、明治四十四年度乃至大正九年度の十箇

年計畫であつたのを、大正二年に政府は、豫定を變更して工期を三箇年延長せられた。これは實に意外であつて、府民の驚愕憂慮に禁へざるところである。荒川の洪水は、數年に一回必ず到るの例で、最近明治四十年、同四十三年及大正三年の大洪水が、之を證して餘りあるところである。此の例から推測すれば、近き數年の内に又復大洪水の慘害を被るべきは、決して杞憂とは言はれない。故に今に於て適當の豫防策を講ずるのは、關係府縣の義務であつて、且衷心熱望するところである。而して最良の方策は、改修期間を短縮して、及ぶ限り工事の速成を期するにあると思ふ。今や財界は、歐洲大戰の影響に因り極めて好況に在るから、此の機會に工費を充足し、工期の短縮を圖るのは、強ち難事ではなく、關係府縣も亦財政の許す限り、分擔金の前納、其の他の負擔に任ずる覺悟であるから、希くは陳情の次第を詮議して、工事速成の英斷を採られたいと、内務大臣に意見書を提出するので、建議案は多數を以て可決した(議員伊藤仁太郎外十三名發議)

荒川堤外地埋立ニ關スル建議案……………可決

(建議の大要) 荒川改修工事は、目下施行中であるが、南足立郡千住町千住中組地内

四個所此の反別十五町四段歩の堤外地は、悉く埋立られて宅地同様の状態となつてゐる。これに就て昨年通常府會の決議を以て、本府の公益上速に調査を遂げ、災害を未前に防遏すべく適當の措置を採られたいと建議したが、其の後舊態の儘放擲してあるため、本年の出水に際し著しき災害を被つた。理事者は速に調査して、至急今後の災害を防禦すべき適當の措置を採られたいと、知事に意見書を提出するので、建議案は多數を以て可決した(議員常田大藏外九名發議)

河川法準用ニ關スル建議案……………可決

(建議の大要) 管内で未だ河川法を準用若くは施行せざる河川中、利害關係の重大なる河川に付ては、河川法を準用して管理取締を嚴重にせられたいと知事に意見書を提出するので、建議案は多數を以て可決した(議員村田權次郎外九名發議)

島地警察制度改善ニ關スル建議案……………可決

(建議の大要) 小笠原島を始め、伊豆諸島の現行警察制度は、警部巡查在勤所又は巡查在勤所と稱し、島の大小に應じて若干の警部若は巡查を配置して警察事務を管

掌せしめて居るが、其の権限は極めて狭少である。斯様な制度は、畢竟民情風俗其の他諸般の關係が内地と事情を異にする島地に對しての變例であるのは言を俟たないが、各島共近年産業の發達に伴ひ、民情風俗の變遷も亦甚しく、到底昔日の淳朴單純な島民と同一視することが出来なくなり、従つて、數十年來踏襲の變則的警察制度を以て之に臨むのは、民度に比して甚だ權衡を失し、島民の安寧幸福を保護する所以でない。仍て、此の際内地の警察分署制度に倣ひ、之と同等の権限を有する警察署を設置し、民度に副ひ島民の安寧幸福を完全に保護せられんことを望むと内務大臣に意見書を提出するので、建議案は多數を以て可決した議員酒井泰外六名發議

府立中學校増設ニ關スル建議案……………可決

(建議の大要) 時勢の進運に伴つて、教育程度も亦向上し、現時の中等教育は、國民の普通教育として寸時も忽にすることは出来ない。即ち、高等の専門教育に志す者も又實務に従事せんとする者も共に中學校を卒業しなければ、遂に其の目的を達することが出来ない状態である。然るに、全國を通じて既設中學校の數が甚だ乏

しく、到底需要を充たすに足らない。本府の如きは特に其の著しきもので、人口參百數十萬の大都府であつて、僅に四個の府立中學校を有するに過ぎない。其の機關の不充分なる眞に驚くの外はない。されば、府立中學校が毎年募集する生徒人員に對し、其の志願者は、數倍若くは十數倍の多數に達し、成績優秀なる者も尙入學の目的を達することが出来ず、前途の方向を誤つた者も少なくないと聞いて居る。これは教育上一日も忽に出来ぬ大事であつて、速に適當の對策を講ずるは刻下の急務と確信する。しかし本府財政の状態も斟酌しなければならぬから、當面應急の策として、先づ府立中學校一校を増設して、一時の欠缺を補ふこととし、至急調査を遂げて適當の時機に發案せられたいと、知事に意見書を提出するので、建議案は多數を以て可決した(議員徳岡梅吉外八名發議)

癩患者收容所ニ關スル建議案……………可決

(建議の大要) 癩患者收容所は、從來慰癩園を以て之に充て、居つたが、同園の位置は帝都に接近してゐるのみならず、其の趣意は癩疾者を慰藉するにあつて、學理に基いて醫療するのを主義としないから、一時の代用は已むを得ないが、成るべく他

に島嶼又は適當の場所を選定せられたいと知事に意見書を提出するので、建議案は多數を以て可決した(議員大井玄洞外五名發議)

府立商業學校設置ニ關スル建議案……………可決

(建議の概要) 先年實業教育振興の必要を認め、府立農業學校及商業學校設立に關する意見書を提出したところ、其の後當局者は、農林學校及園藝學校を創設して農業教育機關の完備を告げたが、未だ商業學校の建設されないのは甚だ遺憾に堪へない。惟ふに、我邦の實業界は、歐洲大戰の影響を受けて、將に新生面を開かんとするの機運に際會し、實業發達の源泉たる、實業教育の振興を圖るの必要は益々痛切に感ぜらるゝのである。從來府立中學校の志願者は、常に募集人員に數倍するの状況であるが、これは、商業家の子弟が、寧ろ商業學校に入學して、實科の知識を習得し、家業に従事せんことを希望するも、完全なる商業學校が乏しいため、已むを得ず府立中學校の門に集る者が多數を占むるの結果であることは想像に難からぬ所あるから、速に中學程度の商業學校を創設して、時勢の要求に應ぜられたいと知事に意見書を提出するので、建議案は多數を以て可決した(議員細谷鎌太郎外七名發議)

教育費國庫支辨ニ關スル建議案……………可決

(建議の概要) 教育費即行旅病人死亡人竝精神病者救護に關する費用を、國庫支辨に移され度いことは連年本會の決議を以て意見書を提出し來つたが、未だ宿望を達するの機運に際會しないのは、甚だ遺憾とする所である。而して、國庫支辨を希望する理由は、毎年の陳情に悉してゐるから、茲に詳述することは省略するも、他府縣に比して、獨り本府の負擔のみが、偏重累加の傾向益々甚しきを加へ、府民は殆んど其の負荷に堪へ難き實況であるから、速に詮議の上、國庫の支辨に移されたいと、内務大臣に意見書を提出するので、案は多數を以て可決した(議員村田權次郎發議)

府參事會委任事件中改正ニ關スル決議案……………可決

一府參事會委任事件中左之通改正スルモノトス

第十號ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ

十一 工事ニ要スル潰地ヲ上地スル事

十二 官有地特別處分規則第三條竝官有財産管理規則第十三條ニ依ル土地

ノ讓受及其ノ處分ニ關スル事

- 一 荒川改修工事ニ付政府ニ於テ改修年限ヲ短縮セラルルトキハ自然豫算ノ更正追加ヲ要スヘキニ付其ノ議決ヲ府參事會ニ委任スルモノトス
- 一 巢鴨病院移轉ニ付將來駒澤村以外ノ土地ヲ選定セラルル場合ニ於テハ自然豫算ノ更正ヲ要スルコトアルヘキニ付其ノ議ヲ府參事會ニ委任スルモノトス(議員酒井泰外四名發議)

府會書記退職給與金並扶助金等ニ關スル決議案……………可 決

府會書記退職給與金並扶助金等ニ關スル件

- 一 府會書記左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ一時限退職給與金ヲ給スルモノトス
- 一 在職一年以上ニシテ傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ其ノ職務ニ堪ヘス退職シタルトキ
 - 二 在職一年以上ニシテ法令ノ改廢ニ基キ廢職ト爲リタルトキ
 - 三 在職一年以上ニシテ事務ノ都合ニ依リ退職ヲ命セラレタルトキ
 - 四 在職中職務ノ爲メ傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ一肢以上ノ用ヲ失ヒ又ハ之ニ

準スヘキ者ト爲リ其ノ職務ニ堪ヘス退職シタルトキ

- 一 退職給與金ノ額ハ前項第一號乃至第三號ノ場合ニ於テ在職年數十五年未滿ナルトキハ退職當時ニ於ケル俸給半個月分ニ在職年數一箇年未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ以下同シヲ乘シタル額、在職年數十五年以上ナルトキハ退職當時ニ於ケル俸給一箇月分ニ在職年數ヲ乘シタル額トシ第四號ノ場合ニ於テハ以上ニ依リ計算セル額ノ二倍ヲ以テ其ノ額トス但シ在職年數一箇年未滿ナルトキハ退職當時ノ俸給一箇月分トス

- 一 府會書記左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ明治三十六年東京府令第二十號府ノ經濟ヨリ給料ヲ受クル吏員職員ノ退隱料退職給與金遺族扶助料支給規則第十七條及第十八條ノ順位ニ依リ其ノ遺族ニ對シ一時限リ扶助金ヲ給スルモノトス
 - 一 在職一年以上ニシテ死亡シタルトキ
 - 二 在職中職務ノ爲死亡シタルトキ

- 一 扶助金ノ額ハ前項第一號ノ場合ニ於テハ第一項第一號乃至第三號ニ依リ給與スヘキ額トシ第二號ノ場合ニ於テハ第一項第四號ニ依リ給與スヘキ額ニ其ノ二分ノ一ヲ増加シタル額トス

- 一 退職給與金又ハ扶助金ノ支給上圓位未滿ノ端數ヲ生シタル場合ハ圓位ニ滿タシム
- 一 在職年數ハ就職ノ月ヨリ起算シ退職ノ月ヲ以テ終ル但シ退職後再ヒ就職シタル者ハ前在職年數ハ算入セス
- 一 府會書記在職中特別勤勞アリタルトキハ前各項ノ給與金又ハ扶助金ノ外特ニ賞與金ヲ給スルコトヲ得
- 一 本規定ハ大正六年一月一日以後退職又ハ死亡シタル場合ニ於テ之ヲ適用ス(議員酒井泰外四名發議)

通常市部會

本會は大正五年十二月一日午後二時四十八分に開議し、會議七日間に涉り、十二月二十三日午後五時五十五分議事終了散會した。

村上議長は、會議の同意を得て、沼田辰五郎中野勇治郎を會議録署名議員に選定した。

議案

第一號議案部	大正六年度東京府市部營業稅雜種稅課目課額……………	修正
第二號議案部	大正六年度東京府市部歲入歲出豫算書……………	修正
第三號議案部	大正六年度東京府市部請願巡查竝消防費徵收額……………	可決
第四號議案部	大正六年度東京府市部慈惠救濟資金歲入歲出豫算書……………	可決
第五號議案部	大正六年度東京府市部積立金歲入歲出豫算書……………	可決
第六號議案部	不動産賣却ノ件……………	可決
第七號議案部	東京府市部府稅賦課規則中改正ノ件……………	可決
第八號議案部	東京府市部府立學校基本金繰入ニ關スル件……………	可決
第九號議案部	大正五年度東京府市部歲入歲出追加豫算書……………	可決
第十號議案部	府稅賦課ニ關スル件……………	可決
第十一號議案部	不動産賣却ノ件……………	可決
第十二號議案部	大正六年度東京府市部歲入歲出追加豫算書……………	可決
	大正四年度東京府市部歲入歲出決算書……………	承認

議決摘要

市部 第一號議案 大正六年度東京府市部營業稅雜種稅課目課額……修正

營業稅

一 商業

第一類 物品販賣業(賣藥行商ヲ除ク)・金錢貸付業・物品貸付業・兩替業・運送業・請負業・旅人宿業・木賃宿業・下宿業・仲立業・問屋業・代理業・周旋業・信託業

第二類 席貸業

第三類 賣藥行商

一人ニ付

一 工業

年稅 建物賃貸價格千分ノ十四

雜種稅

一 料理屋

年稅 建物賃貸價格千分ノ十七

一 待合茶屋

同 建物賃貸價格千分ノ十七

一 遊船宿

同 建物賃貸價格千分ノ十七

一 芝居茶屋

同 建物賃貸價格千分ノ十七

一 飲食店

同 建物賃貸價格千分ノ十七

一 湯屋

同 建物賃貸價格千分ノ二十

一 雇人請宿

同 建物賃貸價格千分ノ十四

一 市場

日本橋區日本橋四日市組魚市場

年稅 「金五百五拾圓」ト修正

深川區深川魚市場

同 「金五百五拾圓」ト修正

(修正理由) 實況ニ徴シ減稅ノ必要ヲ認ムルニ由ル (調査委員意見) (委員長大井玄洞)

一 興行

「人寄席ニ於テ興行スルモノ」

算定上リ高百分ノ一(修正追加)

(修正理由) 同上 (調査委員意見) (委員長大井玄洞)

建物アルモノ

興行時間七時間以上ニ亘ルモノ

同 百分ノ三

其他

同 百分ノ一・五

建物ナキモノ

上リ高 百分ノ七

一 屠畜

年稅 建物賃貸價格千分ノ十四

一 採藻

第五章 府會の行動 大正五年の府會

海苔採

海面百坪ニ付

年稅

金參拾錢

一自動車

〔乗用車〕(修正追加)

自家用

二十馬力以上

年稅

金八拾圓

十五馬力以上

同

金六拾圓

十馬力以上

同

金四拾圓

五馬力以上

同

金貳拾五圓

五馬力未滿

同

金拾五圓

運輸營業專用

二十馬力以上

年稅

金五拾參圓

十五馬力以上

同

金四拾圓

十馬力以上

同

金貳拾六圓

五馬力以上

同

金拾六圓

五馬力未滿

同

金拾圓

〔荷積專用車

自家用

二十馬力以上

年稅

金八拾圓

十五馬力以上

同

金六拾圓

十馬力以上

同

金四拾圓

五馬力以上

同

金貳拾五圓

五馬力未滿

同

金拾五圓

運輸營業專用

二十馬力以上

年稅

金五拾參圓

十五馬力以上

同

金四拾圓

十馬力以上

同

金貳拾六圓

五馬力以上

同

金拾六圓

五馬力未滿

同

金拾圓(修正追加)

(修正理由) 乗用車ト荷積専用車トヲ區別スルヲ適當ト認ムルニ由ル(調査委員意見)

(原案説明) 營業稅雜種稅中從來個數ヲ標準トシテ賦課セルモノ全部ハ建物賃貸價格ヲ以テ標

準ト爲スヲ適當ト認ムルト亦課税ノ權衡上商業第二類トシテ方數ヲ標準トシテ課税セル十方未滿ノ賣藥請賣業ハ販賣業トシテ第一類ニ於テ課スルコトニ改メ建物アル興行ニ對スル課率ヲ高メ採藻税ノ等級區分ヲ廢止シ自動車税中一部課率ノ改正ヲ爲ス等ノ必要アルニ由ル

市 第二號議案部 大正六年度東京府市部歳入歳出豫算書……………修正

歳入

經常部

- 第一款 地租 割 金四拾貳萬六千貳拾貳圓五拾錢
- 第一項 地租 割 金四拾貳萬六千貳拾貳圓五拾錢
(宅地租壹圓ニ付拾八錢其他ノ土地地租壹圓ニ付四拾四錢參厘)
- 第二款 營業 稅 金拾萬四千五百九拾參圓四拾壹錢
- 第一項 商業 稅 金七萬參千四百參圓八拾四錢
- 第二項 工業 稅 金參萬千八百八拾九圓五拾七錢
- 第三款 雜種 稅 金五拾四萬百九拾九圓拾七錢
(修正)金五拾參萬九千八百貳拾參圓拾錢
- 第十五項 市場 稅 金四千四百圓

(修正)金四千百五拾圓

(修正理由) 四日市組魚市場並ニ深川魚市場稅ヲ輕減スルニ由ル (調査委員意見) 委員長大井玄洞

第七項 興行 稅 金貳萬四千貳百八拾七圓八拾五錢

(修正)金貳萬四千百六拾壹圓七拾八錢

(修正理由) 課目課額ニ於テ人寄席ニ於テスル興行稅ヲ加ヘタルニ由ル (調査委員意見) 委員長大井玄洞

第四款 營業 稅 附加 稅 金五拾九萬參千六百四拾五圓

第一項 營業 稅 附加 稅 金五拾九萬參千六百四拾五圓
(本稅壹圓ニ付拾參錢)

第五款 賣藥營業 稅 附加 稅 金五百六拾四圓

第一項 賣藥營業 稅 附加 稅 金五百六拾四圓
(本稅壹圓ニ付參錢)

第六款 取引所營業 稅 附加 稅 金參萬七千貳百圓

第一項 取引所營業 稅 附加 稅 金參萬七千貳百圓
(本稅壹圓ニ付拾錢)

第七款 所得 稅 附加 稅 金拾九萬千參百八拾八圓

第一項 所得 稅 附加 稅 金拾九萬千參百八拾八圓
(本稅壹圓ニ付六錢)

第八款 家屋 稅 金八拾壹萬七千八百五拾六圓

第一項 家屋 稅 金八拾壹萬七千八百五拾六圓
(個數一個ニ付五錢貳厘)

第五章 府會の行動 大正五年の府會

第九款 財產收入 金貳千拾圓

第一項 特別經濟繰入 金貳千拾圓

第十款 國庫下渡金 金八拾萬七千六百參拾九圓五拾七錢

第一項 警察費下渡金 金八拾萬七千六百參拾九圓五拾七錢

第十款 雜收 金拾六萬八千七百八拾八圓七拾六錢

第十款 市郡連帶市部收入額 金參拾參萬參千拾五圓拾錢

第十款 市郡連帶市部收入額 金參拾參萬參千拾五圓拾錢

經常部合計金四百貳萬貳千九百貳拾壹圓五拾壹錢

(修正)金四百貳萬貳千五百四拾五圓四拾四錢

臨時部

第一款 繰越金 金千圓

第一項 前年度繰越金 金千圓

第二款 國庫補助金 金貳萬千八百五拾八圓參拾錢

第一項 警察費補助金 金九千八百五拾八圓參拾錢

第二項 市町村補助費補助金 金壹萬貳千圓

第三款 財產賣拂代 金四百六拾九圓八拾八錢

第一項 不動產賣拂代 金四百六拾九圓八拾八錢

臨時部合計金貳萬參千參百貳拾八圓拾八錢

歲入總計金四百四萬六千貳百四拾九圓六拾九錢

(修正)金四百四萬五千八百七拾參圓六拾貳錢

歲出

經常部

第一款 警察費 金貳百壹萬九千四百五拾圓六拾七錢

第一項 俸給及諸給 金百五拾四萬四千六百八拾七圓八拾錢

警部補百三十三人月俸貳拾五圓此金參萬九千九百圓巡查部長二百四十九人

月俸貳拾貳圓此金六萬五千七百參拾六圓巡查三千八百二十三入月俸拾八圓

此金八拾貳萬五千七百六拾八圓消防曹長四十二人月俸貳拾圓同上二人六箇

月分此金壹萬參百貳拾圓消防手四百一十一人月俸拾七圓十四人同上六箇月分

二十人月俸拾圓此金八萬七千六百七拾貳圓警察書記百五十八人月俸拾八圓

一人月俸貳拾五圓此金參萬四千四百貳拾八圓消防書記十四人月俸拾八圓此

金參千貳拾四圓、警察署長警部消防官警部補巡查宿料拾八萬八千九百四拾圓、諸備給消防及水上署關係八萬五百拾四圓拾五錢、其ノ他手當旅費、惠與給助

(原案説明) 國庫費巡查二十名ヲ本費ニ組替タルト騎馬巡查五名及馬匹増置ニ要スル諸費其ノ他ニ依リ前年度ニ比シ貳萬參千餘圓ヲ増ス

第二項 廳 費 金四拾七萬四千七百六拾貳圓八拾七錢

第二款 警察廳舍修繕費 金壹萬五千五百拾圓六拾六錢

第一項 修繕費 金壹萬五千五百拾圓六拾六錢

第三款 府費取扱費 金貳萬貳千八百七拾參圓

第一項 徵收費 金貳萬貳千八百七拾參圓

第四款 財產費 金貳圓

第一項 管理費 金貳圓

第五款 府社費 金貳百四拾八圓

第一項 府社費 金貳百四拾八圓

第六款 豫備費 金五千圓

第一項 豫備費 金五千圓

第七款 市郡分賦市部負擔額 金百七拾參萬參千九百七拾八圓七拾貳錢

(修正)金百七拾參萬參千八百拾六圓拾貳錢

第一項 市郡分賦市部負擔額 金百七拾參萬參千九百七拾八圓七拾貳錢

(修正)金百七拾參萬參千八百拾六圓拾貳錢

(修正理由) 聯帶豫算ノ修正ニ伴フニ由ル

經常部合計金參百七拾九萬七千六拾參圓五錢

(修正)金參百七拾九萬六千九百圓四拾五錢

臨時部

第一款 警察廳舍建築費 金八萬七千八百參拾六圓八拾錢

第一項 建築費 金八萬七千八百參拾六圓八拾錢

麴町外十警察署其ノ他建築費

第二款 市町村傳染病豫防補助費 金七萬貳千圓

第一項 市町村傳染病豫防補助費 金七萬貳千圓

第三款 府債費 金參萬四千八百八拾四圓

第一項 元金償還 金參萬四千圓

第二項 利 子 金八百八拾四圓

第四款 運 用 金 戻 入 金五萬四千貳百四拾九圓

第一項 運 用 金 戻 入 金五萬貳千圓

第二項 運 用 金 利 子 金貳千貳百四拾九圓

臨時部合計金貳拾四萬八千九百六拾九圓八拾錢

歲出總計金四百四萬六千參拾貳圓八拾五錢

(修正)金四百四萬五千八百七拾圓貳拾五錢

市 第三號議案部 大正六年度東京府市部請願巡查並消防費徵收額……可 決

一金貳拾九圓七拾錢 巡查一人一箇月分

一金貳拾貳圓五拾錢 消防手一人一箇月分

市 第四號議案部 大正六年度東京府市部慈惠救濟資金歲入歲出 豫算書……可 決

市 第五號議案部 大正六年度東京府市部積立金歲入歲出豫算書……可 決

市 第六號議案部 不動産賣却ノ件……可 決

淺草區七軒町二番地十二號

淺草七軒町警察署建物

一木造平家建瓦葺 建坪四十六坪五合 貳 棟

此見積價格金百七拾七圓

京橋區明石町一番地一號所在

東京水上警察署建物及附屬物

一木造平家建瓦葺 建坪百二十四坪五合 六 棟

此見積價格金貳百九拾貳圓八拾八錢

右賣却スルモノトス

(原案説明) 右ハ改築ニ伴ヒ不用ニ屬スルニ由ル

市 第七號議案部 東京府市部府稅賦課規則中改正ノ件……可 決

東京府市部府稅賦課規則中左ノ通改正シ大正六年四月一日ヨリ施行スルモノト

ス

第四條第六號中「個數」ヲ「建物賃貸價格」ニ改ム

第六條第一項中「個數」ヲ「建物賃貸價格」ニ改ム

第七條 營業稅又ハ雜種稅ノ課稅標準タル建物賃貸價格ハ左ノ各號ニ依リ計算スルモノトス

一 貸主カ公課修繕費其他土地又ハ建物ノ維持ニ必要ナル經費ヲ負擔スル條件ヲ以テ店舗其他營業用ノ土地建物ヲ賃貸スル場合ニ於テ貸主ノ收得スヘキ前年中ノ平均金額ニ相當スルモノトス但新ニ開業シタルモノニ付テハ豫算ニ依ル

一 同一區域内ニ在ル土地建物ト雖直接又ハ間接ニ營業ニ使用セサルモノハ算入セサルモノトス但店舗其他ノ營業場ノ區域外ニ在ルモノハ直接營業ニ使用スルモノニ限ル

一 特別ノ事情ニ因リ特ニ低廉ナルカ又ハ土地若ハ建物カ營業者ノ所有ニ屬スルトキハ近傍ノ比準ニ依リ之ニ依リ難キトキハ土地ニ付テハ時價ノ百分ノ五家屋ニ付テハ時價ノ百分ノ十ヲ以テ其賃貸價格ト看做ス

劇場興行場遊覽所其他他人ノ經營スル場所ニ於テ爲ス營業ニ對スルモノニシテ前項ニ依リ難キ場合ハ其場所使用ノ對價ノ前年中ノ平均金額ニ相當スルモノヲ以テ建物賃貸價格ト看做ス但新ニ開業シタルモノニ付テハ豫算ニ依ル前項ノ場合ニ於テ特別ノ事情ニ因リ對價カ低廉ナルカ又ハ其對價ナキトキハ類似ノ場所ノ比準ニ依ル

第八條第一項ヲ左ノ如ク改ム

建物賃貸價格ヲ標準トシテ賦課スルモノニシテ賃貸價格貳拾圓未滿ノモノハ貳拾圓ニ對スル稅額ヲ賦課ス

第九條 削除

第十三條第一項第一號ヲ左ノ如ク改ム

一 建物賃貸價格ヲ課稅標準トスルモノ金錢貸付業・物品貸付業・兩換業・周旋業・代理業・仲立業・問屋業・信託業ヲ除ク及賣藥行商專業若ハ街路又ハ之ニ準スヘキ場所ニ於テ行爲ヲ爲スモノニシテ一箇年收入五拾圓未滿ノ者

第十三條第一項第七號中「假設店」ノ下ニ「興行及遊覽所」ヲ加フ

第十六條第一項第二號中「土藏造」ノ下ニ「鐵造」ヲ加ヘ「鐵筋コンクリート造」ノ下ニ「鐵

網コンクリート造ヲ加フ

(原案説明) 營業稅雜種稅中從來個數ヲ標準トシテ賦課セルモノハ全部建物賃價格ヲ標準ト爲スコトニ改ムルヲ適當ト認メ臨時多數ノ人ノ集合ヲ目的トスル興行及遊覽所ニ對シテハ府稅ヲ賦課セサルコトニ改ムルヲ相當ト認メ且實際ニ徵シ家屋稅賦課ニ關スル規定ノ一部其他ノ改正ヲ相當ト認メ本案改正ヲ爲サントス

市 第八號議案部 東京府市部府立學校基本金繰入ニ關スル件……………可決

特別會計ニ屬スル東京府市部府立學校基本金ハ大正五年度限廢止シ本基本金全部ヲ東京府府立學校基本金ニ繰入ルルモノトス

市 第九號議案部 大正五年度東京府市部歲入歲出追加豫算書……………可決

歲入

經常部

第一款 地 租 割 金參萬五千五百圓五拾錢

第一項 地 租 割 金參萬五千五百圓五拾錢

(宅地租壹圓ニ付壹錢五厘其他ノ土地々租壹圓ニ付參錢七厘)

第四款 營業稅附加稅 金參萬千百貳拾五圓九拾錢

第一項 營業稅附加稅 金參萬千百貳拾五圓九拾錢

自然增收見込額

第三款 市郡連帶市部收入額 金拾參萬六百五圓拾貳錢

第一項 市郡連帶市部收入額 金拾參萬六百五圓拾貳錢

經常部合計金拾九萬七千貳百參拾壹圓五拾貳錢

臨時部

第三款 財 產 賣 拂 代 金四千參百五拾壹圓九拾錢

第一項 不 動 產 賣 拂 代 金四千參百五拾壹圓九拾錢

臨時部合計金四千參百五拾壹圓九拾錢

歲入總計金貳拾萬千五百八拾參圓四拾貳錢

歲出

經常部

第八款 市郡分賦市部負擔額 金貳拾萬千五百八拾參圓四拾貳錢

第一項 市郡分賦市部負擔額 金貳拾萬千五百八拾參圓四拾貳錢

經常部合計金貳拾萬千五百八拾參圓四拾貳錢

歲出總計金貳拾萬千五百八拾參圓四拾貳錢

市第十號議案部 府稅賦課ニ關スル件……………可決

大正五年度市部追加府稅地租割ノ宅地々租壹圓ニ付壹錢五厘其他ノ賦課ニ付テハ左記ノ方法ニ依ルモノトス

一大正六年一月一日現在ノ地租額ヲ標準トシ其納租者ニ之ヲ賦課ス
一前項ノ外東京府市部府稅賦課規則ニ依ルモノトス

市第十一號議案部 不動産賣却ノ件……………可決

下谷區車坂町二十五番地

元下谷上野警察署敷地ノ内

一土地 六十三坪四合二勺

此實測坪數 六十二坪一合七勺

此見積價格金四千參百五拾壹圓九拾錢 一坪當七拾圓

右賣却スルモノトス

(原案説明) 右ハ不用ニ屬スルニ由ル

市第十二號議案部 大正六年度東京府市部歲入歲出追加豫算書……………可決

歲入

經常部

第二款 市郡連帶市部收入額 金參萬九千百參拾五圓八拾參錢

第一項 市郡連帶市部收入額 金參萬九千百參拾五圓八拾參錢

經常部合計金參萬九千百參拾五圓八拾參錢

歲入總計金參萬九千百參拾五圓八拾參錢

歲出

經常部

第七款 市郡分賦市部負擔額 金參萬九千百參拾五圓八拾參錢

第一項 市郡分賦市部負擔額 金參萬九千百參拾五圓八拾參錢

經常部合計金參萬九千百參拾五圓八拾參錢

歲出總計金參萬九千百參拾五圓八拾參錢

大正四年度東京府市部歳入歳出決算書……………承認

通常郡部會

本會は大正五年十二月一日午後二時五十一分に開議し、會議五日間に涉り、十二月二十三日午後零時五十二分議事終了散會した。

谷岡議長は、會議の同意を得て、村林彦之、井田忠信を會議録署名議員に選定した。

議案 附決議案

- 第一號議案部 大正六年度東京府郡部營業稅雜種稅課目課額……………可決
- 第二號議案部 大正六年度東京府郡部歳入歳出豫算書……………修正
- 第三號議案部 大正六年度東京府郡部請願巡查費徵收額……………可決
- 第四號議案部 大正六年度東京府郡部慈惠救濟資金歳入歳出豫算書……………可決
- 第五號議案部 大正六年度東京府郡部衛生資金歳入歳出豫算書……………可決
- 第六號議案部 大正六年度東京府郡部積立金歳入歳出豫算書……………可決

第七號議案部 自明治四十年年度東京府郡部土木費繼續年期及支出方法……………可決

更正ノ件……………可決

第八號議案部 自大正七年度東京府郡部土木費繼續年期及支出方法……………否決

第九號議案部 自大正八年度東京府郡部土木費繼續年期及支出方法……………可決

第十號議案部 不動産賣却ノ件……………可決

第十一號議案部 不動産賣却ノ件……………可決

第十二號議案部 東京府郡部府稅賦課規則中改正ノ件……………可決

第十三號議案部 大正五年度東京府郡部歳入歳出追加豫算書……………可決

第十四號議案部 大正六年度東京府郡部歳入歳出追加豫算書……………可決

大正四年度東京府郡部歳入歳出決算書……………承認

郡部參事會委任事件中改正ニ關スル決議案……………可決

議決摘要

第一號議案部 大正六年度東京府郡部營業稅雜種稅課目課額……………可決

營業稅

一 商業

第一類	物品販賣業 <small>(賣藥行商ヲ除ク)</small>	年稅	賣上收入金高千分ノ五
第二類	金錢貸付業 物品貸付業 兩換業	同	營業收入金高百分ノ五
第三類	運送業	同	營業收入金高千分ノ四
第四類	請負業	同	請負收入金高千分ノ四
第五類	席貸業・旅人宿業・木賃宿業・牛馬宿業・下宿業	同	營業收入金高千分ノ五
第六類	仲立業・問屋業・代理業・周旋業・信託業	同	報償收入金高百分ノ二
第七類	賣藥行商	一人ニ付	金參拾錢
雜種稅			
一 採藻			
海苔採	海面百坪ニ付	年稅	金參拾錢
一 自動車			
自家用		年稅	金八拾圓
二十馬力以上			

二十五馬力以上	同	金六拾圓
十五馬力以上	同	金四拾圓
五馬力以上	同	金貳拾五圓
五馬力未滿	同	金拾五圓
運輸營業專用		
二十馬力以上	年稅	金五拾參圓
二十五馬力以上	同	金四拾圓
十五馬力以上	同	金貳拾六圓
五馬力以上	同	金拾六圓
五馬力未滿	同	金拾圓

(原案説明) 從來商業第七類ニ於テ方數ヲ標準トシテ賦課セル賣藥請賣業全部ハ物品販賣業トシテ第一類ニ於テ課稅スルヲ適當ト認ムルト第六類中ニ信託業ヲ加ヘ仲買業ヲ問屋業ニ代辨業ヲ代理業ニ改ムルト八王子町八王子織物市場ハ大正五年三月廢業セルニ付削除セルト亦乘馬稅ノ廢止採藻稅等級區分ノ廢止自動車稅中一部課率ノ改正等ノ必要ヲ認ムルニ由ル

郡 第二號議案部 大正六年度東京府郡部歲入歲出豫算書……………修正

歲入

經常部

- 第一款 地租 割 金參拾貳萬七千八百八拾壹圓五拾錢
- 第一款 地租 割 金參拾貳萬七千八百八拾壹圓五拾錢
(宅地租壹圓二付拾九錢五厘其他ノ土地々租壹圓二付四拾八錢)
- 第二款 營業稅 稅 金六萬六千五百七拾貳圓七拾四錢
- 第一款 商業稅 稅 金五萬貳千六拾五圓四拾參錢
- 第二款 工業稅 稅 金壹萬四千五百七圓參拾壹錢
- 第三款 雜種稅 稅 金參拾貳萬四千四百六拾七圓五拾六錢
- 第四款 營業稅附加稅 稅 金九萬九千參百六拾圓
- 第一款 營業稅附加稅 稅 金九萬九千參百六拾圓
(本稅壹圓二付拾六錢)
- 第五款 賣藥營業稅附加稅 稅 金八拾七圓
- 第一款 賣藥營業稅附加稅 稅 金八拾七圓
(本稅壹圓二付參錢)
- 第六款 所得稅附加稅 稅 金七萬八千五百四拾四圓
- 第一款 所得稅附加稅 稅 金七萬八千五百四拾四圓
(本稅壹圓二付八錢)
- 第七款 家屋稅 稅 金四拾八萬貳千五百四拾貳圓貳拾錢

- 第一款 家屋稅 稅 金四拾八萬貳千五百四拾貳圓貳拾錢
(個數一個二付九錢八厘)
 - 第八款 戶數 割 金貳拾萬八千貳拾六圓
 - 第一款 戶數 割 金貳拾萬八千貳拾六圓
(戶二付貳圓七拾參錢)
 - 第九款 財產收入 金參千貳百四拾七圓九拾四錢
 - 第一款 不動產收入 金四拾五圓
 - 第二款 動產收入 金參拾八圓五拾錢
 - 第三款 特別經濟線入 金參千百六拾四圓四拾四錢
 - 第十款 國庫下渡金 金拾九萬參千參圓七拾貳錢
 - 第一款 警察費下渡金 金拾九萬參千參圓七拾貳錢
 - 第二款 雜收入 金九萬九千四百拾壹圓九拾七錢
 - 第三款 市郡連帶郡部收入額 金拾參萬千貳百九拾七圓貳拾四錢
 - 第一款 市郡連帶郡部收入額 金拾參萬千貳百九拾七圓貳拾四錢
- 經常部合計金貳百壹萬七百四拾壹圓八拾七錢
- 臨時部
第一款 繰越金 金千圓

- 第一項 前年度繰越金 金千圓
- 第二款 國庫補助金 金八千六百七拾八圓六拾六錢
- 第一項 市町村傳染病豫防補助費補助金 金千六百六拾六圓六拾六錢
- 第二項 農事試驗場補助金 金千四百拾貳圓
- 第三項 病蟲害驅除豫防費補助金 金百拾壹圓
- 第四項 耕地整理補助費補助金 金九百九圓
- 第五項 耕地改良費補助金 金參千四百八拾圓
- 第六項 公有林野造林獎勵費補助金 金千圓
- 第七項 米麥品種改良獎勵費補助金 金六百圓
- 第三款 財產賣拂代 金參百七拾五圓
- 第一項 不動產賣拂代 金參百七拾五圓
- 第四款 寄附金 金壹萬千四百拾五圓五拾錢
- 第一項 土木費寄附金 金壹萬千四百拾五圓五拾錢
- 臨時部合計金貳萬千九百九拾九圓六拾六錢
- 歲入總計金貳百參萬千九百四拾壹圓參錢

歲出

經常部

- 第一款 警察費 金四拾七萬參千六百六拾參圓貳拾五錢
- 第一項 俸給及諸給 金參拾八萬五千四百拾八圓四拾參錢
- 警部補三十五人月俸貳拾五圓此金壹萬五百圓、巡查部長八十二人月俸貳拾貳圓、此金貳萬千六百四拾八圓、巡查千四十八人月俸拾八圓此金貳拾貳萬六千參百六拾八圓、書記六十七人月俸拾八圓此金壹萬四千四百七拾貳圓、警部警部補巡查宿料參萬五千七百圓、其他手當旅費惠與諸傭給給助
- (附帶決議) 郡部ニ於ケル現在ノ警察制度ハ未タ完全ト認ムルヲ得ス殊ニ市部隣接町村ノ如キ近年急激ナル發展ニ伴ヒ警察力ノ不足不備ヲ感スルコト痛切ナリ當局ハ此ニ留意シ制度ノ改善ト警察力ノ充實トヲ圖ラレンコトヲ望ム(委員意見委員長大木金兵衛)
- 第二款 廳費 金八萬八千五百拾四圓八拾貳錢
- 第二款 警察廳舍修繕費 金四千四百九拾四圓六錢
- 第一項 修繕費 金四千四百九拾四圓六錢

第三款 土木費 金貳拾九萬四千四百八拾八圓參拾五錢

第一項 道路橋梁費 金貳拾五萬六千五百參拾九圓拾八錢

第二項 治水堤防費 金參萬七千九百四拾九圓拾七錢

(附帶決議)

一經常部並臨時部土木費ニ付テハ工事箇所ニ取捨緩急其ノ宜シキヲ失ヒ必要ナルモ豫算ニ計上セラレサルアリ豫算ニ計上シアルモ敢テ一兩年ヲ爭フノ必要ナキモノアリ併シ本年度ハ理事者計畫ノ齟齬ヲ來サンコトヲ察シ修正ヲ加ヘサルモ來年度ノ提案ニ際シテハ多大ノ注意ヲ拂ヒ右様ノ不都合ナキ様要望ス
二經常部第三款第二項治水堤防費第四目河川浚深費ニ關シテハ目黒川ノ浚深ハ其ノ必要ナルハ勿論ナリト雖モ原案ノ計畫ハ頗ル姑息ナリト認ムルヲ以テ更ニ進ンテ上流ニ溯リ同川カ厚木街道ヲ交叉スル地點迄幅員ヲ擴大シ河底ヲ堀下ケ屈曲ヲ匡シ以テ舟楫ノ便ヲ開クハ最モ必要ノ事ト認ムルヲ以テ理事者ニ於テ須ク調査ヲ遂ケ必要ナル經費ヲ明年度豫算ニ計上セラレンコトヲ希望ス

(調査委員意見)
委員長伊藤祐治)

第四款 郡役所費 金六萬參千六百六拾四圓貳拾壹錢

第一項 俸給及諸給 金五萬四千百參圓六拾壹錢

書記百五人月俸貳拾五圓此金參萬千五百圓視學八人月俸五拾圓此金四千八百圓雇員二十三人月俸拾參圓此金參千五百八拾八圓其他旅費惠與諸備給給與

第二項 廳費 金九千五百六拾圓六拾錢

第五款 郡廳舍修繕費 金五百五拾八圓五拾錢

第一項 修繕費 金五百五拾八圓五拾錢

第六款 救育費 金六千九百五拾參圓五拾七錢

第一項 救助費 金六千九百五拾參圓五拾七錢

窮民救助費棄兒費

第七款 諸達書及揭示諸費 金貳拾四圓

第一項 令達諸費 金貳拾四圓

第八款 勸業費 金四萬貳千八百貳圓參拾八錢

第一項 農事試驗場費 金參萬八百九拾貳圓四拾貳錢

第二項 勸業諸費 金貳千五百參拾圓六拾錢

- 第三項 耕地改良費 金七千八百參拾圓
- 第四項 公有林野造林獎勵費 金九百貳拾九圓參拾六錢
- 第九款 府費取扱費 金五萬五百參拾壹圓
- 第一項 徵收費 金五萬四百五拾壹圓
- 第二項 滯納處分費 金八拾圓
- 第十款 財產費 金五圓
- 第一款 管理費 金五圓
- 第二款 府社費 金百貳拾四圓
- 第一項 府社費 金百貳拾四圓
- 第三款 豫備費 金五千圓
- 第一項 豫備費 金五千圓
- 第三款 市郡分賦郡部負擔額 金七拾參萬六千五百貳拾七圓四拾五錢
(修正)金七拾參萬六千貳百七拾圓五錢
- 第一項 市郡分賦郡部負擔額 金七拾參萬六千五百貳拾七圓四拾五錢
(修正)金七拾參萬六千貳百七拾圓五錢

(修正理由) 聯帶豫算ノ修正ニ伴フニ由ル

經常部合計金百六拾七萬八千貳百拾五圓七拾七錢

(修正)金百六拾七萬七千九百五拾八圓參拾七錢

臨時部

- 第一款 警察廳舍建築費 金貳萬四千八百貳拾參圓
- 第一項 建築費 金貳萬四千八百貳拾參圓
- 警察署分署建築及電話架設費等
- 第二款 土木費 金貳萬六千五百九拾七圓九拾五錢
- 第一款 道路橋梁費 金貳萬六千五百九拾七圓九拾五錢
- 第三款 都市町村土木補助費 金參萬參千六百四圓貳拾五錢
- 第一項 道路橋梁費補助 金貳萬參千八百九拾六錢
- 第二項 治水堤防費補助 金八百貳拾八圓七拾貳錢
- 第三項 塚樋費補助 金九千六百八拾六圓參拾七錢
- 第四款 衛生及病院補助費 金六千參百參拾圓
- 第一項 病院補助費 金六千參百參拾圓

荏原外三郡立傳染病院補助費

第五款 市町村傳染病豫防補助費 金七千圓

第一項 市町村傳染病豫防補助費 金七千圓

第六款 郡廳舍建築費 金壹萬七千四百八拾五圓

第一項 建築費 金壹萬七千四百八拾五圓

北豊島郡役所新築費其他

第七款 勸業費 金壹萬八千八百四拾圓

第一項 勸業補助費 金壹萬八千八百四拾圓

東京府農會補助六千圓實業練習生補助貳百圓耕地整理費補助壹萬圓造林補助費貳千六百四拾圓

第八款 府債費 金九萬參千九百六拾九圓五拾錢

第一項 元金償還 金七萬四千圓

第二項 利子 金壹萬九千九百六拾九圓五拾錢

第九款 運用金戻入 金七萬貳百八拾壹圓

第一項 運用金戻入 金六萬八千五百圓

第二項 運用金利子 金千七百八拾壹圓

第十款 土木費本年度支出額 金五萬四千五百八拾貳圓

(修正)金五萬五百八拾貳圓

第一項 道路橋梁費本年度支出額 金五萬四千五百八拾貳圓

(修正)金五萬五百八拾貳圓

(修正理由) 郡部第八號議案(天文臺道繼續費案)ノ否決ニ伴フニ由ル (調査委員意見) 委員長伊藤祐治

臨時部合計金參拾五萬參千五百拾貳圓七拾錢

(修正)金參拾四萬九千五百拾貳圓七拾錢

歲出總計金貳百參萬千七百貳拾八圓四拾七錢

(修正)金貳百貳萬七千四百七拾壹圓七錢

郡部 第三號議案 大正六年度東京府郡部請願巡查費徵收額……………可 決

一金貳拾八圓七拾錢 巡查一人一箇月分

郡部 第四號議案 大正六年度東京府郡部慈惠救濟資金歲入歲

第五章 府會の行動 大正五年の府會

出豫算書……………可決

第五號議案部 大正六年度東京府郡部衛生資金歳入歳出豫算書……………可決

第六號議案部 大正六年度東京府郡部積立金歳入歳出豫算書……………可決

第七號議案部 自明治四十年度至大正六年度東京府郡部土木費繼續年期及支出

方法更正ノ件……………可決

既定 自明治四十年度至大正六年度東京府郡部土木費繼續年期及支出方法

更正 自明治四十年度至大正八年度東京府郡部土木費繼續年期及支出方法

一金貳萬五千百拾五圓 道路橋梁費

内 譯

既定額金貳萬五千百拾五圓

金五百圓 大正六年度支出額

内

既定額金貳萬五千百拾五圓

金五百圓 道路改修費

既定額〇

金壹萬貳千圓 大正七年度支出額

内

既定額〇

金壹萬貳千圓 道路改修費

既定額〇

金壹萬貳千六百拾五圓 大正八年度支出額

内

既定額〇

金壹萬貳千六百拾五圓 道路改修費

南多摩郡圖師道ハ路線調査ノ關係上豫定ノ如ク工事施行ノ見込ナキヲ以テ年度割ヲ更正スルモノトス

(附帶決議) 本案圖師道ハ格別ノ必要ナキモノト認ムルモ年度割ニ於テ大正六年度ハ工程竝費額モ僅少ナルニ付六年度分ニ限り是認スルノ意味ニ於テ本案ヲ可

決スルモ同年度限り工事ヲ廢止スルヲ適當ナリト決議シタリ故ニ理事者モ其意ヲ體シ相當ノ措置ヲ採ラレンコトヲ要望スルモノトス(調査委員意見 委員長伊藤祐治)

郡部 第八號議案 自大正七年度 東京府郡部土木費繼續年期及支出
方法.....

否決

一金九千五拾八圓

道路橋梁費

内 譯

金四千圓

大正六年度支出額

内

金四千圓

道路改修費

金五千五拾八圓

大正七年度支出額

内

金五千五拾八圓

道路改修費

北多摩郡天文臺道ハ第十六號國道甲州街道ヨリ天文臺ニ通スル最モ必要ナル道路ナルヲ以テ改修ヲ要スル處多額ノ工費ヲ要スルカ故ニ繼續費トシテ之カ完成

ヲ期セントス

(議決)否決

(否決理由) 差懸リ必要ヲ認メサルニ由ル(調査委員意見 委員長伊藤祐治)

郡部 第九號議案 自大正六年度 東京府郡部土木費繼續年期及支出
方法.....

可決

一金貳萬七千四百八拾壹圓

道路橋梁費

内 譯

金千五百圓

大正六年度支出額

内

金千五百圓

道路改修費

金六千五百五拾圓

大正七年度支出額

内

金六千五百五拾圓

道路改修費

金壹萬九千四百參拾壹圓

大正八年度支出額

内

金壹萬九千四百參拾壹圓

道路改修費

荏原郡厚木街道ハ東京市ヨリ神奈川縣下厚木町ニ通スル假定縣道ニシテ交通最モ頻繁ヲ極メ該地方唯一ノ幹道ナルモ急勾配及屈曲甚シク交通上不便少カラサルヲ以テ之カ改修ヲ要スル處多額ノ工費ヲ要スルニ依リ繼續費トシテ其完成ヲ期セントス

郡部
第十號議案

不動産賣却ノ件……………可決

荏原郡品川町大字北品川宿二番地所在

品川警察署八ツ山巡查派出所建物

一木造平家建瓦葺

建坪一坪七合五勺 一棟

此見積價格金參圓五拾錢

南葛飾郡龜戸町大字龜戸十五番地所在

小松川警察署天神橋巡查派出所建物

一木造平家建瓦葺

建坪二坪二合五勺 二棟

此見積價格金四圓五拾錢

右賣却スルモノトス

(原案説明) 右ハ改築ニ伴ヒ不用ニ屬スルニ由ル

郡部
第十一號議案

不動産賣却ノ件……………可決

北豊島郡役所建物

一事務室 木造平家建瓦葺

建坪五十九坪五合 一棟

此見積價格金百四拾八圓七拾五錢

一議事室 木造二階建瓦葺

建坪二十八坪 一棟

此見積價格金百拾貳圓

一玄關人民控室小使室及湯呑所木造平家建瓦葺

建坪十八坪 三棟

此見積價格金參拾八圓

一物置 木造平家建生子板葺

建坪二坪 一棟

此見積價格金壹圓

一便所 木造平家建瓦葺
此見積價格金拾圓七拾五錢

建坪七坪七合五勺 三箇所
一廊下 建坪六坪五合 二箇所

此見積價格金六圓五拾錢
以上合計建坪百二十一坪七合五勺 見積價格金參百拾七圓
右賣却スルモノトス

(原案説明) 右ハ北豊島郡役所ノ改築ニ伴ヒ不用ニ屬スルニ由ル

郡部 第十二號議案

東京府郡部府稅賦課規則中改正ノ件……………可 決

東京府郡部府稅賦課規則中左ノ通改正シ大正六年四月一日ヨリ施行スルモノトス
第九條第一項中「商業第二類」ノ下ニ「及第六類」ヲ「一箇年ノ收入高」ノ下ニ「五十圓以上」ヲ加フ
第九條第二項中「商業第二類」ノ下ニ「及第六類」ヲ加フ
第十五條第一項第一號ヲ左ノ如ク改ム

一 收入高ヲ課稅標準トスルモノ 商業第二類及第六類ニ屬スル營業ヲ除ク 及賣藥行商專業若ハ街路又ハ之ニ準スヘキ場所ニ於テ行爲ヲ爲スモノニシテ一箇年收入高五十圓未滿ノ者

第十五條第一項第七號中「假設店」ノ下ニ「興行及遊覽所」ヲ加フ

第十五條第一項第二十號ヲ削リ左ノ一號ヲ加フ

一 公用又ハ公共ノ用ニ供スル目的ヲ以テ郡市町村其他ノ公共團體ニ於テ不動產ヲ取得シタル行爲

第十九條第一項第二號中「土藏造」ノ下ニ「鐵造」ヲ加ヘ「鐵筋コンクリート造」ノ下ニ「鐵網コンクリート造」ヲ加フ

(原案説明) 營業稅雜種稅中收入高ヲ標準トセル商業第二類及第六類以外ノ營業者ニシテ一箇年收入高五十圓未滿ナルトキハ其營業ニ對シ府稅ヲ賦課セサルコトト爲スヲ相當ト認メ臨時多數ノ人ノ集合ヲ目的トスル場所ニ於ケル興行遊覽所並公共團體ノ不動產取得ノ行爲等ニ對シテハ府稅ヲ賦課セサルヲ適當ト認メ且實際ニ徵シ家屋稅賦課ニ關スル規定ノ一部其他ノ改正ヲ至當ト認メ本案改正ヲ爲サントス

郡部 第十三號議案

大正五年度東京府郡部歲入歲出追加豫算書……………可 決

歲入

經常部

第三款 雜種稅

金壹萬九千五百貳拾八圓

第三項 自轉車稅

金壹萬九千五百貳拾八圓

自然增收見込

第四款 營業稅附加稅

金壹萬參千六百拾貳圓

第一項 營業稅附加稅

金壹萬參千六百拾貳圓

自然增收見込

第六款 所得稅附加稅

金壹萬貳百參拾八圓五拾六錢

第一項 所得稅附加稅

金壹萬貳百參拾八圓五拾六錢

自然增收見込

第三款 市郡連帶郡部收入額

金貳萬六千五百拾壹圓八拾壹錢

第一項 市郡連帶郡部收入額

金貳萬六千五百拾壹圓八拾壹錢

經常部合計金六萬九千八百九拾圓參拾七錢

臨時部

第一款 繰越金

金六萬六百五拾九圓貳拾九錢六厘

第一項 前年度繰越金

金六萬六百五拾九圓貳拾九錢六厘

臨時部合計金六萬六千五百拾九圓貳拾九錢六厘

歲入總計金拾參萬五百四拾九圓六拾六錢六厘

歲出

經常部

第九款 府費取扱費

金四千貳百圓

第一項 徵收費

金四千貳百圓

第三款 市郡分賦郡部負擔額

金八萬九千參百七拾四圓參錢

第一項 市郡分賦郡部負擔額

金八萬九千參百七拾四圓參錢

經常部合計金九萬參千五百七拾四圓參錢

臨時部

第二款 土木費

金參萬六千九百七拾五圓六拾參錢

第一項 道路橋梁費

金貳萬百六拾參圓參拾六錢

出水被害復舊工事費

第二項 治水堤防費 金壹萬六千八百拾貳圓貳拾七錢

同上

臨時部合計金參萬六千九百七拾五圓六拾參錢

歲出總計金拾參萬五百四拾九圓六拾六錢

郡部 第十四號議案部 大正六年度東京府郡部歲入歲出追加豫算書……………可決

歲入

經常部

第三款 市郡連帶郡部收入額 金七千四百五拾四圓四拾四錢

第一項 市郡連帶郡部收入額 金七千四百五拾四圓四拾四錢

經常部合計金七千四百五拾四圓四拾四錢

歲入總計金七千四百五拾四圓四拾四錢

歲出

經常部

第三款 市郡分賦郡部負擔額 金七千四百五拾四圓四拾四錢

第一項 市郡分賦郡部負擔額 金七千四百五拾四圓四拾四錢

經常部合計金七千四百五拾四圓四拾四錢

歲出總計金七千四百五拾四圓四拾四錢

大正四年度東京府郡部歲入歲出決算書……………承認

郡部參事會委任事件中改正ニ關スル決議案……………可決

郡部參事會委任事件中左ノ通改正スルモノトス

第九號ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ

十工事ニ要スル潰地ヲ上地スルコト

土官有地特別處分規則第三條竝官有財産管理規則第十三條ニ依ル土地ノ讓受
及其ノ處分ニ關スルコト(議員井田忠信外七名發議)

府會議員協議會

大正五年十二月二十七日府會議員協議會を開き、齋藤孝治を座長として、前例に依り各種
常置委員を左の要項に依り改選することに決し、次の通夫々選定した。

一府會正副議長市部會議長郡部會議長ハ當然委員ニ加ハルモノトス
一參事會員ハ任意各委員會ニ參加シ得ルモ議決ノ數ニ加ハラサルモノトス
一委員ノ任期ハ一箇年トス

○警務常置委員

野村	野村	野村	野村	野村	野村	野村	野村	野村	野村
鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿
太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎
委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長
田權次郎	田權次郎	田權次郎	田權次郎	田權次郎	田權次郎	田權次郎	田權次郎	田權次郎	田權次郎
常田	常田	常田	常田	常田	常田	常田	常田	常田	常田
大田	大田	大田	大田	大田	大田	大田	大田	大田	大田
忠藏	忠藏	忠藏	忠藏	忠藏	忠藏	忠藏	忠藏	忠藏	忠藏
井田	井田	井田	井田	井田	井田	井田	井田	井田	井田
忠信	忠信	忠信	忠信	忠信	忠信	忠信	忠信	忠信	忠信
平塚	平塚	平塚	平塚	平塚	平塚	平塚	平塚	平塚	平塚
塚有	塚有	塚有	塚有	塚有	塚有	塚有	塚有	塚有	塚有
丸山	丸山	丸山	丸山	丸山	丸山	丸山	丸山	丸山	丸山
名政	名政	名政	名政	名政	名政	名政	名政	名政	名政
大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井
玄洞	玄洞	玄洞	玄洞	玄洞	玄洞	玄洞	玄洞	玄洞	玄洞
萩原	萩原	萩原	萩原	萩原	萩原	萩原	萩原	萩原	萩原
利右衛門	利右衛門	利右衛門	利右衛門	利右衛門	利右衛門	利右衛門	利右衛門	利右衛門	利右衛門
久保	久保	久保	久保	久保	久保	久保	久保	久保	久保
三友	三友	三友	三友	三友	三友	三友	三友	三友	三友
花井	花井	花井	花井	花井	花井	花井	花井	花井	花井
源兵衛	源兵衛	源兵衛	源兵衛	源兵衛	源兵衛	源兵衛	源兵衛	源兵衛	源兵衛
栗山	栗山	栗山	栗山	栗山	栗山	栗山	栗山	栗山	栗山
友次郎	友次郎	友次郎	友次郎	友次郎	友次郎	友次郎	友次郎	友次郎	友次郎
本宮	本宮	本宮	本宮	本宮	本宮	本宮	本宮	本宮	本宮
辰次郎	辰次郎	辰次郎	辰次郎	辰次郎	辰次郎	辰次郎	辰次郎	辰次郎	辰次郎
鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木
木宗兵衛	木宗兵衛	木宗兵衛	木宗兵衛	木宗兵衛	木宗兵衛	木宗兵衛	木宗兵衛	木宗兵衛	木宗兵衛

(註) 大井玄洞は中途辭任し杉山金次郎が補闕として選任された。

○土木常置委員

高橋	高橋	高橋	高橋	高橋	高橋	高橋	高橋	高橋	高橋
甚右衛門	甚右衛門	甚右衛門	甚右衛門	甚右衛門	甚右衛門	甚右衛門	甚右衛門	甚右衛門	甚右衛門
委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長
田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中
友右衛門	友右衛門	友右衛門	友右衛門	友右衛門	友右衛門	友右衛門	友右衛門	友右衛門	友右衛門
細谷	細谷	細谷	細谷	細谷	細谷	細谷	細谷	細谷	細谷
鎌太郎	鎌太郎	鎌太郎	鎌太郎	鎌太郎	鎌太郎	鎌太郎	鎌太郎	鎌太郎	鎌太郎
村林	村林	村林	村林	村林	村林	村林	村林	村林	村林
彦之	彦之	彦之	彦之	彦之	彦之	彦之	彦之	彦之	彦之
江林	江林	江林	江林	江林	江林	江林	江林	江林	江林
七五郎	七五郎	七五郎	七五郎	七五郎	七五郎	七五郎	七五郎	七五郎	七五郎
杉山	杉山	杉山	杉山	杉山	杉山	杉山	杉山	杉山	杉山
金次郎	金次郎	金次郎	金次郎	金次郎	金次郎	金次郎	金次郎	金次郎	金次郎
五木	五木	五木	五木	五木	五木	五木	五木	五木	五木
田治郎	田治郎	田治郎	田治郎	田治郎	田治郎	田治郎	田治郎	田治郎	田治郎
横山	横山	横山	横山	横山	横山	横山	横山	横山	横山
喜三郎	喜三郎	喜三郎	喜三郎	喜三郎	喜三郎	喜三郎	喜三郎	喜三郎	喜三郎
朝倉	朝倉	朝倉	朝倉	朝倉	朝倉	朝倉	朝倉	朝倉	朝倉
虎治郎	虎治郎	虎治郎	虎治郎	虎治郎	虎治郎	虎治郎	虎治郎	虎治郎	虎治郎

○衛生常置委員

松内	松内	松内	松内	松内	松内	松内	松内	松内	松内
良治	良治	良治	良治	良治	良治	良治	良治	良治	良治
委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長
牧野	牧野	牧野	牧野	牧野	牧野	牧野	牧野	牧野	牧野
見文平	見文平	見文平	見文平	見文平	見文平	見文平	見文平	見文平	見文平
松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田	松田
辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎
沼田	沼田	沼田	沼田	沼田	沼田	沼田	沼田	沼田	沼田
大木	大木	大木	大木	大木	大木	大木	大木	大木	大木
金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛
沼田	沼田	沼田	沼田	沼田	沼田	沼田	沼田	沼田	沼田
辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎
大木	大木	大木	大木	大木	大木	大木	大木	大木	大木
金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛
沼田	沼田	沼田	沼田	沼田	沼田	沼田	沼田	沼田	沼田
辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎	辰五郎
大木	大木	大木	大木	大木	大木	大木	大木	大木	大木
金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛	金兵衛

○教育常置委員

三田	三田	三田	三田	三田	三田	三田	三田	三田	三田
慶太郎	慶太郎	慶太郎	慶太郎	慶太郎	慶太郎	慶太郎	慶太郎	慶太郎	慶太郎
委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長
徳岡	徳岡	徳岡	徳岡	徳岡	徳岡	徳岡	徳岡	徳岡	徳岡
梅吉	梅吉	梅吉	梅吉	梅吉	梅吉	梅吉	梅吉	梅吉	梅吉
片山	片山	片山	片山	片山	片山	片山	片山	片山	片山
久藏	久藏	久藏	久藏	久藏	久藏	久藏	久藏	久藏	久藏
田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中
武助	武助	武助	武助	武助	武助	武助	武助	武助	武助
大塚	大塚	大塚	大塚	大塚	大塚	大塚	大塚	大塚	大塚
七兵衛	七兵衛	七兵衛	七兵衛	七兵衛	七兵衛	七兵衛	七兵衛	七兵衛	七兵衛
木村	木村	木村	木村	木村	木村	木村	木村	木村	木村
信三	信三	信三	信三	信三	信三	信三	信三	信三	信三
委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長
谷星	谷星	谷星	谷星	谷星	谷星	谷星	谷星	谷星	谷星
岡野	岡野	岡野	岡野	岡野	岡野	岡野	岡野	岡野	岡野
佐栄吉	佐栄吉	佐栄吉	佐栄吉	佐栄吉	佐栄吉	佐栄吉	佐栄吉	佐栄吉	佐栄吉
大塚	大塚	大塚	大塚	大塚	大塚	大塚	大塚	大塚	大塚
七兵衛	七兵衛	七兵衛	七兵衛	七兵衛	七兵衛	七兵衛	七兵衛	七兵衛	七兵衛
木村	木村	木村	木村	木村	木村	木村	木村	木村	木村
信三	信三	信三	信三	信三	信三	信三	信三	信三	信三

○勸業常置委員

堀内	堀内	堀内	堀内	堀内	堀内	堀内	堀内	堀内	堀内
伊太郎	伊太郎	伊太郎	伊太郎	伊太郎	伊太郎	伊太郎	伊太郎	伊太郎	伊太郎
委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長
石垣	石垣	石垣	石垣	石垣	石垣	石垣	石垣	石垣	石垣
甲子造	甲子造	甲子造	甲子造	甲子造	甲子造	甲子造	甲子造	甲子造	甲子造
堀江	堀江	堀江	堀江	堀江	堀江	堀江	堀江	堀江	堀江
正三郎	正三郎	正三郎	正三郎	正三郎	正三郎	正三郎	正三郎	正三郎	正三郎
飯塚	飯塚	飯塚	飯塚	飯塚	飯塚	飯塚	飯塚	飯塚	飯塚
仁兵衛	仁兵衛	仁兵衛	仁兵衛	仁兵衛	仁兵衛	仁兵衛	仁兵衛	仁兵衛	仁兵衛
瀬沼	瀬沼	瀬沼	瀬沼	瀬沼	瀬沼	瀬沼	瀬沼	瀬沼	瀬沼
伊兵衛	伊兵衛	伊兵衛	伊兵衛	伊兵衛	伊兵衛	伊兵衛	伊兵衛	伊兵衛	伊兵衛
岡田	岡田	岡田	岡田	岡田	岡田	岡田	岡田	岡田	岡田
榮一	榮一	榮一	榮一	榮一	榮一	榮一	榮一	榮一	榮一
中村	中村	中村	中村	中村	中村	中村	中村	中村	中村
半左衛門	半左衛門	半左衛門	半左衛門	半左衛門	半左衛門	半左衛門	半左衛門	半左衛門	半左衛門

○稅政常置委員

第五章 府會の行動 大正五年の府會

委員長 龜山五郎

酒井太郎

吉田利兵衛

久保三友

丸山名政

田中武助

吉田勘右衛門

松内良治

秋内良治

委員長 藤仁太郎

沼田辰五郎

伊藤祐治

常田大藏

木村信三

久保三友

田中信次郎

大竹三郎

木下勝太郎

堀内伊太郎

横山喜三郎

野村盛太郎

星野佐昭

杉山金次郎

片山久藏

田中友右衛門

栗山友次郎

吉田利兵衛

鶴岡英文

大塚七兵衛

○教育費建議實行委員(各郡一名ノ標準)

○荒川改修速成實行委員

第二十節 大正六年の府會

府會議員協議會

大正六年八月十四日府會議員協議會を開き、酒井府會副議長が座長となつて、次の事項を協議決定した。

一物價騰貴ニ鑑ミ府廳並警視廳關係ノ下級吏員ニ臨時手當ヲ支給スルモノトス但シ正式

委員長 村田權次郎

紅林七五郎

木村信三

久保三友

委員長 伊藤辰吉

沼田辰五郎

花井源兵衛

吉田利兵衛

星野佐昭

松内良治

村林彦之

ノ手續トシテハ參事會ノ議決ヲ經ルコト

(註) 理事者から參考の爲め、左の調査表を提出した。

臨時手當所要調

種別	府		縣		關		係		警		視		廳		關		係		計	
	吏員	備人	吏員	備人	給仕	金額	吏員	備人	給仕	金額	給仕	金額	給仕	金額	給仕	金額	給仕	金額		
府	二八人	三六人	五人	三九七	四九人	一〇八人	一人	三、六二四	七、五九四	一、二九九	七、五九四	一、二九九	七、五九四	一、二九九	七、五九四	一、二九九	七、五九四	一、二九九	七、五九四	一、二九九
市	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
郡	一元	三元	八	二、二六六	一、三四	四	七、五五六	九、七〇三	一、六三二	九、七〇三	一、六三二	九、七〇三	一、六三二	九、七〇三	一、六三二	九、七〇三	一、六三二	九、七〇三	一、六三二	九、七〇三
合計	三七五	六四	三	六、〇九三	六、四九	四、四	四、一七六	四、一七六	四、一七六	四、一七六	四、一七六	四、一七六	四、一七六	四、一七六	四、一七六	四、一七六	四、一七六	四、一七六	四、一七六	四、一七六

備考

吏員 一人 一箇月 二圓
 備人(給仕ナ) 同 同 二圓
 給仕 同 同 一圓

歳出ニ伴フ歳入
 歳入歳出差引負擔

一六、二三九、八〇〇
 三一、〇三一、二〇〇

内
 市部(府歳出ニ對スル分共)
 郡部(同)

二二、五〇九、二七〇
 八、五二一、九三〇

昭和六年十月四日府會議員協議會を開き九月三十日より十月一日に亘る風水害に對する應急並善後措置等を協議した。而して府廳より井上知事東園内務部長其の他關係各課長等警視廳より大島官房主事野口警務部長小幡保安部長栗本衛生部長緒方消防部長等が便宜列席した。酒井府會副議長は、過日の暴風水害に加へて海嘯の襲來があり、其の被害の激甚なることは未曾有で、殊に死傷者の多數であつたのは酸鼻至極の事である。畏き邊より特に日根野侍從を被害地に御差遣視察せしめられたことは、眞に恐懼に堪へぬところである。府廳警視廳當局は極力救護に盡瘁せられつゝあるも、府會として此の際黙止すべきでないかと考へ、急遽議員協議會を開くこととなつた。別に具體的成案はないが、去る明治四十三年の出水時に於ける前例等を參酌して充分協議を盡されたいと述べ、滿場の推薦で酒井副議長が其の儘座長となり協議の結果、次の各事項を決定した。

- 一日用品ノ供給ニ關シ不當ノ暴利ヲ貪ル奸商少カラス當局ハ刑罰ノ制裁ヲ付シタル警視廳令ヲ發シ速ニ取締ラレンコトヲ望ム
- 一當局吏員中救護事務ニ關シ献身的ニ努力シタル者少カラサルカ如シ彼等ニ對シテハ破格ノ手當ヲ給シ獎勵セラレンコトヲ望ム以上伊藤仁太郎發議
- 一今回ノ風水害ノ爲破損シタル堤防汐入等ニシテ從來町村費支辨ノ分少カラス此際府費支辨

ノ分ヲ應急修理ニ際シ連續的關係アルモノハ假令町村費支辨ノ個所ト雖トモ府費ヲ以テ同時ニ修繕セラレントヲ望ム(谷岡慶治發議)

一風水害ニ關スル委員十五名ヲ設ケ參事會員ト協力シテ應急及善後ノ措置ニ從事セシムルコト(丸山名政發議)

而して委員は次の通選定された。

細谷 鎌太郎	萩原 利右衛門
村林 彦之	平塚 有
牧野 賤男	花井 源兵衛
横山 喜三郎	伊藤 仁太郎
常田 大藏	大塚 榮吉
中野 勇治郎	木下 勝太郎
大井 玄洞	五木 田治郎吉
瀬沼 伊兵衛	

但シ酒井副議長ハ當然委員ニ加ハルモノトス

(參考)

風水害及海嘯被害及救護概要 (十月四日現在)

被害ノ概況

死者 四百七十二人

行衛不明者

四十七人

家屋全潰 二千九十二棟
床上浸水 九萬八千八十二戸

家屋半潰 四千六百九十七棟
床下浸水 二萬七千二十一戸

救護ノ概要

各被害地ノ官公衙ニ訓示シ互ニ應援セシメ又在郷軍人會青年團等ニ訓令シテ義勇ノ精神ヲ以テ被害地救濟竝取片付等ニ從事セシメタリ

白米及木材ノ騰貴ハ最モ憂慮スヘキコトナルヲ以テ白米同業組合及木材同業組合ニ諭告シ警視廳ト共力シテ暴利取締ニ盡力セリ

白米ノ供給ハ急務中ノ急務ナルヲ以テ救助米三十俵ヲ被害地ニ交付シ別ニ陸軍糧秣廠ニ交渉シ其ノ盡力ニ依リ不取敢百俵ヲ被害激甚ナル南葛方面ニ交付セリ

尙白米ノ低價供給方法竝特別移入方法ニ付市當局及鐵道院ト協議中ナリ

警視廳衛生部日本赤十字社東京支部及濟生會東京支部ハ協力シテ約三十ノ救護班ヲ出シ救護ニ盡瘁シツツアリ

農商務省ニ申請シ林區署ヨリ小屋掛急修繕復舊工事ノ材料ハ一定ノ條件ノ下ニ隅田川渡ニテ平時同様ノ價格ヲ以テ拂下ノ承諾ヲ得タリ

以上ノ趣旨ニ依リ十月三日東京府訓令第二十七號ヲ以テ一般ニ對シ告諭ヲ發布セリ

小學生徒ノ慰問及救助ノ爲府立青山豊島兩師範學校ヨリ三十人ヲ一組トスル應援隊六組ヲ南葛方面ニ出動セシム

救助米其ノ他寄贈品ノ無賃輸送方鐵道院ノ承諾ヲ得タリ

西多摩郡ヨリ白米百二十五俵豊多摩郡ヨリ同二百俵ヲ災害地ニ輸送シ尙澤庵五十樽薩摩芋百七十一俵ヲ砂村葛西村其ノ他ニ送付セリ

屍體取片付ニ棺桶不足ニ付四百個ヲ調へ送致セリ東京市ヨリ臨時人夫六百六十六人消防隊三百人撒水夫二百人計一千百餘人及馬力百四十臺ヲ出シ被害地道路其ノ他ノ掃除等ニ從事セシメタリ

被害少ナキ地方ノ在郷軍人分會ハ應援ニ出動スルコトナレリ

現金ハ府廳ニ於テ寄贈品ハ區町村役場ニ於テ受領ノ上府ニ於テ夫々分配スル手筈トセリ

臨時府會

本會ハ、府會議長選舉竝に追加豫算審議等に關シ招集せられたもので、大正六年十月十一日午後四時十五分に開會シ、會議四日間に涉リ、十月十六日午後六時三分議事終了散會した。

開會の當初、知事井上友一は、次の開會の辭を述べた。

「本日ヲ以テ府會市部會竝ニ郡部會ヲ招集致シマシテ御評議ヲ願フ次第デアリマス。今回ノ臨時會ハ、御承知ノ通役員選舉ト此砌最モ必要ナル臨時費ノ御審議ヲ請フ爲デアリマス。(中略)今回ノ暴風雨被害ノ尠カラザル趣ヲ 天皇 皇后兩陛下ニ於カセラレテハ御聞及ビアラセラレ、先般宮内大臣ヨリ特別ナル恩賜金ノ 御沙汰ガアリマシタ。(中略)誠ニ恐懼感

激ノ至リニ堪ヘマセヌ。殊ニ又之ニ先立ツ數日前、態々侍從ヲ御差遣遊バサレマシテ、差遣ノ命ヲ受ケタ侍從ハ、即日深夜ニ至ルマデ被害地ノ視察ヲサレマシテ、直ニ宮中ニ歸ラレ復奏サレタヤウナ次第デアリマス。(中略)直チニ參内致シマシテ侍從長又皇后宮大夫ヲ通シマシテ、深ク御禮ノ意ヲ言上致シマシタ。(中略)既ニ御承知ノ通死人ハ五百人及潰レ家ハ八千有餘戸、床上浸水十萬戸ヲ越ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス。(中略)救濟方法ニ付キマシテハ、先ヅ一段ヲ終リマシタヤウナ次第デアリマス。尙將來各位ノ御援助ヲ得テ、益々進メタイト思ヒマス。今日ノ所デハ、食物ノ低價即チ廉價ニ供給ヲ始メテ居リマスシ、又清潔衛生ノ仕事ニモ及ンデ居リマス。又臨時ノ宿舍即チ住居モ造リツツアルヤウナ狀況デアリマス。尙進ンデ働キ得ル者ニハ、成ルベク勤勞ノ途ヲ獎勵致シマシテ、直接救助ヲ廢メタ向モアルヤウナ譯デ、先ヅ各位ト共ニ一安心ト云フ次第ニ進ミマシタ。併ナガラ、此ノ先キ善後ノ方法ニ就キマシテハ、深ク考慮シナケレバナラヌ次第デアリマス。幸ニシテ澁澤男外多數富豪ノ人ノ計畫ニ成ツテ居リマス所ノ、東京風水害救濟會ニ於キマシテハ、既ニ數十萬圓ノ金モ集ツテ居リマス。且ツ其ノ半ヲ割イテ既ニ此方ヘモ救濟ノ手段ヲ講ズルヤウニト云フ依頼ヲ受ケテ、交付サレタヤウナ次第デアリマス。(中略)應急工事ハ、既ニ急施豫算ヲ以テ參事會ノ決議ヲ經テ、着々進行イタシテ居リマス。此ノ間ニ於テ陸軍官憲ノ援助ヲ得タル段ハ、深ク諸君ト共ニ謝スルノデアリマス。數日ナラズシテ應急工事ハ終ル考ヲ以テ進ンデ居リマス。併ナガラ復舊工事ハ尙調査中ニ屬シテ居リマスノデ、頓テ豫算ヲ提出スル時期ハ遅クナイト考ヘマス。又差懸リ此ノ罹災救助ニ屬スル方法デアリマス。之レモ

急施ヲ要スル次第デ、既ニ決議ヲ經マシテ其ノ高ヲ増シマシテ、之ニ依テ小屋掛トカ或ハ種穀料トカ、住居ヲ建テマス材料トカ云フモノヲ今度決議シタ程度デ授ケタナラバ、多少救護ニナルコトハ疑ヒナイト信ジテ居ル次第デアリマス。(中略) 借役員選舉ノコトデアリマスガ、是ハ當然制規ノ手續ヲ御踏ニナツテ、夫々選舉ヲ終ラレンコトヲ切ニ望ミマス。又豫算ハ豫テ御手許ニ差上ゲテ置キマシタ通、八萬有餘圓ノ支出デアリマス。其ノ歳入ハ之ヲ税ニ據ラズ即チ増税ニ據ラズシテ、從來ノ税ノ自然増加スルノヲ以テ充テル考デアリマス。又其ノ内容ハ多ク下級程度ノ警察官竝ニ府吏員ノ増俸若クハ手當デアリマス。其ノ程度ハ、大體ニ於テ既ニ協議會等ニ於テ御相談イタシマシテ、參事會ニ於テ決議致シマシタ額ニ、月數ヲ増加シタノヲ乘ジタダケノ程度デアリマシテ、支給ノ内容ハ、是迄決議シタノト異ナラナイノデアリマス。唯趣ヲ異ニ致シテ居リマスノハ、是迄ハ惠與ノ額ニ於テ言ハバ假支出ヲシタ如キ形ニナツテ居リマス。併シ乍ラ此度ハ、一ハ制度ノ命ズル所ニ從テ下級警察官ニ増俸イタスコトハ、制度上已ムヲ得ヌノデアリマシテ、然カモ其ノ程度ハ、下級警察官ニ止ツテ居ル次第デアリマス。又府ノ方ノ吏員ハ惠與ニ依リマスノデ、此度ノ府會ニ願ヒマシテ詰リ臨時手當トシテ此ノ戰時ノ物價ニ應ズル考デアリマス。是亦參拾圓以下ノ者ニ止ツテ居ルヤウナ次第デアリマス。之ガ八萬圓デアリマシテ、其ノ外六千圓内外ノモノハ、此ノ戰時若ハ戰後ノ準備ニ對スル經濟上ノ事柄デアリマス。(中略) 又戰時戰後ニ對スル關係ヨリ、他ノ進ンダル事業ニ就キマシテ外ノ地方モ視察シ、東京府ノ仕事ヲ進メタイト云フ考ヨリ、僅ノ費用デアリマスガ産業視察費ヲ求メタイト云フ程度ノコトデアリマス。(以下略)

(大正六年府會速記録二)

酒井副議長は、齋藤議長が死亡に付議長の職務を行ふ旨を述べ、次の事項を報告した。

已庶發第七八三號

大正六年十月六日 東京府知事 法學博士 井 上 友 一

東京府會副議長 酒 井 泰 殿

府會議員左記之通異動候條及御通知候也

記

死 亡 齋 藤 孝 治
 補闕當選 木 内 傳 之 助

已官發第一五七號

大正六年第一回臨時府會市部會郡部會議事參與員別紙之通相命候此段及通知候也

大正六年十月八日 東京府知事 法學博士 井 上 友 一

東京府會副議長 酒 井 泰 殿

第五章 府會の行動 大正六年の府會

東京府内務部長	東園基光	東京府理事官	羽田格三郎
東京府理事官	丹羽七郎	東京府理事官	木村惇
東京府理事官	西村輝一	東京府屬	原萬藏
東京府屬	小林米作	東京府屬	長谷川浪江
東京府屬	鈴木榮一郎	東京府屬	原田勘太郎
東京府屬	大谷善次郎	東京府屬	白鹿金市

秘甲第二〇七號ノ二

大正六年十月九日

警視總監 岡田文次

東京府會副議長 酒井泰殿

本月十一日招集ノ臨時府會市部會郡部會議事參與員本日ヲ以テ左ノ通任命候條此段及通知候也

警視廳官房主事	大島直道	警視廳警務部長	野口淳吉
警視廳保安部長	小幡豊治	警視廳衛生部長	栗本庸勝
警視廳消防部長	緒方惟一郎	警視廳屬兼警部	岡田由之助
警視廳屬兼警部	淺田福一郎	警視廳警部	山川秀好

警視廳屬兼警部 平田宗紀

府縣制第四十九條ニ依リ大正六年臨時府會市部會郡部會ノ議事ニ參與ヲ命ス
大正六年十月六日 警視廳

酒井副議長は、補闕當選議員木内傳之助を議場に紹介し、次に、先般の風水害に對し金圓を御下賜あらせられたるに付、宮内省に出頭して御禮を言上したる旨を報告し、尙、會議の同意を得て、片山久藏吉田利兵衛を會議錄署名議員に選定した。

副議長は、府會議長の選舉投票を行つて、酒井泰が多數を以て當選し、次に酒井泰が議長に當選就任した爲め、闕員となつた府會副議長の選舉投票を行つて、松見文平が多數を以て當選した。

十月十六日議事が終了するや、井上知事は一場の挨拶を述べて會を閉ぢた。

議案 附決議案

府臨第一號議案 府會市部會郡部會議決事件ノ分別中改正ノ件……………可決

府臨第二號議案 大正六年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收

入割合……………可決

府臨第三號議案 大正六年度東京府歳入歳出追加豫算書……………可決

府下風水害ノ際援助ヲ與ヘラレタル官憲ニ對シ感謝狀贈呈ノ決議案……………可決

議決摘要

府臨第一號議案 府會市部會郡部會議決事件ノ分別中改正ノ件……………可決

府會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ府會ノ議決ヲ經ヘキ事件ト市部會郡部會ノ議決ヲ經ヘキ事件トノ分別中左ノ通改正スルモノトス
郡部會議決事件中
勸業補助費但書中製茶及機業ヲ製茶機業及農業倉庫ニ改ム

府臨第二號議案 大正六年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合中改正ノ件……………可決

明治三十二年勅令第二百八十五號第五條ニ依ル大正六年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合中左ノ通改正スルモノトス

市部郡部分擔ノ割合中勸業費ノ内實業獎勵費追加豫算ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

勸業費ノ内産業視察費

市郡 六分六厘

勸業費ノ内副業獎勵費

市郡 三分四厘

市部郡部收入ノ割合中國庫補助金ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

國庫補助金ノ内副業獎勵費補助金

市郡 五分

府臨第三號議案 大正六年度東京府歳入歳出追加豫算書……………可決

歳入

經常部

第二款 國庫下渡金 金貳千六拾圓

第一項 警察費下渡金 金貳千六拾圓

第四款 市郡分賦額 金壹萬六千六百貳圓六拾八錢

第一項 市郡分賦額 金壹萬六千六百貳圓六拾八錢

經常部合計金壹萬八千六百六拾貳圓六拾八錢

臨時部

- 第一款 國庫補助金 金四百七拾八圓參拾貳錢
- 第三項 傳染病豫防費補助金 金六圓六拾六錢
- 第九項 感化院費補助金 金貳拾壹圓六拾六錢
- 第七項 副業獎勵費補助金 金四百五拾圓
- 臨時部合計金四百七拾八圓參拾貳錢
- 歲入總計金壹萬九千百四拾壹圓

歲出

經常部

- 第一款 警察費 金五千百五拾圓
- 第一項 俸給及諸給 金五千百五拾圓
- 物價騰貴ノ爲警部補巡查增俸並月俸參拾圓以下ノ吏員ニ特別手當支給
- 第三款 土木費 金五百拾圓
- 第一項 道路橋梁費 金貳百拾圓
- 物價騰貴ノ爲諸傭人ニ特別手當支給
- 第二項 治水堤防費 金參百圓

同上

第四款 府會議諸費 金貳拾五圓

第一項 府會議費 金貳拾五圓

物價騰貴ノ爲諸傭人ニ特別手當支給

第五款 衛生及病院費 金參千百拾圓

第一項 衛生諸費 金六拾圓

物價騰貴ノ爲諸傭人ニ特別手當支給

第二項 巢鴨病院費 金貳千七拾圓

同上

第三項 娼妓病院費 金九百四拾圓

同上

第四項 屠畜檢查費 金四拾圓

同上

第六款 教育費 金貳千五百六拾圓

第一項 青山師範學校費 金貳百拾五圓

職員特別手當

- 第二項 豐島師範學校費 金貳百九拾五圓
- 同上
- 第三項 女子師範學校費 金貳百四拾五圓
- 同上
- 第四項 第一中學校費 金百四拾五圓
- 同上
- 第五項 第二中學校費 金百五圓
- 同上
- 第六項 第三中學校費 金百拾五圓
- 同上
- 第七項 第四中學校費 金百拾圓
- 同上
- 第八項 第一高等女學校費 金百五拾五圓
- 同上

- 第九項 第二高等女學校費 金參拾圓
- 同上
- 第十項 第三高等女學校費 金百五圓
- 同上
- 第十一項 第四高等女學校費 金百五圓
- 同上
- 第十二項 織染學校費 金百參拾五圓
- 同上
- 第十三項 工藝學校費 金百六拾五圓
- 同上
- 第十四項 職工學校費 金貳百五圓
- 同上
- 第十五項 園藝學校費 金貳百六拾五圓
- 同上
- 第十六項 農林學校費 金百六拾五圓

職員特別手當

第九款 勸業費 金六千參百九拾八圓

第二款 勸業諸費 金六千參百七拾八圓

新ニ産業視察費計上及副業獎勵指導吏員設置竝物價騰貴ニ基ク特別手當支給

第三項 森林改良費 金拾圓

物價騰貴ニ基ク特別手當支給

第四項 獸疫豫防費 金拾圓

同上

第貳款 府吏員費 金千貳百五拾圓

第一項 吏員費 金千貳百五拾圓

物價騰貴ニ基ク特別手當支給

第參款 財產費 金八圓

第一項 管理費 金八圓

物價騰貴ニ基ク特別手當支給

第肆款 感化院費 金百參拾圓

第一項 小笠原修齋學園費 金百參拾圓

物價騰貴ニ基ク特別手當支給

經常部合計金壹萬九千百四拾壹圓

歲出總計金壹萬九千百四拾壹圓

府下風水害ノ際援助ヲ與ヘラレタル官憲ニ對シ感謝狀贈呈

ノ決議案……………可決

(註) 本案は内務大臣、逓信大臣、農商務大臣、陸軍大臣、鐵道院總裁、警視總監、埼玉縣知事、東京府知事に對し府會議長より感謝の意を表したものである。

臨時市部會

本會は大正六年十月十一日午後四時四十七分に開議し、會議三日間に涉り、十月十三日午後七時五分議事終了散會した。村上議長は、會議の同意を得て、大竹仁三郎、田中友右衛門を會議録署名議員に選

定した。

議長は名譽職參事會員及同補充員の選舉投票を行つて、次の通夫々當選した。

名譽職參事會員

久保三友

牧野賤男

田中友右衛門

田中武助

龜山五郎

名譽職參事會員補充員

本宮辰次郎

堀江正三郎

沼田辰五郎

高橋甚右衛門

細谷鎌太郎

議案

市臨第一號議案部

大正六年度東京府市部歳入歳出追加豫算書……………可決

市臨第二號議案部

大正六年度市部請願巡查竝消防費徵收額改正ノ件……………可決

議決摘要

市臨第一號議案部

大正六年度東京府市部歳入歳出追加豫算書……………可決

歳入

經常部

第四款 營業稅附加稅 金四萬千七百九拾四圓八拾九錢

第一項 營業稅附加稅 金四萬千七百九拾四圓八拾九錢

實收超過見込

第十款 國庫下渡金 金貳萬貳百七拾壹圓

第一項 警察費下渡金 金貳萬貳百七拾壹圓

第十款 雜收 金貳千貳百拾圓

第三款 市郡連帶市部收入額 金千九百七拾參圓五拾貳錢

第一項 市郡連帶市部收入額 金千九百七拾參圓五拾貳錢

經常部合計金六萬六千貳百四拾九圓四拾壹錢
歲入總計金六萬六千貳百四拾九圓四拾壹錢

歲出

經常部

第一款 警察費 金五萬貳千八百八拾七圓五拾錢

第一項 俸給及諸給 金五萬貳千八百八拾七圓五拾錢

物價騰貴ノ爲警部補巡查増俸並月俸參拾圓以下ノ職員諸傭人ニ對シ特別手當支給

第七款 市郡分賦市部負擔額 金壹萬參千參百六拾壹圓九拾壹錢

第一項 市郡分賦市部負擔額 金壹萬參千參百六拾壹圓九拾壹錢

經常部合計金六萬六千貳百四拾九圓四拾壹錢

歲出總計金六萬六千貳百四拾九圓四拾壹錢

市第二號議案部

大正六年度市部請願巡查並消防費徵收額改正

ノ件……………可決

大正六年度市部請願巡查並消防費徵收額大正六年十一月分以降左ノ通改正スル
モノトス

一金參拾壹圓七拾錢

巡查一人一箇月分

一金貳拾四圓五拾錢

消防手一人一箇月分

臨時郡部會

本會は大正六年十月十一日午後四時五十一分に開議し、會議三日間に涉り、十月十六日午後二時四十五分議事終了散會した。

谷岡議長は、會議の同意を得て、伊藤祐治常田大藏を會議録署名議員に選定した。議長は、名譽職參事會員及同補充員選舉の投票を行ひ、次の通夫々當選した。

名譽職參事會員

- 大木 金 兵 衛
- 紅 林 七 五 郎
- 木 下 勝 太 郎
- 朝 倉 虎 治 郎

名譽職參事會員補充員
木村信三

常田大藏
吉田利兵衛
中村半左衛門
伊藤祐治
大塚七兵衛

議案

郡部 第一號議案部

大正六年度東京府郡部歲入歲出追加豫算書……………可決

郡部 第二號議案部

大正六年度東京府郡部請願巡查費徵收額改正ノ件……………可決

議決摘要

郡部 第一號議案部

大正六年度東京府郡部歲入歲出追加豫算書……………可決

歲入 經常部

第十款 國庫下渡金 金五千四拾八圓

第一項 警察費下渡金 金五千四拾八圓

第二款 雜收入 金五百圓

第三款 市郡連帶郡部收入額 金五百六拾四圓八拾錢

第一項 市郡連帶郡部收入額 金五百六拾四圓八拾錢

經常部合計金六千百拾貳圓八拾錢

臨時部

第一款 繰越金 金壹萬五千六百八拾六圓貳拾九錢

第一項 前年度繰越金 金壹萬五千六百八拾六圓貳拾九錢

第二款 國庫補助金 金六百圓

第八項 農業倉庫補助費補助金 金六百圓

臨時部合計金壹萬六千貳百八拾六圓貳拾九錢

歲入總計金貳萬貳千參百九拾九圓九錢

歲出

經常部

第一款 警察費 金壹萬參千百貳拾圓

第一項 俸給及諸給 金壹萬參千百貳拾圓

物價騰貴ノ爲警部補巡查ノ増俸並月俸參拾圓以下ノ職員諸傭人ニ對スル特別手當支給

第三款 土木費 金千九百五拾圓

第一項 道路橋梁費 金千九百五拾圓

月俸參拾圓以下ノ職員諸傭人ニ特別手當支給

第四款 郡役所費 金千六拾圓

第一項 俸給及諸給 金千六拾圓

月俸參拾圓以下ノ職員諸傭人ニ特別手當支給

第八款 勸業費 金參百五拾圓

第一項 農事試驗場費 金貳百六拾圓

月俸參拾圓以下ノ職員諸傭人ニ特別手當支給

第二項 勸業諸費 金拾圓

同上

第三項 耕地改良費 金八拾圓

同上

第三款 市郡分賦郡部負擔額 金五千七百七拾九圓九錢

第一項 市郡分賦郡部負擔額 金五千七百七拾九圓九錢

經常部合計金貳萬貳千貳百五拾九圓九錢

臨時部

第七款 勸業補助費 金千貳百圓

第一項 勸業補助費 金千貳百圓

農業倉庫補助

臨時部合計金千貳百圓

歲出總計金貳萬參千四百五拾九圓九錢

郡部 臨部 第二號議案 大正六年度東京府郡部請願巡查費徵收額改正

ノ件……………可決

大正六年度郡部請願巡查費徵收額大正六年十一月分以降左ノ通改正スルモノト

ス
一金參拾圓七錢

巡查一人一箇月分

通常府會

本會は大正六年十二月二日午後二時三十五分に開會し、會議七日間に涉り、十二月二十四日午後五時議事終了閉會した。

開會の當初に、知事井上友一は、次の開會の辭を述べた。

「本日ヲ以テ府會竝ニ市部會郡部會ヲ開會致シマス。(中略)來年度ノ豫算編成ニ付キマシテハ、素ヨリ緩急ト節約ノ途ハ十分ニ考ヘナケレバナラヌノデアリマスガ、又同時ニ世ノ中ハ長足ノ進歩ヲ致シテ居リマスシ、又大都府ニ缺クベカラザル必要ナル仕事モ段々増シテ參ツテ居リマス。是等ノ經營ニ向ツテハ一日着手ヲ怠レバ即チ百年ノ損ヲ招クヤウナ事柄モアリマスノデ、經費多端ノ折柄デアリマスガ、(中略)前後緩急ヲ見計ヒマシテ、茲ニ豫算ヲ制定イタシマシタ次第デアリマス。(中略)款ノ順序ニ依リマシテ、警察ノ方ヨリ陳述致シ度イト思ヒマス。警察費ノ増加ハ、普通警察ト消防ノ設備ト合セテ要求イタシマシタガ、其ノ額ハ尠クナイノデアリマス。警察ニ付キマシテハ、定員ノ増加ヲ要求イタシタ次第デアリマス。各位モ御承知ノ通、明治七八年ノ頃ニハ定員ガ六千人デアリマシタ。然ル所段々行

政整理等ノ結果、五千人ニ減ジマシテ久シク襲用イタシテ居リマシタ。(中略)府民ノ治安保護ノ上ヨリ、相當ニ警察力ノ薄弱ナルヲ補充シナケレバナラヌ場合ニ切迫イタシマシテ、更ニ市郡ヲ通ジテ六百二十有餘人ヲ増シマス次第デアリマス。其ノ外宿料竝ニ賄費ノ如キ、僅ノ増加デアリマスガ、人間ガ多數ノ爲、多額ノ費用ヲ要求致サザルヲ得ヌ次第デアリマス。即チ警察ノ定員増加ノ爲ニ拾貳萬七千圓、今申シタ宿料竝ニ賄費ノ爲ニ貳拾四萬圓ヲ要求イタシマシタ。消防ノコトデアリマスガ、(中略)來年度ト致シマシテハ自動裝置ノ唧筒五臺、之ニ伴ヒマス謂ハユル附屬物、即チ梯子等ノ類ノ設備ヲスル爲ニ、來年度ニ拾九萬何千圓ヲ要シマスノデ、之ヲ計上イタシタ次第デアリマス。而シテ消防ノ方ハ、一時ノ事業デアリマスカラ、公債ノ方法ニ依テ辨ズル考デアリマス。次ニ土木ノコトニ付テ申上ゲタインデアリマス。其ノ第一ハ治水ノコトデアリマス。就中荒川改修ノコトハ豫テヨリ御建議モアリ、其ノ速成ヲ政府ニ迫リマシタ結果、既ニ昨年ノ帝國議會ニ於テ豫算ガ成立イタシマシテ、六年度ヨリ速成ノ分擔金ヲ繰上ゲナケレバナラヌ次第ニナリマシタ。故ニ六年度トシテハ追加豫算、七年度ハ四拾五萬五千圓、是ダケノ金ガ分擔金ニ繰上ルト同時ニ、之ニ伴ヒマス所ノ附帶工事ニ金ヲ要スルノデアリマス。何レモ多額デアリマスケレドモ、謂ハユル繰替デアリマシテ、早晚政府ヨリ戻ルベキ部分ガ多イノデアリマスカラ、是ハ公債ニ依テ辨ズルコトニナツテ居リマス。次ニ多摩川ニ關スルコトデアリマス。當府會ニ於キマシテ、多摩川改修ノ速成ヲ建議ニナリマシテ、當局者モ亦内務省ニ迫リマシテ、幸ニシテ今回ノ議會ニ提出サレムトスル模様デアリマス。(中略)必ズ是ハ成リ立ツコト、信ジテ居リマ

スガ、下流ノ改修工事ニ伴フ必要ハ何カ、即チ上流ノ治水工事デ申ス迄モナク砂防工事デアリマス。(中略)幸ニシテ昨年度ノ府會ニ於テ調査費ヲ與ヘラレマシタノデ、川瀬諸戸兩林學博士ニ囑託イタシマシテ、詳細ナル調査ヲ遂ゲ、茲ニ豫算ヲ提出シタ次第デアリマス。(中略)單リ多摩川ノ本流ノミナラズ、淺川、秋川、各河川ノ上流ニ亘ツテ、水源地ノ崩壞シテ居ル個所ハ七百個所モ御座イマス。其ノ面積ハ二十三萬坪ノ多キニ達シテ居リマス。(中略)來年度ノ砂防工事トシテハ壹萬四千圓ヲ求メマシタ。(中略)總工費ハ六拾萬圓デ、之ヲ十二箇年ニ割リマシテ、繼續支出ヲ願フコトニナツテ居リマス。其ノ次ハ道路橋梁即チ交通事業ニ付テ申述マス。市郡ノ連絡其ノ他大切ナル道路橋梁ノ完成ハ、私共モ之ヲ切望イタシマスシ、又絶ヘズ此ノ府會ニ於テモ伺ツテ居ル所デアリマス。(中略)茲ニハ緊要ナル一橋梁、道路六線之ヲ選ビマシテ、其ノ繼續費ハ總計五十四萬圓、來年度ト致シマシテハ三萬圓ニ過ヌノデアリマス。此ノ繼續費ヲ要求イタシタ次第デアリマス。是等治水竝ニ道路ニ關スル費用ノ多クハ公債ニ據リ、其ノ他ノ分ハ普通ノ財源ニ據リマシタ。ソレカラ勸業ノコトデアリマス。(中略)今日ノ實況カラ見マシテ一番必要ハ何カ、海外貿易ニ關スルコトデアリマス。(中略)即チ當業者ヲ促シテ、販路ノ擴張竝ニ製品ノ改良ヲ充分ニ遂行サセタイ考デアリマス。之ニ伴ヒマス所ノ費用八千圓ヲ要求イタシマシタ。(中略)蠶絲業ノ獎勵ト致シマシテ、此等ノ技術家モ多少増サナケレバナラヌト存ジマシテ、多額デハアリマセヌガ其ノ費用ヲ要求致シマシタ。尙製品ノ検査、副業ノ獎勵、森林ノ改良、畜産ノ獎勵ノ如キ總テヲ合セマシテ、約參萬圓ノ要求ヲ致シマシタ。次ニ教育ノコトデアリマス。(中略)今日ノ狀況ハ公立中學ノ

不足ナルコトハ申上グル迄モナイコトデアリマス。就キマシテハ繼續費トシテ四年掛リマシテ一校設立イタスコトニ要求イタシテ置キマシタ。其ノ財源ハ是マデ中學ノ定員増加ニ伴フ擴張ヲヤツテ居リマス。其ノ擴張ハ本年ヲ以テ全部終了致シマス。又女子師範學校ノ改築繼續費之レ亦本年ヲ以テ終了致シマシタ。此ノ兩方ノ不用額ヲ合セテ六萬圓バカリニナリマス。之ニ中學ノ授業料増加及公立中學ノ入學試驗料ヲ加ヘマシテ、其ノ一半ヲ以テ中學一校ヲ設立シ、且經營費ヲ支辨シ、殘ル一半ヲ以テ、豫テ府會ノ建議モアリシ、商業學校設立ノ案ヲ提出致シマシタ。(中略)又工藝、職工兩學校ノ如キ一人ノ卒業者ニ對シ三十會社カラ要求ガアルト云フ様ナ盛況デ、兩校ヲ通ジテ定員ヲ百五十人ニ増加スルコトニナリマシタ。即チ約一校ヲ増スガ如キ實況デ、夫レニ要スル費用壹萬五千圓即チ教室ノ擴張ヲ御願ヒスル次第デアリマス。又男子師範學校豫科ノ食料給與ヲ廢シタ爲、志願者ガ半減シタ實況ニ鑑ミ、費用約壹萬圓ヲ計上シテ食料ノ復舊ヲ願ヒマシタ。夫レカラ一般府吏員ノ増俸ノコトデアリマス。來年度ニ於テ約一割ノ増俸ヲ計上致シマシタ。大體歳出ハ右様ナコトデアリマス。茲ニ以上必要ナル歳出ニ應ズベキ財源ノコトハ(中略)自然增收、公債、國庫補助増額、各種ノ授業料、使用料、手数料ノ増加ニ依テ、此度ノ歳出ニ充テ(中略)十中ノ九ハ是デ辨ジマシタガ、殘ル一部ハ現行稅率ノ増加ヲ要求シタ次第デアリマス。最後ニ六年度追加豫算ノコトヲ一言申述ベタイノデアリマス。總額ハ九拾六萬圓デ、此ノ中主ナルモノハ荒川改修工事速成ニ伴フ分擔金納付ノ爲四拾貳萬圓、先般ノ風水害ノ復舊費ガ約四拾八萬圓、其ノ他師範學校、中學校ノ理化學實驗用備品等デアリマス(以下略)(大正六年府會速記錄)

酒井議長は次の事項を報告した。

巳官發第一九〇號

大正六年通常府會市部會郡部會議事參與員別紙ノ通相命シ候條此段及通知候也

大正六年十一月二十九日 東京府知事 法學博士 井上友一
東京府會議長 酒井 泰殿

(別紙)

東京府内務部長	東園基光	東京府理事官	羽田格三郎
東京府理事官	丹羽七郎	東京府理事官	木村惇
東京府理事官	西村輝一	東京府技師	宮島三郎
東京府技師	高見澤清	東京府技師	齋藤良太郎
東京府屬	原萬藏	東京府屬	小林米作
東京府屬	長谷川浪江	東京府屬	丹野久太郎
東京府屬	鈴木榮一郎	東京府屬	原田勘太郎
東京府屬	大谷善次郎	東京府屬	白鹿金市

巳庶發第九三一號

大正六年十二月八日 東京府知事 法學博士 井上友一

東京府會議長 酒井 泰殿

府會議員左記ノ通異動候條及御通知候也

死亡	谷岡慶治
死亡	飯塚仁兵衛

秘甲第二三五號ノ二

警視廳官房主事	大島直道	警視廳警務部長	野口淳吉
警視廳保安部長	小幡豊治	警視廳衛生部長	栗本庸勝
警視廳消防部長	緒方惟一郎	警視廳技師	國澤健雄
警視廳消防司令	額賀仙太郎	警視廳屬兼警部	岡田由之助
警視廳警部	山川秀好	警視廳屬兼警部	山内秀一
警視廳屬兼警部	淺田福一郎	警視廳屬兼警部	平田宗紀
警視廳技手	松本録壽		

右者府縣制第四十九條ニ依リ大正六年通常府會市部會郡部會ノ議事ニ參與ヲ

命シ候條此段及通知候也

大正六年十一月二十八日

警視總監 岡 田 文 次

東京府會議長 酒 井 泰 殿

酒井議長は閉會中議長代理として處理した事項を次の通報告し、尙會議の同意を得て栗山友次郎中野勇治郎を會議錄署名議員に選定した。

一 三月二十日中華民國特派大使汪大燮氏ヲ大使旅館ニ訪問歡迎ノ辭ヲ述ヘタル

一 七月十三日井上知事ト同伴 李王殿下ノ御旅館ニ參上献上品ヲ捧呈シ拜謁

ヲ賜ハリタリ

一 十月十日宮内省ニ出頭シ府下風水害賑恤トシテ金五萬圓御下賜ニ付御禮ヲ言上シタリ

この通常會に於ては議案に關聯しての質問が續出したけれども、議事は概ね無事であつた。たゞ其の内の特筆事項を二三次に掲げる。

一 荒川改修速成實行委員の事績報告

委員長伊藤仁太郎外委員連署を以て荒川改修速成の實行に關し次の通報告書

の提出があつた。是に對し酒井議長からは其の盡力を感謝する旨の挨拶があつた。

報 告 書

本委員等就任以來屢々會合協議ヲ重ネ又一面ニ於テ大ニ改修速成ノ機運ヲ促スノ目的ヲ以テ東京市及埼玉縣當事者ト連絡ヲ通シ竟ニ東京埼玉治水會ヲ組織シ二月十五日上野精養軒ニ治水大會ヲ開キ朝野ノ名士八百名ヲ招待シテ大ニ速成ノ爲メニ氣勢ヲ揚ケ爾來首相竝内藏兩大臣ヲ訪問陳情シ或ハ東京埼玉兩府縣知事ニ面接スル等極力目的ノ達成ニ努力シタリ盡瘁ノ效果空シカラス當局ニ於テモ略ホ速成ノ方針ニ傾キ本年四月十日井上府知事トノ會見ニ於テ知事ヨリ政府カ改修速成ニ内定セルコト、關係府縣ハ分擔金ノ増額負擔竝分擔金ノ繰上納付ヲ承諾スヘキコト等ノ數件ヲ開示シテ協議セラル、所アリ我々委員ハ舊臘通常府會ニ於テ速成ニ伴フ負擔ヲ豫メ承認スルノ決議アリシヲ以テ知事ノ協議ニ對シテ同意ヲ表シ負擔増加ニ關シテハ此ノ場合承認スル外ナカルヘキ旨ヲ答ヘタリ斯クテ速成ハ略ホ其ノ目的ヲ達セルモ工事ノ内容聽取附帶工事ノ關係、東京市ヲシテ幾分ノ負擔ニ任セシムル事等尙解決ヲ要スル案

件尠カラサレハ引續キ數次當局ヲ訪問シ或ハ東京市長同市會議長ニ會見スル等極力問題ノ進捗ヲ圖リ如斯シテ我々委員ハ大體ノ目的ヲ達シタルヲ以テ六月十六日上野常盤華壇ニ東京府市並埼玉縣選出衆議院議員ヲ招待シテ從來ノ盡力ヲ感謝シ併テ將來ノ援助ニ付依囑スル所アリタリ

以上ハ經過ノ大要ニシテ本委員等就任以來僅々數ヶ月ノ短日子ニ於テ微力幸ニ效ヲ奏シ目的ヲ貫徹スルヲ得タルハ寧ロ意外トスルトコロニシテ兩府縣治水ノ爲洵ニ慶賀措ク能ハス茲ニ改修速成ニ伴フ負擔調別表ヲ添へ及報告候也

大正六年十二月六日

荒川改修速成實行委員長

伊藤 仁太郎

委員

花井 源兵衛
 徳岡 梅吉
 常田 大藏
 沼田 辰五郎

片山 久藏
 吉田 利兵衛
 中野 勇治郎
 大木 金兵衛
 木下 勝太郎
 本宮 辰次郎

東京府會議長 酒井 泰殿

(別表)

荒川改良工事速成ニ伴フ負擔調

年 度	治水費分 擔金増額	附帶 工事費	分擔 利子金	附帶工事 費負擔額	同上 利子	以上三 欄合計	上欄ノ内 市納付金	差引 負擔	備 考
大正六年度	四二,〇〇〇	四一,〇〇〇	〇	四一,〇〇〇	〇	四一,〇〇〇	〇	四一,〇〇〇	
同 七 年 度	二六,〇〇〇	二〇,一七六	二五,三六〇	三一,一七八	〇	五六,四三八	一三,四四九	四三,九八八	
同 八 年 度	八三,〇〇〇	三三,四一三	三九,四二〇	二四,一四三	一〇,二〇〇	七三,七六三	二五,六四九	四八,一一三	
同 九 年 度	〇	一三,四〇〇	四四,四〇〇	三三,〇〇〇	二二,二〇〇	一〇〇,六〇〇	三三,九四八	六六,六五二	本年度ニ於テ納付金差額壹萬七千圓剩餘アリ

年 度	治水費分擔金増額	附帶工事費	分擔金	附帶工事費負擔額	同上	以上三欄合計	市上欄ノ内	差引	備考
大正十年度	〇円	〇円	三九,九〇〇円	〇円	二七,六〇〇円	六七,五〇〇円	三四,五〇二円	三三,九九七円	
同 十一年度	〇	〇	二一,九〇〇	〇	二七,六〇〇	四九,五〇〇	二四,五八七	二四,九二二	
同 十二年度	〇	〇	四三,〇〇〇	〇	一三,八〇〇	一八,〇〇〇	八,四六〇	九,五三九	
計	七四〇,〇〇〇	五九〇,三三〇	一七五,〇八〇	一三〇,三三〇	一〇一,四〇〇	四六,八〇〇	一四〇,五九九	二六六,二〇〇	

備考 改良工事ハ大正十二年完成ノ豫定ヲ變更シテ九年度完成ニ繰上ケラ
レタルモノナリ

二 荒川(上流)並多摩川改修費分擔金年度割決定及之ニ伴フ決議
議長は多摩川並荒川(上流)改修費分擔金決定の通知書を次の通報した。
多摩川並荒川(上流)改修費分擔金年度割別表ノ通帝國議會へ豫算提出ノコトニ
決定ノ旨其ノ筋ヨリ通牒有之候條御承知相成度及御通知候也

大正六年十二月二十三日 東京府知事 法學博士 井 上 友 一
東京府會議長 酒 井 泰 殿
(別表)

荒川(上流)改修費

年 度	總 工 費	國庫負擔	埼玉縣負擔	東京府負擔
大正七年度	一,五〇〇,〇〇〇円	一,一五六,五〇〇円	三三四,〇〇〇	一九,五〇〇
同 八年度	一,二〇〇,〇〇〇	九七五,一六七	二〇五,四〇〇	一九,四三三
同 九年度	一,一四〇,〇〇〇	八三一,〇〇〇	二八九,五〇〇	一九,五〇〇
同 十年度	一,二〇〇,〇〇〇	七七八,〇〇〇	四六二,五〇〇	一九,五〇〇
同 十一年度	一,五〇〇,〇〇〇	九〇三,〇〇〇	五七七,五〇〇	一九,五〇〇
同 十二年度	一,六〇〇,〇〇〇	一,〇三九,〇〇〇	五四一,五〇〇	一九,五〇〇
同 十三年度	一,六〇〇,〇〇〇	一,二六六,〇〇〇	三三四,五〇〇	一九,五〇〇
同 十四年度	一,五〇〇,〇〇〇	一,一一一,〇〇〇	三六九,五〇〇	一九,五〇〇
同 十五年度	一,五〇〇,〇〇〇	一,二八〇,〇〇〇	二〇〇,五〇〇	一九,五〇〇
同 十六年度	一,二六〇,〇〇〇	一,一七〇,三三三	七二,一〇〇	一八,五六七
計	一四,〇〇〇,〇〇〇	一〇,四五〇,〇〇〇	三,三五六,〇〇〇	一九四,〇〇〇

多摩川改修費

年 度	總 工 費	國庫負擔	神奈川縣負擔	東京府負擔
大正七年度	四三五,〇〇〇 <small>円</small>	二二七,五〇〇 <small>円</small>	一三二,八〇〇 <small>円</small>	九五,七〇〇 <small>円</small>
同 八年度	四三五,〇〇〇	二二七,五〇〇	一三二,八〇〇	九五,七〇〇
同 九年度	六三五,〇〇〇	三二七,五〇〇	一七七,八〇〇	一三九,七〇〇
同 十年度	八三五,〇〇〇	四一七,五〇〇	二三三,八〇〇	一八三,七〇〇
同 十一年度	八三五,〇〇〇	四一七,五〇〇	二三三,八〇〇	一八三,七〇〇
同 十二年度	八三五,〇〇〇	四一七,五〇〇	二三三,八〇〇	一八三,七〇〇
同 十三年度	九三五,〇〇〇	四六七,五〇〇	二六二,八〇〇	二〇四,七〇〇
同 十四年度	九三五,〇〇〇	四六七,五〇〇	二六二,八〇〇	二〇四,七〇〇
計	五,八八〇,〇〇〇	二,九四〇,〇〇〇	一,六四八,四〇〇	一,二九一,六〇〇

この報告に對して伊藤仁太郎はこの計畫の實現に伴ひ種々爲すべき事項も多く従て豫め之に對する便宜の措置を決議して置きたいと發議し滿場の同意に依

り次の通決議した。

- 一 荒川上流ノ改修ニ伴フ負擔金竝ニ多摩川改修ノ工事ハ政府ノ計畫ニ伴フテ豫算ヲ編成シ速ニ其ノ實行ノ運ビアランコトヲ望ム
- 一 荒川改良工事速成ニ伴フ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ於テ將來變更ヲ要スル場合ハ之カ議決ヲ府參事會ニ委任スルモノトス
- 一 前項ノ變更ニ伴フ歳入出豫算ノ更正若ハ追加ノ決議ハ府參事會ニ委任スルモノトス

三 火災保險料率低減に關する決議

議員伊藤仁太郎が曩に警視廳が下層階級保護の意味を以て、食料品暴利取締に關して努力され意外の効果を收められたが、現今は又各火災保險會社が、保險料率の不當引上げを行つて居る。即ち明治火災は資本金壹百萬圓に對して純益金參拾壹萬圓、東京火災は同じく金四拾七萬圓、其の他何れも金貳拾萬圓以上の純益を收めて居る。斯の如く莫大の純益を擧げてゐるにも拘らず何等の理由なきに、保險料率を引上げるのは、中産階級に脅威を及ぼすものと考へらるゝから、警視廳當局は職權を以て之に干涉し、相當に緩和を圖られんことを本會の決議を以て希望

する旨を發議し、多數を以て可決した。

四市部郡部の分擔及收入割合改正の諮問

多年府會に於ける難問題たる市部郡部の分擔及收入の割合に對し、理事者に於て調査成案の上諮問し、之が解決に着手した譯であるが、會議に於ては、會期切迫の際委員を設けて調査する餘日もなく答申し難しと決議した。

十二月二十四日議事が全く終了したので、井上知事は一場の辭を述べて會を閉ぢた。

議案 附諮問案建議案決議案

府第一號議案 大正七年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收

入割合……………可決

府第二號議案 大正七年度東京府歳入歳出豫算書……………可決

府第三號議案 大正七年度東京府罹災救助基金歳入歳出豫算

書……………可決

府第四號議案 大正七年度東京府慈惠救濟資金歳入歳出豫算

書……………可決

府第五號議案 大正七年度東京府巢鴨病院基本金歳入歳出豫

算書……………可決

府第六號議案 大正七年度東京府教育資金歳入歳出豫算書……………可決

府第七號議案 大正七年度東京府小學校教員加俸資金歳入歳

出豫算書……………可決

府第八號議案 大正七年度東京府小學校教員恩給基金歳入歳

出豫算書……………可決

府第九號議案 大正七年度東京府小學校教員恩給金歳入歳出

豫算書……………可決

府第十號議案 大正七年度東京府府立學校基本金歳入歳出豫

算書……………可決

府第十一號議案 大正七年度東京府第一中學校戰役記念獎學金

歳入歳出豫算書……………可決

府第十二號議案 大正七年度東京府第一中學校武術獎勵資金歳

入歳出豫算書……………可決

- 府第十三號議案 大正七年度東京府第二中學校恩賜記念獎學資金歲入豫算書……………可決
- 府第十四號議案 大正七年度東京府第四中學校伏見宮博義王殿下獎學資金歲入歲出豫算書……………可決
- 府第十五號議案 大正七年度東京府織染學校校舍落成記念獎學資金歲入歲出豫算書……………可決
- 府第十六號議案 大正七年度東京府御大典記念育英資金歲入歲出豫算書……………可決
- 府第十七號議案 大正七年度東京府御大禮恩賜賑恤資金歲入歲出豫算書……………可決
- 府第十八號議案 大正七年度東京府功勞者表彰獎勵資金歲入歲出豫算書……………可決
- 府第十九號議案 大正七年度東京府軍人遺家族救護基金歲入歲出豫算書……………可決
- 府第二十號議案 自大正七年度東京府荒川改良工事附帶工事費繼續自大正九年度……………可決

- 續年期及支出方法……………可決
- 府第二十一號議案 自大正七年度東京府砂防工事費繼續年期及支出方法……………可決
- 府第二十二號議案 自大正七年度東京府教育費繼續年期及支出方法……………可決
- 府第二十三號議案 自大正七年度東京府教育費繼續年期及支出方法……………可決
- 府第二十四號議案 府會議員名譽職參事會員費用辨償額及其ノ支給方法中改正ノ件……………可決
- 府第二十五號議案 府會市部會郡部會議決事件ノ分別中改正ノ件……………可決
- 府第二十六號議案 大正六年度東京府歲入歲出追加豫算書……………可決
- 府第二十七號議案 起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法……………可決
- 府第二十八號議案 大正六年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合中改正ノ件……………可決
- 府第二十九號議案 大正六年度東京府小學校教員恩給金歲入歲出追加豫算書……………可決
- 府諮問第一號 府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合算定……………可決

標準改正ノ件……………答申議決
 大正五年度東京府歳入歳出決算書……………承認
 教育費國庫支辨ニ關スル建議案……………可決
 費用辨償額支給方法委任ニ關スル決議案……………可決

議決摘要

府第一號議案 大正七年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及
 收入ノ割合……………可決

明治三十二年勅令第二百八十五號第五條ニ依リ大正七年度府費ニ關スル市部郡
 部分擔及收入ノ割合左ノ通定ムルモノトス

市部郡部分擔ノ割合

砂防工事費	郡市	五分九厘
教育補助費	郡市	一分五厘
府債費	郡市	七分四厘

市部郡部收入ノ割合

財産收入	郡市	一分九厘
分擔金	郡市	四分九厘
納付金	郡市	七分六厘
府債	郡市	七分六厘

市部郡部ノ分擔割合參考表

科	目	大正七年度郡市割合	割合標準
砂防	工事費	郡市 四分九厘	
教育	補助費	郡市 一分五厘	教育費分擔ノ割合
府債	費	郡市 七分六厘	人口

市部郡部ノ收入割合參考表

科	目	大正七年度郡市割合	割合標準
財産	收入	郡市 一分九厘	農工銀行株式配當金ハ宅地鑛泉地池沼以外ノ有租地反別割、其他ハ歳出當該科目分擔ノ割合
分擔	金	郡市 四分九厘	歳出當該科目分擔ノ割合

府	納付	科目	大正七年度市郡割合		割合	標準
			市郡	市郡		
	債	金	二七分	二七分	六四厘	六四厘
			六四厘	六四厘		
			歲出當該科目分擔ノ割合			
			歲出當該科目分擔ノ割合			

府第二號議案 大正七年度東京府歲入歲出豫算書……………可決

歲入

經常部

第一款 財產收入 金貳拾六萬五千八百四拾四圓參拾六錢

第一項 不動產收入 金七百參拾壹圓九拾八錢

第二項 動產收入 金壹萬八百圓

第三項 特別經濟繰入 金貳拾五萬四千參百拾貳圓參拾八錢

第二款 國庫下渡金 金拾九萬千四拾八圓七拾九錢

第一項 警察費下渡金 金拾九萬千四拾八圓七拾九錢

第三款 雜收入 金參拾參萬六千參拾八圓六拾九錢

第四款 市郡分賦額 金貳百五拾壹萬六千八百貳拾四圓九拾八錢

內 市部收入 金百七拾參萬七圓貳拾錢

郡部收入 金七拾八萬六千八百拾七圓七拾八錢

第一項 市郡分賦額 金貳百五拾壹萬六千八百貳拾四圓九拾八錢

經常部合計金參百參拾萬九千七百五拾六圓八拾貳錢

臨時部

第一款 國庫補助金 金四萬八千七百九拾五圓四拾九錢

第一項 警察費補助金 金壹萬七千四百八拾四圓七拾錢

第二項 砂防工事費補助金 金六千七百貳拾參圓

第三項 傳染病豫防費補助金 金千六百六拾六圓拾七錢

第四項 癩療養費補助金 金五千五百九拾九圓八拾錢

第五項 市町村傳染病豫防補助費補助金 金六拾六圓六拾六錢

第六項 教育費補助金 金七千八百圓

第七項 蠶業取締費補助金 金貳千九拾參圓

第八項 原蠶種製造所費補助金 金貳千四百五拾圓

- 第九項 副業獎勵費補助金 金九百圓
- 第十項 造林補助費補助金 金千圓
- 第十項 感化院費補助金 金貳千九拾五圓五拾錢
- 第十項 感化院補助費補助金 金千四百拾六圓六拾六錢
- 第二款 財產賣拂代 金五拾圓
- 第一款 不動產賣拂代 金五拾圓
- 第三款 分擔金 金四千四百八拾參圓五拾壹錢
- 第一款 砂防費分擔金 金四千四百八拾參圓五拾壹錢
- 神奈川縣分擔金
- 第四款 納付金 金壹萬參千四百四拾九圓九拾九錢
- 第一款 河川改良費納付金 金壹萬參千四百四拾九圓九拾九錢
- 東京市納付金
- 第五款 府債 金四拾萬六千圓
- 第一款 府債 金四拾萬六千圓
- 臨時部合計金四拾七萬貳千七百七拾八圓九拾九錢

歲入總計金參百七拾八萬貳千五百參拾五圓八拾壹錢

市部收入 金貳百六拾七萬千九百九拾八錢
 郡部收入 金百拾壹萬千四百貳拾六圓六拾參錢

歲出

經常部

第一款 警察費 金四拾七萬參千參百拾六圓五拾五錢

第一項 俸給及諸給 金貳拾八萬參千四百貳拾圓九拾錢

警部補五人月俸參拾圓同上一人九箇月分此金貳千七拾圓、巡查部長二十六人月俸貳拾六圓五拾錢、同上二人九箇月分二人五箇月分此金九千拾圓、巡查百三十三人月俸貳拾貳圓同上三人九個月分十人五箇月分三百人月俸拾參圓同上五百人三箇月分此金拾萬參千六百圓、警察警員七人年俸千六百圓此金壹萬千貳百圓、五十五人月俸五拾圓此金參萬參千圓、技師一人年俸千五百圓二人年俸千貳百圓此金參千九百圓、技手八人月俸五拾圓四十七人月俸四拾五圓六十五人月俸貳拾圓此金四萬五千七百八拾圓、書記三人月俸參拾五圓一人月俸貳拾五圓四十人月俸貳拾貳圓此金壹萬貳千貳拾圓、警部警部補巡查宿料壹萬貳

千九百七拾九圓五拾錢其ノ他手當旅費惠與諸傭給助

第二項 廳 費 金拾貳萬九千八百九拾五圓六拾五錢

第三項 警察機密費 金六萬圓

(原案説明) 府市郡巡査ノ増員ニ伴フ練習生ノ臨時收容竝練習期間改正ノ爲練習生ノ増員及國費補給ニ係ル巡査ノ増員ヲ要スルト其ノ他物價騰貴ニ伴フ増俸増給及廳費ノ増加等ニ因リ金拾六萬參千餘圓ヲ増ス

第二款 警察廳舍修繕費 金參千參百參拾壹圓七拾錢

第一項 修繕費 金參千參百參拾壹圓七拾錢

第三款 土木費 金拾七萬八千四百四拾八圓五拾七錢

第一項 道路橋梁費 金七萬五千五百九拾七圓八拾七錢

第二項 治水堤防費 金拾萬貳千八百五拾圓七拾錢

第四款 府會議諸費 金參萬六千參拾九圓五拾六錢

第一項 府會議費 金貳萬五千八百八拾壹圓八拾錢

第二項 府參事會諸費 金壹萬八百五拾七圓七拾六錢

第五款 衛生及病院費 金貳拾萬千九百六拾圓貳拾七錢

第一項 衛生諸費 金參萬五千九拾參圓貳錢

第二項 巢鴨病院費 金拾萬千四百八圓九錢

第三項 娼妓病院費 金五萬參千六百拾八圓拾六錢

第四項 屠畜檢查費 金壹萬千七百四拾壹圓

第六款 教育費 金七拾萬八千七百拾貳圓參拾參錢

第一項 青山師範學校費 金七萬貳千六百參拾參圓七拾九錢

第二項 豐島師範學校費 金七萬參千七百五拾八圓八拾六錢

第三項 女子師範學校費 金五萬八千八百七拾八圓七拾五錢

第四項 第一中學校費 金參萬九千參百貳拾六圓五拾參錢

第五項 第二中學校費 金貳萬四千四百拾六圓五拾七錢

第六項 第三中學校費 金參萬六千五百貳拾八圓參拾八錢

第七項 第四中學校費 金參萬六千六百八圓八拾八錢

第八項 第五中學校費 金參千五百貳拾貳圓拾四錢

開校準備ニ要スル俸給其ノ他

第九項 第一高等女學校費 金參萬千貳百四拾五圓九拾錢

- 第十項 第二高等女學校費 金七千五百拾壹圓八拾六錢
- 第十項 第三高等女學校費 金參萬千參百九拾壹圓六錢
- 第十項 第四高等女學校費 金壹萬六千九百九圓五拾九錢
- 第十項 織染學校費 金貳萬四千貳百九拾參圓參拾貳錢
- 第十項 工藝學校費 金四萬六千貳百貳拾貳圓拾七錢
- 第十項 職工學校費 金四萬貳千參百拾壹圓八拾貳錢
- 第十項 園藝學校費 金貳萬七千六百六拾七圓七拾六錢
- 第十項 農林學校費 金貳萬六百拾四圓壹錢
- 第十項 商業學校費 金四千六百貳圓拾四錢

開校準備ニ要スル俸給雜給等

- 第五項 學事諸費 金拾萬四千貳百貳圓六拾四錢
- 第三項 小學校教員檢定費 金千參百六拾四圓拾六錢
- 第三項 講習費 金參千六百貳圓
- 第三項 給與 金千六百圓
- 第七款 救育費 金參拾九萬七千六百五拾貳圓八拾八錢

第一項 救助費 金參拾九萬七千六百五拾貳圓八拾八錢

第八款 諸達書及揭示諸費 金四千六百七拾參圓參拾六錢

第九款 勸業費 金九萬參千參百四拾八圓七拾貳錢

第一項 勸業會費 金參千七百八拾貳圓五拾四錢

第二項 勸業諸費 金八萬參千九百參拾七圓六拾壹錢

第三項 森林改良費 金參千百參拾五圓七錢

第四項 獸疫豫防費 金貳千四百九拾參圓五拾錢

第十款 府費取扱費 金七千貳百五拾七圓參拾錢

第一項 徵收費 金參千百五拾七圓參拾錢

第二項 金庫諸費 金四千百圓

第十款 府廳舍修繕費 金參千九百八拾八圓貳拾五錢

第一項 修繕費 金參千九百八拾八圓貳拾五錢

第十款 衆議院議員選舉費 金貳百四拾六圓

第一項 選舉費 金貳百四拾六圓

第三款 府會議員選舉費 金參百八拾圓五錢

第一項 選舉費 金參百八拾圓五錢

第四款 府吏員費 金拾八萬七千七百七拾參圓貳拾七錢

第一項 吏員費 金拾八萬七千七百七拾參圓貳拾七錢

(原案說明) 物價騰貴ニ基ク増俸増給等ノ爲メ金八萬餘圓ヲ増ス

第五款 財產費 金五拾圓

第一項 管理費 金五拾圓

第六款 土地收用費 金貳百貳拾四圓五拾錢

第一項 審查諸費 金貳百貳拾四圓五拾錢

第七款 社費 金六拾貳圓

第一項 府社費 金六拾貳圓

第八款 府統計費 金貳千九百八拾八圓八拾錢

第一項 府統計費 金貳千九百八拾八圓八拾錢

第九款 感化院費 金壹萬參千五拾參圓

第一項 小笠原修齊學園費 金壹萬參千五拾參圓

第三款 地方獎勵費 金貳千貳百九拾參圓

第一項 獎勵費 金貳千貳百九拾參圓

第二款 市町村吏員懲戒審查會費 金參拾八圓

第一項 審查諸費 金參拾八圓

第三款 補償鑑定費 金參拾貳圓

第一項 鑑定人費 金參拾貳圓

第三款 救濟事業費 金四千七百圓

第一項 救濟事業費 金四千七百圓

第四款 豫備費 金壹萬圓

第一項 豫備費 金壹萬圓

經常部合計金貳百參拾參萬五百七拾圓拾壹錢

臨時部

第一款 警察廳舍建築費 金壹萬九千九百五拾九圓四拾四錢

第一項 建築費 金壹萬九千九百五拾九圓四拾四錢

警察練習所建築費

第二款 土木費

金壹萬九千參百九拾貳圓七拾八錢

第一項 道路橋梁費

金七千參百拾九圓六拾參錢

第二項 治水堤防費

金壹萬貳千七拾參圓拾五錢

第三款 治水費分擔金

金五拾八萬六千圓

第一項 河川改良費分擔金

金五拾八萬六千圓

(原案説明) 荒川改良工事速成ノ爲分擔金ノ繰上納付ヲ要スルト利根川改良費分擔金ノ爲
金貳拾參萬六千圓ヲ増ス

第四款 河川改良工事附帶工事費

金壹萬千參拾貳圓參拾錢

第一項 道路橋梁費

金壹萬千參拾貳圓參拾錢

第五款 河川改良工事附帶工事補助費

金壹萬五千圓

第一項 河川改良工事附帶工事補助費

金壹萬五千圓

第六款 衛生及病院費

金參百四拾圓

第一項 娼妓病院費

金參百四拾圓

第七款 市町村傳染病豫防補助費

金四百圓

第一項 市町村傳染病豫防補助費

金四百圓

第八款 教育費

金壹萬七千貳百貳拾圓

第一項 師範學校費

金六百七拾圓

建築費

第二項 工藝學校費

金七千參百圓

同上

第三項 職工學校費

金九千貳百五拾圓

同上

第九款 教育補助費

金貳萬九千五百圓

第一項 教育補助費

金貳萬九千五百圓

東京府教育會補助千五百圓實業教育補助九千圓市町村立小學校教育費補助
壹萬九千圓

第十款 教育補助費

金千四百五拾圓

第一項 教育補助費

金千四百五拾圓

納骨所建設費補助

第十二款 町村警備補助費

金貳百六圓

第一項 町村警備補助費 金貳百六圓

南千住町及千住町補助

第三款 勸業費 金壹萬貳千參拾貳圓參拾錢

第一項 建築費 金千參拾貳圓參拾錢

原蠶種製造所建築費

第二項 助成費 金壹萬千圓

重要物產同業組合助成八千圓、工業品意匠圖案改良助成千五百圓、副業獎勵助成千五百圓

第三款 勸業補助費 金壹萬參千五百四拾圓

第一項 勸業補助費 金壹萬參千五百四拾圓

物品共進會補助貳千圓、小笠原島航海費補助八千圓、產業組合支部補助九百圓、造林補助貳千六百四拾圓

第四款 府廳舍建築費 金九百圓

第一項 建築費 金九百圓

第五款 感化院補助費 金八千五百圓

第一項 感化院補助費 金八千五百圓

代用感化院補助

第六款 海外視察員派遣費 金四千圓

第一項 海外教育視察員派遣費 金四千圓

第七款 積立金 金五千圓

第一項 育英資金積立金 金五千圓

第六款 史蹟天然記念物保存費 金千圓

第一項 保存費 金千圓

第五款 神職會補助費 金四百五拾圓

第一項 神職會補助費 金四百五拾圓

第三款 府債費 金貳萬五千貳百六拾圓

第一項 利子 金貳萬五千貳百六拾圓

第三款 土木費本年度支出額 金壹萬六千七百八拾參圓五拾錢

第一項 道路橋梁費本年度支出額 金壹萬六千七百八拾參圓五拾錢

第三款 河川改良工事附帶工事費 金貳拾萬千七百七拾八圓

本年度支出額

第一項 道路橋梁費本年度支出額 金貳拾萬千七百七拾八圓

第三款 砂防工事費本年度支出額 金壹萬四千參百四拾七圓

第一項 砂防工事費本年度支出額 金壹萬四千參百四拾七圓

府第二十一號議案ノ年度割額

第三四款 衛生及病院費本年度支出額 金貳拾五萬四千參百拾貳圓參拾八錢

第一項 精神病院移轉建築費本年度支出額 金貳拾五萬四千參百拾貳圓參拾八錢

巢鴨病院移轉建築費年度割額

第三五款 教育費本年度支出額 金拾九萬四千六百六拾貳圓

第一項 中學校費本年度支出額 金拾五萬七千八拾壹圓

府第二十二號議案ノ年度割額

第二項 商業學校費本年度支出額 金參萬七千八拾壹圓

府第二十三號議案ノ年度割額

臨時部合計金百四拾五萬千九百六拾五圓七拾錢

歲出總計金參百七拾八萬貳千五百參拾五圓八拾壹錢

市	負擔	金貳百六拾七萬千九百九拾八錢
郡	負擔	金百拾壹萬千四百貳拾六圓六拾參錢

府第三號議案 大正七年度東京府罹災救助基金歲入歲出 豫算書……………可決

府第四號議案 大正七年度東京府慈惠救濟資金歲入歲出 豫算書……………可決

府第五號議案 大正七年度東京府巢鴨病院基本金歲入歲出 豫算書……………可決

府第六號議案 大正七年度東京府教育資金歲入歲出 豫算書……………可決

府第七號議案 大正七年度東京府小學校教員加俸資金歲入歲出 豫算書……………可決

府第八號議案 大正七年度東京府小學校教員恩給基金歲入歲出 豫算書……………可決

府第九號議案 大正七年度東京府小學校教員恩給金歲入
歲出豫算書……………可決

府第十號議案 大正七年度東京府府立學校基本金歲入歲
出豫算書……………可決

府第十一號議案 大正七年度東京府第一中學校戰役記念獎
學金歲入歲出豫算書……………可決

府第十二號議案 大正七年度東京府第一中學校武術獎勵資
金歲入歲出豫算書……………可決

府第十三號議案 大正七年度東京府第二中學校恩賜記念獎
學資金歲入豫算書……………可決

府第十四號議案 大正七年度東京府第四中學校伏見宮博義
王殿下獎學資金歲入歲出豫算書……………可決

府第十五號議案 大正七年度東京府織染學校校舍落成記念
獎學資金歲入歲出豫算書……………可決

府第十六號議案 大正七年度東京府御大典記念育英資金歲
入歲出豫算書……………可決

府第十七號議案 大正七年度東京府御大禮恩賜賑恤資金歲
入歲出豫算書……………可決

府第十八號議案 大正七年度東京府功勞者表彰獎勵資金歲
入歲出豫算書……………可決

府第十九號議案 大正七年度東京府軍人遺家族救護基金歲
入歲出豫算書……………可決

府第二十號議案 自大正七年度東京府荒川改良工事附帶工事
費繼續年期及支出方法……………可決

一金四拾五萬千五百圓

道路橋梁費

內 譯

金拾萬參千參百五拾八圓

大正七年度支出額

内

金拾萬參千參百五拾八圓

橋梁新架費

金貳拾貳萬四千百四拾貳圓

大正八年度支出額

内

金貳拾貳萬四千百四拾貳圓

橋梁新架費

金拾貳萬四千圓

大正九年度支出額

内

金拾貳萬四千圓

橋梁新架費

荒川改良工事速成ニ伴ヒ附帶事業トシテ陸羽街道堀切道四ツ木街道及千葉街道
筋ニ橋梁ノ架設ヲ要スル處工事竝經費ノ都合上繼續費トシテ其ノ完成ヲ期セム
トス

府第二十一號議案

自大正十七年度至大正十八年度東京府砂防工事費繼續年期

及支出方法……………可決

一金五拾九萬四千六百貳拾六圓

砂防工事費

内譯

金壹萬四千參百四拾七圓

大正七年度支出額

金貳萬貳千百參拾六圓

大正八年度支出額

金五萬四千百八拾七圓

大正九年度支出額

金五萬八千七百四拾貳圓

大正十年度支出額

金五萬八千貳百四拾圓

大正十一年度支出額

金五萬六千四百八拾八圓

大正十二年度支出額

金五萬七千七拾七圓

大正十三年度支出額

金五萬九千貳百四拾七圓

大正十四年度支出額

金五萬六千四百九拾七圓

大正十五年度支出額

金五萬八千百八拾六圓

大正十六年度支出額

金五萬七千八百貳拾七圓

大正十七年度支出額

金四萬千六百五拾貳圓

大正十八年度支出額

多摩川治水ノ爲同川及同川流域ニ於ケル諸川ニ對シ砂防工事ヲ施行セムトスル

處工事竝經費ノ都合上繼續費トシテ其ノ完成ヲ期セムトス

府第二十二號議案

自大正七年度 東京府教育費繼續年期及支出

至大正十年度 方法……………可決

一金貳拾七萬五千七百拾貳圓六拾錢

教育費中建築費

內 譯

金拾五萬七千八拾壹圓

大正七年度支出額

金參萬九千七百八拾壹圓六拾錢

大正八年度支出額

金參萬七千九百貳拾圓

大正九年度支出額

金四萬九百參拾圓

大正十年度支出額

右ハ府立第五中學校ノ新設ヲ要スルモ其ノ費用多額ナルヲ以テ四箇年度繼續事業トシテ其ノ完成ヲ期セムトス

府第二十三號議案

自大正七年度 東京府教育費繼續年期及支出

至大正十年度 方法……………可決

一金拾五萬八千貳百參拾貳圓六拾錢

教育費中建築費

內 譯

金參萬七千八拾壹圓

大正七年度支出額

金參萬九千七百八拾壹圓六拾錢

大正八年度支出額

金四萬四百四拾圓

大正九年度支出額

金四萬九百參拾圓

大正十年度支出額

右ハ府立商業學校新設ヲ要スルモ其ノ費用多額ナルヲ以テ四箇年度ノ繼續事業トシテ完成ヲ期セムトス

府第二十四號議案

府會議員名譽職參事會員費用辨償額及其

ノ支給方法中改正ノ件……………可決

府會議員名譽職參事會員費用辨償額及其ノ支給方法中左ノ通改正シ大正七年四月一日ヨリ施行スルモノトス

第十條第二項ヲ左ノ如ク改ム

陸路六里未滿、鐵道四十八哩未滿、水路三十海里未滿ノ旅行ニ在リテハ公務ノ都合ニ依リ宿泊シタル場合ヲ除クノ外其ノ支給スヘキ日當ハ定額ノ半額トス

同條第三項ヲ左ノ如ク改ム

一旅行ニシテ陸路鐵道又ハ水路ニ亘ルトキハ鐵道ハ八哩、水路ハ五海里ヲ以テ陸路一里ト看做シ前項ノ規定ヲ準用ス

別表ヲ左ノ如ク改ム

年額手當	府會議長	府會副議長	部會議長	部會副議長	議員
	五百圓	四百圓	四百圓	參百五十圓	參百圓
月額手當	市部選出名譽職參事會員				
日額手當	郡部選出名譽職參事會員				
旅費	參 臨時補充名譽職參事會員				
	鐵道賃船賃車馬賃日當宿泊料	四錢	五錢	參拾錢	貳圓

議員ノ年額手當ヲ受クヘキ者(議長、副議長タル者ヲ除ク)ニシテ郡部ニ住居ヲ占ムルトキハ貳拾圓ヲ増額ス

(原案説明) 費用辨償定額ヲ増額スル必要ヲ認ムルト旅費支給方法ノ一部改正ヲ相當ト認ムルニ由ル

府第二十五號議案 府會市部會郡部會議決事件ノ分別中改正

ノ件……………可決

府會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ府會ノ議決ヲ經ヘキ事件ト市部會郡部會ノ議決ヲ經ヘキ事件トノ分別中左ノ通改正スルモノトス
郡部會議決事件中

勸業補助費但書中「造林」ヲ削除シ「及農業倉庫」ヲ「農業倉庫產業組合及養蠶組合」ニ改ム

府第二十六號議案 大正六年度東京府歲入歲出追加豫算書……………可決

歲入

經常部

第四款 市郡分賦額 金貳拾九萬六千八百七拾參圓四拾六錢

第五章 府會の行動 大正六年の府會

第一項 市郡分賦額 金貳拾九萬六千八百七拾參圓四拾六錢

經常部合計金貳拾九萬六千八百七拾參圓四拾六錢

臨時部

第一款 國庫補助金 金參千五百圓

第六項 教育費補助金 金參千五百圓

師範學校費及中學校費補助金

第四款 府債 金四拾貳萬千圓

第一款 府債 金四拾貳萬千圓

臨時部合計金四拾貳萬四千五百圓

歲入總計金七拾貳萬千參百七拾參圓四拾六錢

歲出

經常部

第六款 教育費 金參萬千七百七拾參圓

第一款 青山師範學校費 金參千參百參拾六圓

備品費

第二項 豐島師範學校費 金參千參百參拾六圓

同上

第三項 女子師範學校費 金參千九百九拾壹圓

同上

第四項 第一中學校費 金參千百貳拾四圓

同上

第五項 第二中學校費 金四千百貳拾八圓

同上

第六項 第三中學校費 金參千百貳拾四圓

同上

第七項 第四中學校費 金參千百參拾四圓

同上

第七項 學事諸費 金七千圓

小學校教員恩給金補充費

經常部合計金參萬千七百七拾參圓

臨時部

第二款 土木費 金貳拾六萬五千貳百圓四拾六錢

第一項 道路橋梁費 金參千貳百四拾參圓四拾四錢

水害復舊工事費

第二項 治水堤防費 金貳拾六萬千九百五拾七圓貳錢

同上

第三款 治水費分擔金 金四拾貳萬千圓

第一項 河川改良費分擔金 金四拾貳萬千圓

荒川改良工事ノ速成ニ伴フ分擔金年度割増額

第八款 教育費 金四千圓

第二項 中學校費 金四千圓

第二中學校理化實驗室新築費

臨時部合計金六拾九萬貳百圓四拾六錢

歲出總計金七拾貳萬千參百七拾參圓四拾六錢

府第二十七號議案 起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法………可決

第一條 荒川改良工事速成ニ伴フ分擔金繰上納付及同工事附帶工事費ニ充ツル爲國庫又ハ確實ナル銀行ヨリ金百貳拾萬圓ヲ須要ニ應シ左記ノ通借入ルルモノトス

大正六年度 金四拾貳萬壹千圓

大正七年度 金四拾萬六千圓

大正八年度 金貳拾八萬參千圓

大正九年度 金九萬圓

第二條 借入金ノ利息ハ一箇年六分以内トシ毎年度九月末日及三月末日ニ於テ前六箇月分ヲ仕拂フモノトス但借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ充タサル端數利子アルトキハ借入ノ際ニハ其ノ翌日ヨリ償還ノ際ニハ仕拂ノ當日迄日割ヲ以テ計算ス

第三條 借入金ハ借入ノ時ヨリ大正九年度迄据置キ大正十年度ヨリ大正十二年度ニ至ル三箇年度ニ於テ左ノ通償還スルモノトス但經濟ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲スコトアルヘシ

大正十年度 金參拾萬圓

大正十一年度 金參拾萬圓

大正十二年度 金六拾萬圓

第四條 前條ノ償還ハ大正十二年度ニ於テ交付セラルヘキ附帶工事費國庫補助金及一般財源ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

府第二十八號議案 大正六年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔

及收入割合中改正ノ件……………可決

明治三十二年勅令第二百八十五號第五條ニ依ル大正六年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合中左ノ通改正スルモノトス

市部郡部收入ノ割合中左ノ一項ヲ加フ

府債

市 七分四厘
郡 二分六厘

(原案説明) 荒川改良工事ノ速成ニ伴フ府債ハ治水費分擔金並荒川改良工事附帶工事費等ト同一ノ歩合ニ依ルノ必要アルニ由ル

府第二十九號議案 大正六年度東京府小學校教員恩給金歲入

歲出追加豫算書……………可決

府諮問第一號 府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合

算定標準改正ノ件……………議決

大正八年度以降府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合算定標準ヲ左ノ通ト爲サムトス

一分擔及收入ノ割合孰モ人口六分直接國稅額四分ヲ以テ標準トス

一標準タルヘキ人口ハ年度開始ノ日ノ前前年十二月末日ノ現在ニ據リ直接國稅

額ハ豫算ノ屬スル年度ノ前前年度以前三箇年度ノ平均金額ニ據ル

右其ノ會ノ意見ヲ諮フ

(議決)會期切迫ノ爲メ答申シ難シ(議員村上熊八發議)

大正五年度東京府歲入歲出決算書……………承認

教育費國庫支辨ニ關スル建議案……………可決

(建議の大要) 行旅病人死亡人費並精神病者監護費を國庫支辨に移屬方に關して

は、從來連年陳情し來りたるが、其の費額は益々累加し、事實に於て國庫負擔に移すの正當なるを如實に證明する状態なれば、速に詮議の上國庫支辨に移されたいと内務大臣に意見書を提出するので、建議案は多數を以て可決した。議員村田權次郎發議。

費用辨償額支給方法委任ニ關スル決議案……………可決

一府會議員名譽職參事會員費用辨償額及其ノ支給方法中近キ將來ニ於テ改正ノ必要アルトキハ其ノ議決ヲ府參事會ニ一任スルモノトス

通常市部會

本會は、大正六年十二月二日午後三時二十八分に開議し、會議五日間に涉り、十二月二十四日午後二時三十四分議事終了散會した。

村上議長は、會議の同意を得て、秋虎太郎、田中武助を會議録署名議員に選定した。

この會議では、豫算案は結局原案に可決されたが、其の内警察費は非常の膨脹で、前年度に比し六拾壹萬五千餘圓の増加である。つまり、警部補並巡查の増員と、消

防設備の改善擴張とが主なるものであつた。會議の當初に於て酒井大塚、村山、吉田、岡田、横山村、田松内等の諸議員と番外警視廳理事者との間に頻に質問應答が交はされたが、今其の要領を摘記すれば、警部補巡查の増員に關する大島警視廳官房主事の説明は、府下發達の現状に對し警部補並巡查の増員を必要とし、先づ以て市郡を通じて五百七十八名を漸次増員する計畫で、其の一部を七年度の豫算に計上した。現今市内の人口に對する巡查配置の比率は、巡查一人に付人口五百五十二人であるが、是は内勤巡查をも含めたもので、外勤巡查のみなれば、巡查一人に付人口九百四十七人の比率となる。夫れで十八時間も勤務するから、到底充分な能率を發揮することが出來ぬ。故に、治安維持上遺憾なきを期するには、少くとも巡查三千人を増員しなければならぬ。しかしこれは將來の腹案として、先づ差し當り前述の市郡を通じて五百七十八名を増員する計畫を樹てた次第で、從來の二部勤務を、九人三部勤務に改めて欠陥を補ひ、最少限度に於ける治安の維持を期せんとするものであるといふのであつた。緒方消防部長の説明は、現在消防自動車を使用せるは大阪、愛知及神奈川等で、首府たる大東京として、最早や蒸汽ポンプに安んずることは出來ぬ。それ故曩に試験的に購入した一臺の外に、五臺の自動車ポン

プを購入し、六個所の消防署に一臺宛を備付くる見込である。又調査した所に依れば市内道路延長の約三分の二迄は、自動車ポンプを運轉することが出来るから、機能を發揮するに充分である。又給水の點に付ては、水量の不足といふより寧ろ水壓が足らぬ爲めと考へるから、吸水力が強ければ水の出も繼續し、結局心配は要らぬと思ふ云々といふので、質問者も兎に角理事者の説明を信賴したのである。

議案 附決議案

- 第一號議案部 大正七年度東京府市部營業稅雜種稅課目課額……………可決
- 第二號議案部 大正七年度東京府市部歲入歲出豫算書……………可決
- 第三號議案部 大正七年度東京府市部請願巡查並消防費徵收額……………可決
- 第四號議案部 大正七年度東京府市部慈惠救濟資金歲入歲出豫算書……………可決
- 第五號議案部 大正七年度東京府市部積立金歲入歲出豫算書……………可決
- 第六號議案部 東京府市部府稅賦課規則中改正ノ件……………可決
- 第七號議案部 特別經濟運用ニ關スル件……………可決
- 第八號議案部 起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法……………可決
- 第九號議案部 大正六年度東京府市部歲入歲出追加豫算書……………可決

議決摘要

大正五年度東京府市部歲入歲出決算書……………承認
市部參事會委任事件ニ關スル決議案……………可決

市部第一號議案部 大正七年度東京府市部營業稅雜種稅課目課額……………可決

營業稅

一 商業

第一類

物品販賣業(賣藥行商ヲ除ク)・銀行業・保險業・無盡業・金錢貸付業・物品貸付業・兩換業・運送業・運河業・棧橋業・船舶碇繋場業・貨物陸揚場業・倉庫業・鐵道業・請負業・旅人宿業・木賃宿業・下宿業・周旋業・代理業・仲立業・問屋業・信託業

年稅 建物賃貸價格千分ノ十四

第三類

藝妓屋業

藝妓

一人ニ付 月稅 金參圓五拾錢

小藝妓

同 同 金貳圓

雜種稅

一 市場

常設市場

第五章 府會の行動 大正六年の府會

一類	生魚市場 青物市場	年稅	賣買金高萬分ノ三
二類	米穀市場	同	同 萬分ノ〇・二
三類	其ノ他ノ市場	同	同 萬分ノ一
書畫骨董品臨時市場		賣買金高千分ノ五	
一自轉車		年稅	金貳圓

(原案説明) 本年度ヨリ課稅ノ權衡上營業稅中ニ銀行業保險業運河業棧橋業船舶碇繫場業貨物陸揚場業倉庫業鐵道業藝妓屋業ヲ加ヘ其ノ他市場稅課稅標準ヲ賣買金高ト定メ自轉車稅ヲ年稅ニ改メ藝妓稅ヲ廢止セリ

市部 第二號議案 大正七年度東京府市部歲入歲出豫算書……………可 決

歲入	經常部	第一項 地租	金四拾貳萬六千百參拾壹圓九拾錢
		第一項 地租	金四拾貳萬六千百參拾壹圓九拾錢
		第二項 營業稅	金參拾萬七千四百九拾圓七拾八錢
		第一項 地租	金四拾貳萬六千百參拾壹圓九拾錢 <small>(宅地租壹圓ニ付拾八錢其ノ他ノ土地地租壹圓ニ付四拾四錢參厘)</small>

第一項 商業稅	金貳拾六萬七千百參圓八拾五錢
第二項 工業稅	金四萬參百八拾六圓九拾參錢
第三項 雜種稅	金四拾參萬參百八拾壹圓八拾壹錢
第四項 營業稅附加稅	金六拾七萬貳千四百六拾四圓
第五項 營業稅附加稅	金六拾七萬貳千四百六拾四圓 <small>(本稅壹圓ニ付拾參錢)</small>
第六項 賣藥營業稅附加稅	金六百參拾六圓 <small>(本稅壹圓ニ付參錢)</small>
第七項 取引所營業稅附加稅	金四萬參千九百九拾圓 <small>(本稅壹圓ニ付拾錢)</small>
第八項 所得稅附加稅	金貳拾六萬四千參百四拾壹圓 <small>(本稅壹圓ニ付七錢)</small>
第九項 家屋稅	金八拾七萬九千參百四拾圓 <small>(本稅壹圓ニ付七錢)</small>
第十項 財產收入稅	金八拾七萬九千參百四拾圓 <small>(個數一個ニ付五錢五厘)</small>
第十一項 特別經濟線入	金千九百八拾圓

第十款 國庫下渡金 金百參萬貳千八百五拾九圓九拾五錢

第一項 警察費下渡金 金百參萬貳千八百五拾九圓九拾五錢

第七款 雜收入 金貳拾八萬四千拾六圓四拾錢

第三款 市郡連帶市部收入額 金九拾四萬千百壹圓九拾八錢

第一項 市郡連帶市部收入額 金九拾四萬千百壹圓九拾八錢

經常部合計金五百貳拾八萬四千七百參拾參圓八拾貳錢

臨時部

第一款 繰越金 金千圓

第一項 前年度繰越金 金千圓

第二款 國庫補助金 金壹萬八千九拾壹圓六拾參錢

第一項 警察費補助金 金九千八百五拾八圓參拾錢

第二項 市町村傳染病豫防補助費補助金 金八千參百參拾參圓參拾參錢

第三款 府債 金拾萬圓

第一項 府債 金拾萬圓

第四款 運用金 金七萬五千六百圓

第一項 運用金 金七萬五千六百圓

臨時部合計金拾九萬四千七百九拾壹圓六拾參錢

歲入總計金五百四拾七萬九千五百貳拾五圓四拾五錢

歲出

經常部

第一款 警察費 金貳百六拾參萬四千九百貳拾六圓參拾參錢

第一項 俸給及諸給 金百八拾參萬六千六百六拾七圓九拾八錢

警部補百三十三人月俸貳拾八圓同上三人九箇月分三人五箇月分四人二箇月

分此金四萬六千八拾八圓 巡查部長二百五十二人月俸貳拾四圓五拾錢同上六

人九箇月分六人五箇月分六人二箇月分此金七萬六千四百四拾圓 巡查三千八

百二十人月俸貳拾圓同上百五人九箇月分九十四人五箇月分七十三人二箇月

分此金九拾四萬八千貳拾圓 消防曹長四十四人月俸貳拾貳圓同上二人六箇月

分此金壹萬千八百八拾圓 消防手四百三十一人月俸拾九圓同上二十六人六箇

月分二十人月俸拾貳圓同上二十八人二箇月分此金拾萬四千七百八拾四圓 警

察書記四十人月俸貳拾參圓百十八人月俸貳拾圓此金參萬九千參百六拾圓 消

防書記四十人月俸貳拾圓同上二人六箇月分此金九千八百四拾圓警察署長警部消防官警部補巡查宿料貳拾九萬九千九百四拾七圓五拾錢諸備給(水上警察及消防關係)七萬六千參百五拾六圓參拾參錢其ノ他手當旅費惠與給助

第二項 廳 費 金七拾九萬八千七百五拾八圓參拾五錢

(原案説明) 警部補巡查ノ増員及消防設備ノ改善擴張等ノ爲メ前年度ニ比シ金六拾壹萬五千餘圓ヲ増ス

第二款 警察廳舍修繕費 金貳萬參千四百拾四圓八拾九錢

第一項 修繕費 金貳萬參千四百拾四圓八拾九錢

第三款 府費取扱費 金參萬參千六拾九圓

第一項 徵收費 金參萬參千六拾九圓

第四款 財產費 金貳圓

第一項 管理費 金貳圓

第五款 府社費 金貳百四拾八圓

第一項 府社費 金貳百四拾八圓

第六款 豫備費 金五千圓

第一項 豫備費 金五千圓

第七款 市郡分賦市部負擔額 金貳百六拾七萬千九百九拾八錢

第一項 市郡分賦市部負擔額 金貳百六拾七萬千九百九拾八錢

經常部合計金五百參拾六萬七千七百六拾九圓四拾錢

臨時部

第一款 警察廳舍建築費 金五萬七千四百五拾五圓九拾七錢

第一項 建築費 金五萬七千四百五拾五圓九拾七錢

警察署消防練習所巡查派出所消防出張所建築費及電話架設費雜費

第二款 市町村傳染病豫防補助費 金五萬圓

第一項 市町村傳染病豫防補助費 金五萬圓

臨時部合計金拾萬七千四百五拾五圓九拾七錢

歲出總計金五百四拾七萬五千貳拾五圓參拾七錢

市部 第三號議案 大正七年度東京府市部請願巡查並消防費徵收額…可決

一金四拾圓

巡查一人一箇月分

一金參拾貳圓

消防手一人一箇月分

市 第四號 議案部 大正七年度東京府市部慈惠救濟資金歲入歲出

豫算書……………可 決

市 第五號 議案部 大正七年度東京府市部積立金歲入歲出豫算書……………可 決

市 第六號 議案部 東京府市部府稅賦課規則中改正ノ件……………可 決

東京府市部府稅賦課規則中左ノ通改正シ大正七年四月一日ヨリ施行スルモノトス

第三條第二項中「營業行爲又ハ物件」ヲ「營業又ハ行爲」ニ改ム

第四條第一號中「及月稅中自轉車稅」ヲ削除シ同號「賦課ス」ノ下ニ「但船稅、車稅、自轉車稅、自動自轉車稅、自動車稅、日本形船稅及西洋形船稅ニ在リテハ納稅義務發生ノ場合ニ限リ其ノ月ヨリ月割ヲ以テ賦課ス」ヲ加ヘ同條第二號中「自轉車稅ヲ削除ス」ヲ削除ス

第五條第一項中「營業行爲又ハ物件」ヲ「營業又ハ行爲」ニ改ム
同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

郡部ニ於テ課稅スヘキ營業行爲又ハ物件ニシテ市部ニ轉入シタル場合ニハ課稅期間ヲ同シウスルモノナルトキハ其ノ期間重ネテ賦課セス但遊藝師匠、遊藝稼人、相撲、俳優、幫間ノ各稅ニ付テハ課額ノ増課ヲ來タシタル場合ニ限リ其ノ差額ヲ賦課ス

第八條ノ二 營業稅法第二十一條ニ依リ營業稅ヲ徵收セラレサル營業ニ對スル賦課額ニシテ同法第十二條ニ依リ算出シタル額ヲ超過スル場合ハ其ノ額ニ止ム

第九條 年稅ニ屬スル市場稅ノ課稅標準タル賣買金高ハ前一箇年ノ賣買金高ニ依ル但前一箇年ノ賣買金高ニ依リ難キモノハ豫算ニ依ル其ノ一箇年ノ稅額參圓ニ滿タサルモノハ參圓ヲ賦課ス
書畫骨董品臨時市場稅ハ書畫骨董品ノ入札賣買ノ爲ニスル臨時市場開設者ニ對シ該市場ニ於ケル賣買金高ヲ標準トシ賦課ス但賣買金高壹萬圓未滿ナルトキハ賦課セス

第十二條ノ二 藝妓屋稅ノ課稅標準タル藝妓數ハ毎月一日現在數ニ依ル但不具廢疾等ノ爲自用ヲ辨シ能ハサル者ハ之ヲ算入セス

第四條第六號第五條第三項及第六條第二項中「藝妓」ヲ削除ス
第十三條第一項第一號中「兩換業」ノ下ニ「銀行業・保險業・無盡業・倉庫業」ヲ加ヘ第九號中「藝妓」ヲ削除ス

第十六條第一號中「掘建假小屋」ヲ「假小屋」ニ改ム

(原案説明) 市場稅ハ從來各別ニ賦課額ヲ定メ來リシモ右ハ適當ナラサルヲ以テ賣買金高ヲ課稅標準トシ一定ノ課率ニ依リ課稅スヘキコトニ改メムトスルト徵稅及納稅上ノ便宜ノ爲藝妓稅ヲ藝妓屋稅ニ月稅タリシ自轉車稅ヲ年稅ニ改メ其ノ他實際上ノ事例ニ鑑ミ改正ヲ爲サムトスルモノアルトニ因ル

市部 第七號議案 特別經濟運用ニ關スル件……………可決

第五中學校敷地購入費負擔ニ充ツル爲市部慈惠救濟資金ヨリ金參萬五千六百圓
市部積立金ヨリ金四萬圓ヲ左ノ各項ニ依リ市部普通經濟ヘ運用スルモノトス
一大正七年度内須要ニ應シ一回若クハ數回ニ運用スルコト
一運用金ニハ一箇年五分以内ノ割合ヲ以テ利子ヲ附シ毎年度九月末日及三月末日ニ於テ前六箇月分ヲ仕拂フモノトス但運用又ハ戻入ノ際ニ於ケル一期ニ充タサル端數利子ハ運用ノ際ニハ其ノ翌日ヨリ戻入ノ際ハ其ノ當日迄日割ヲ以

テ計算ス

一運用金ハ大正八年度ニ於テ金參萬五千六百圓大正九年度ニ於テ金四萬圓ヲ戻入スルモノトス但經濟ノ都合ニ依リ繰上戻入スルコトアルヘシ

市部 第八號議案 起債ノ方法・利息ノ定率及償還ノ方法……………可決

第一條 消防設備ノ改善及擴張費負擔ニ充ツル爲市部經濟ニ於テ確實ナル銀行其ノ他ヨリ金拾萬圓ヲ大正七年度内須要ニ應シ借入ル、モノトス

第二條 借入金ノ利息ハ一箇年五分以内トシ毎年九月末日及三月末日ニ於テ前六箇月分ヲ仕拂フモノトス但借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ充タサル端數利子アルトキハ借入ノ際ニハ其ノ翌日ヨリ償還ノ際ニハ仕拂ノ當日迄日割ヲ以テ計算ス

第三條 借入金ハ大正八年度ヨリ大正九年度ニ至ル貳箇年度ニ於テ左ノ通償還スルモノトス但經濟ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲スコトアルヘシ

大正八年度 金五萬圓
大正九年度 金五萬圓

第四條 前條ノ償還ハ一般財源ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

市九號議案部 大正六年度東京府市部歳入歳出追加豫算書……………可決

歳入

經常部

第七款 所得税 附加税 金八萬七千九百七拾五圓八錢

第一項 所得税 附加税 金八萬七千九百七拾五圓八錢

自然增收ノ見込

第十款 國庫下渡金 金四千七百參拾參圓六拾錢

第一項 警察費下渡金 金四千七百參拾參圓六拾錢

第七款 雜收 入 金七萬五千圓

第七項 過年度府税 金七萬五千圓

第三款 市郡連帶市部收入額 金參拾壹萬參千七百八拾圓

第一項 市郡連帶市部收入額 金參拾壹萬參千七百八拾圓

經常部合計金四拾八萬千四百八拾八圓六拾八錢

歳入總計金四拾八萬千四百八拾八圓六拾八錢

歳出

經常部

第一款 警察費 金壹萬千八百參拾四圓

第二款 廳費 金壹萬千八百參拾四圓

物價騰貴ノ爲豫算不足補填

第七款 市郡分賦市部負擔額 金四拾六萬九千六百五拾四圓六拾八錢

第一項 市郡分賦市部負擔額 金四拾六萬九千六百五拾四圓六拾八錢

經常部合計金四拾八萬千四百八拾八圓六拾八錢

歳出總計金四拾八萬千四百八拾八圓六拾八錢

大正五年度東京府市部歳入歳出決算書……………承認

市部參事會委任事件ニ關スル決議案……………可決

荒川改良工事ニ關シ府歳入出豫算ノ更正若ハ追加ヲ要スル場合ハ之カ議決ヲ市部參事會ニ委任スルモノトス(議員伊藤仁太郎發議)

通常郡部會

本會は大正六年十二月二日午後三時四十二分に開議し、會議四日間に涉り、十二月二十四日午後四時五十二分議事終了散會した。

谷岡議長が病氣の爲め缺席に付、瀨沼副議長が議長の職務を採り、會議の同意を得て平林定兵衛朝倉虎治郎を會議録署名議員に選定した。

谷岡議長が十二月五日死亡し議長が缺員となつたので、十二月二十四日これが選舉の投票を行ひ、村林彦之が多數を以て當選した。

議案 附決議案

- 第一號議案部 大正七年度東京府郡部營業稅雜種稅課目課額……………可決
- 第二號議案部 大正七年度東京府郡部歳入歳出豫算書……………可決
- 第三號議案部 大正七年度東京府郡部請願巡查費徵收額……………可決
- 第四號議案部 大正七年度東京府郡部慈惠救濟資金歳入歳出豫算書……………可決
- 第五號議案部 大正七年度東京府郡部衛生資金歳入歳出豫算書……………可決

- 第六號議案部 大正七年度東京府郡部積立金歳入歳出豫算書……………可決
- 第七號議案部 不動産賣却ノ件……………可決
- 第八號議案部 東京府郡部府稅賦課規則中改正ノ件……………可決
- 第九號議案部 自大正七年度東京府郡部土木費繼續年及支出方法……………可決
- 第十號議案部 自大正七年度東京府郡部土木費繼續年及支出方法……………可決
- 第十一號議案部 自大正七年度東京府郡部土木費繼續年及支出方法……………可決
- 第十二號議案部 自明治四十年至大正八年度東京府郡部土木費繼續年及支出方法……………可決

- 法更正ノ件……………可決
- 特別經濟運用ニ關スル件……………可決
- 起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法……………可決
- 大正六年度東京府郡部歳入歳出追加豫算書……………可決
- 府稅賦課ニ關スル件……………可決
- 大正五年度東京府郡部歳入歳出決算書……………承認
- 郡部參事會委任事件ニ關スル決議案……………可決

議決摘要